

大学番号 国041

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 総合医理工学研究科 医学系専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人信州大学

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 マル ヤマ マサ ヨ代

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合医理工学研究科

＜医学系専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒390-8621
長野県松本市旭3-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (H27.10)		
研究科長	(タナカ エイジ) 田中 榮司 (H30.4)	(シモサカ マコト) 下坂 誠 (R2.4)	任期満了に伴う交代 平成31年4月1日変更 (元)
		(シモサカ マコト) 下坂 誠 (R2.4)	任期満了に伴う交代 令和2年4月1日変更 (2)
		(モリカワ ヒデアキ) 森川 英明 (R3.4)	任期満了に伴う交代 令和3年4月1日変更 (3)
専攻長	(タナカ エイジ) 田中 榮司 (H30.4)	(ナカヤマ ジュン) 中山 淳 (H31.4)	任期満了に伴う交代 平成31年4月1日変更 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合医理工学研究科	医学関係	年	人	年次	人	基礎となる学部等 医学部	
医学系専攻（博士課程）	保健衛生学関係（看護学関係）	4	48		186		
博士（医学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	3					
博士（保健学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 48 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 48 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 48 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 48 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	人 (-) [若干人]	0.95倍 0.96倍 0.90倍	-	-
志願者数	-	-	39	2	46	1	55	2	45						
受験者数	-	-	39	2	46	1	55	2	45						
合格者数	-	-	39	2	46	1	55	2	44						
B 入学者数	-	-	39	2	46	1	55	2	44						
入学定員超過率 B/A	-	-	0.85	0.84	0.97	0.95	1.10	1.06	0.91						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	39	2	46	2	52	1	46	2	令和元年度2年次生に、転専攻1人含む。 令和2年度3年次生に、転専攻1人、転入学者1人含む
	[-]	[-]	[2]	[2]	[4]	[2]	[3]	[1]	[3]	[2]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(2)	(-)	
2年次	/		-	-	40	-	45	2	50	1	
			[-]	[-]	[2]	[-]	[4]	[2]	[1]	[1]	
	/		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	
3年次			/		-	-	-	-	41	-	48
	[-]	[-]			[-]	[-]	[2]	[-]	[4]	[2]	
	/		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	
4年次			/		-	-	-	-	-	-	33
	[-]	[-]			[-]	[-]	[2]	[-]	[-]	[-]	
	/		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計			-	41	88	141	182				
	[-]	[4]	[8]	[12]	[15]						
	(-)	(-)	(-)	(1)	(4)						

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	41 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	88 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	141 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	182 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{141} = \boxed{0.7} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{182} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合医理工学研究科 医学系専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
研究科 共通科目	先鋭領域融合研究群 最先端研究特講	1・2・3通	2			1						20
	特別招へい教授グ ローバル研究特講	1・2・3通	2									5
	知財管理特講	1・2・3前	2									1
	小計(3科目)	—	2	4	0	1	0	0	0	0	0	21
専攻 共通科目	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2			1						1
	医学統計・疫学特論	1前	2			2	1					
	生涯保健学研究方法 特論	1前	2			4	3					1
	小計(3科目)	—	2	4	0	5	3	0	0	0	0	2
医学 分野	医学科学研究遂行特論	1前	2			3	1					4
	形態学研究方法特論	1前	2	2		1	2		1			
	免疫学研究方法特論	1前	2	2		1	1		1			
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2	2		3			3			
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2	2		1	1	1	1			2
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2	2		2	1		1			1
	神経科学研究方法 特論	1前	2	2		1						
	腫瘍学研究方法特論	1前	2	2		3		1	1			
	病理解剖・組織学特 論	1通	2	2		1		1	1			
	免疫病理学特論	1通	2	2		1		1	1			
専門 科目	病理組織学特別研究	3通	10			1		1	1			
	病理組織学論文演習	2通	2			1		1	1			
	移植感染症学特論	1通	4			1		1	1			
	移植病理学特論	1通	2			1		1	1			
	感染防御学特別研究	3通	10			1		1	1			
	感染防御学論文演習	2通	2			1		1	1			
	循環細胞生命科学特 論	1通	3			1			2			
	循環分子生命科学特 論	1通	3			1			2			
	生理学特別研究	3通	10			1			2			
	生理学論文演習	2通	2			1			2			
	実験薬理学特論	1通	2			1		1				
	分子薬理学特別研究	3通	10			1		1	1			
	細菌学特論	1通	3			1		1	2			
	ウイルス学特論	1通	3			1		1	2			
	免疫・微生物学特別 研究	3通	10			1		1	2			
	免疫・微生物学論文 演習	2通	2			1		1	2			
	分子生体防御学特論	1通	4			1	1					
	移植免疫学特論	1通	2			1	1					
	免疫制御学特別研究	3通	10			1	1					
	免疫制御学論文演習	2通	2			1	1					
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科診断学特 論	1通	2			1	1	2	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科治療学特 論	1通	2			1	1	2	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科学特別研 究	3通	10			1	1	2	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科学論文演 習	2通	2			1	1	2	1			
	消化器・腎臓・血液内 科学特論	1通	2			3	1	1				
	消化器・腎臓・血液内 科診断学特論	1通	2			3	1	1				
	消化器・腎臓・血液内 科治療学特論	1通	2			3	1	1				
	消化器・腎臓・血液学 特別研究	3通	10			3	1	1				
	消化器・腎臓・血液学 論文演習	2通	2			3	1	1				

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
研究科 共通科目	先鋭領域融合研究群 最先端研究特講	1~3通	2									6
	特別招へい教授グ ローバル研究特講	1~3通	2									5
	知財管理特講	1・2・3前	2									1
	小計(3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	10
専攻 共通科目	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2				1					2
	医学統計・疫学特論	1前	2			2	1					
	生涯保健学研究方法 特論	1前	2			6	1					1
	小計(3科目)	—	2	4	0	7	2	0	0	0	0	3
医学 分野	医学科学研究遂行特論	1前	2			4	0		1	0		5
	形態学研究方法特論	1前	2	2		3	1	1	0	1		
	免疫学研究方法特論	1前	2	2		1	0		2	2		
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2	2		4			3			1
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2	2		2	0	2	0			1
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2	2		3	1		1			1
	神経科学研究方法 特論	1前	2	2		1						
	腫瘍学研究方法特論	1前	2	2		4	2	0	0			
	病理解剖・組織学特 論	1通	2	2		1	1	0	0			
	免疫病理学特論	1通	2	2		1	1	0	0			
専門 科目	病理組織学特別研究	3通	10			1	1	0	0			
	病理組織学論文演習	2通	2			1	1	0	0			
	移植感染症学特論	1通	4			1	0		1			
	移植病理学特論	1通	2			1	0		1			
	感染防御学特別研究	3通	10			1	0		1			
	感染防御学論文演習	2通	2			1	0		1			
	循環細胞生命科学特 論	1通	3			1			1			
	循環分子生命科学特 論	1通	3			1			1			
	生理学特別研究	3通	10			1			1			
	生理学論文演習	2通	2			1			1			
	実験薬理学特論	1通	2			1	1	0	1			
	分子薬理学特別研究	3通	10			1	1	0	1			
	細菌学特論	1通	3			1		1	1			
	ウイルス学特論	1通	3			1		1	1			
	免疫・微生物学特別 研究	3通	10			1		1	1			
	免疫・微生物学論文 演習	2通	2			1		1	1			
	分子生体防御学特論	1通	4			1	1					
	移植免疫学特論	1通	2			1	1					
	免疫制御学特別研究	3通	10			1	1					
	免疫制御学論文演習	2通	2			1	1					
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科診断学特 論	1通	2			1	2	1	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科治療学特 論	1通	2			1	2	1	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科学特別研 究	3通	10			1	2	1	1			
	呼吸器・感染症・アレ ルギー内科学論文演 習	2通	2			1	2	1	1			
	消化器・腎臓・血液内 科学特論	1通	2			1	3	1	0			
	消化器・腎臓・血液内 科診断学特論	1通	2			1	3	1	0			
	消化器・腎臓・血液内 科治療学特論	1通	2			1	3	1	0			
	消化器・腎臓・血液学 特別研究	3通	10			1	3	1	0			
	消化器・腎臓・血液学 論文演習	2通	2			1	3	1	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	生体制御学ユニット	神経・リウマチ膠原病内科学特論	1	2				1				
		神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	3	10			2					
		神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	2	2			1					
		加齢代謝内科学特論	1	2			1		1			
		代謝内科学特論	1	2			1	1				
		代謝内科学実践学特論	1	2			1	1				
		加齢代謝内科学特別研究	3	10			1	1	1			
		加齢代謝内科学論文演習	2	2			1		1			
		臓器・細胞再生工学特論	1	4			1		2	1		1
		臓器微小循環学特論	1	2			1		1			
		循環器内科学特別研究	3	10			1	1				
		循環器内科学論文演習	2	2			1	1				
		皮膚免疫アレルギー学特論	1	3			1		2	2		
		産科学特論	1	2			1	1	1			
		内科学特論	1	2			1	1	2			
		産科婦人科特別研究	3	10			1	1				
		産科婦人科論文演習	2	2			1	1				
		泌尿器科学特論	1	2			1		1			
		麻酔科学特論	1	2			1	1	1	1		
		麻酔・循環学特論	1	2			1	1	1	1		
		麻酔科学特別研究	3	10			1	1	1	1		
		麻酔科学論文演習	2	2			1	1	1	1		
		臨床血液学特論	1	2			1		1			
		遺伝子診断学特論	1	2			1		1			
		病態解析診断学特別研究	3	10			1		1			
		病態解析診断学論文演習	2	2			1		1			
		救急医学特論	1	2			1		1	1		
		集中治療医学特論	1	2			1		1	1		
		救急集中治療医学特別研究	3	10			1		1	1		
		救急集中治療医学論文演習	2	2			1		1	1		
		分子病理学特論	1	2			1		3			
		糖鎖生物学特論	1	2			1		3			
		分子病理学特別研究	3	10			1		3			
		分子病理学論文演習	2	2			1		3			
		循環病態学特論	1	3			1	1	1			
		循環病態学特別研究	3	10			1	1	1			
		循環病態学論文演習	2	2			1	1	1			
		脂質生化学特論	1	2			1		1			
		消化器病医学特論	1	2			1		1			
		代謝性疾患医学特論	1	2			1		1			
		代謝制御学特別研究	3	10			1		1			
		代謝制御学論文演習	2	2			1		1			
微生物感染症学特論	1	4			1	1	1					
感染病態学特論	1	2			1	1	1					
感染病態解析学特別研究	3	10			1		1					
感染病態解析学論文演習	2	2			1		1					
腫瘍学ユニット	腫瘍病理学特論	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	1				
		皮膚腫瘍学特論	1	3		1	2	2				
		皮膚科学特別研究	3	10		1	3	2				
		皮膚科学論文演習	2	2		1	3	2				
		放射線診断学特論	1	2			1	3				
		放射線治療学特論	1	2			1					
		放射線基礎医学特論	1	2				2				
		画像医学特別研究	3	10			1	2	1			
		画像医学論文演習	2	2			1					
		消化器外科腫瘍学特論	1	2			1		2			
		消化器移植・再生医学特論	1	4			1		2			
		婦人科学特論	1	2			1	1	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医学分野	生体制御学ユニット	神経・リウマチ膠原病内科学特論	1	2		1		1	0		
		神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	3	10			1	1			
		神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	2	2			1	1			
		加齢代謝内科学特論	1	2			1		1		
		代謝内科学特論	1	2			1	1			
		代謝内科学実践学特論	1	2			1	1			
		加齢代謝内科学特別研究	3	10			1	1	1		
		加齢代謝内科学論文演習	2	2			1		1		
		臓器・細胞再生工学特論	1	4			1	1	1	1	
		臓器微小循環学特論	1	2			1		1	1	
		循環器内科学特別研究	3	10			1	1			
		循環器内科学論文演習	2	2			1	1			
		皮膚免疫アレルギー学特論	1	3			1	1	2	1	
		産科学特論	1	2			1	1	0	1	
		内科学特論	1	2			1	1	0	1	
		産科婦人科特別研究	3	10			1	1	0		
		産科婦人科論文演習	2	2			1	1	0		
		泌尿器科学特論	1	2			1		1		
		麻酔科学特論	1	2			1	1	2		
		麻酔・循環学特論	1	2			1	1	2		
		麻酔科学特別研究	3	10			1	1	2		
		麻酔科学論文演習	2	2			1	1	2		
		臨床血液学特論	1	2			1		1	0	
		遺伝子診断学特論	1	2			1		1	0	
		病態解析診断学特別研究	3	10			1		1	0	
		病態解析診断学論文演習	2	2			1		1	0	
		救急医学特論	1	2			1		0	1	
		集中治療医学特論	1	2			1		0	1	
		救急集中治療医学特別研究	3	10			1		0	1	
		救急集中治療医学論文演習	2	2			1		0	1	
		分子病理学特論	1	2			1	1	1	1	
		糖鎖生物学特論	1	2			1		1	1	
		分子病理学特別研究	3	10			1	1	1	1	
		分子病理学論文演習	2	2			1	1	1	1	
		循環病態学特論	1	3			1	1	1		
		循環病態学特別研究	3	10			1	1	1		
		循環病態学論文演習	2	2			1	1	1		
		脂質生化学特論	1	2			1		0	1	
		消化器病医学特論	1	2			1		0	1	
		代謝性疾患医学特論	1	2			1		0	1	
		代謝制御学特別研究	3	10			1		0	1	
		代謝制御学論文演習	2	2			1		0	1	
微生物感染症学特論	1	4			1	1	1	1			
感染病態学特論	1	2			1		1	1			
感染病態解析学特別研究	3	10			1		1	1			
感染病態解析学論文演習	2	2			1		1	1			
腫瘍学ユニット	腫瘍病理学特論	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	0	0		
		皮膚腫瘍学特論	1	3		1	2	2	1		
		皮膚科学特別研究	3	10		1	3	2	1		
		皮膚科学論文演習	2	2		1	3	2	1		
		放射線診断学特論	1	2			1	3	2		
		放射線治療学特論	1	2			1		0		
		放射線基礎医学特論	1	2				2			
		画像医学特別研究	3	10			1	2	0	1	
		画像医学論文演習	2	2			1	0			
		消化器外科腫瘍学特論	1	2			1	1	1	1	
		消化器移植・再生医学特論	1	4			1	1	1	1	
		婦人科学特論	1	2			1	1	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	腫瘍学ユニット	泌尿器科腫瘍学特論	1通	2		1						
		泌尿器科手術学特論	1通	2		1						
		診断病理学特論	1通	2		1		1				
		臨床腫瘍学特論	1通	2		1		1				
		放射線腫瘍学特論	1通	2		1		1				
		緩和医療学特論	1通	2		2						
		臨床腫瘍学特別研究	3通	10		2			1			
		臨床腫瘍学論文演習	2通	2		2			1			
		腫瘍病理学特論	1通	2		2			3			
		再生・再建学ユニット	再生医学特論	1通	2		1		2			
		発生学特論	1通	2		1		2				
		細胞生物学特論	1通	2		1		2				
		組織発生学特別研究	3通	10		1		2				
		組織発生学論文演習	2通	2		1		2				
消化器外科学特別研究	3通	10		1		2						
消化器外科学論文演習	2通	2		1		2						
泌尿器科学特別研究	3通	10		1								
泌尿器科学論文演習	2通	2		1								
形成再建外科学特論	1通	4		1		1						
熱傷学特論	1通	2		1		1						
眼病理学特論	1通	2				2						
発生工学特論	1通	3		1	1	1						
脳・感覚機能学ユニット	神経解剖学特論	1通	3		1							
	神経発生・再生学特論	1通	3		1							
	人体構造学特別研究	3通	10		2							
	人体構造学論文演習	2通	2		1							
	一般生理学特論	1通	2		1		1					
	神経生理学特論	1通	2		1		1					
	病態生理学特論	1通	2		1		1					
	分子細胞生理学特別研究	3通	10		1		1					
	分子細胞生理学論文演習	2通	2		1		1					
	神経内科診断学特論	1通	2				1					
	神経内科治療学特論	1通	2				1					
	形成再建外科学特別研究	3通	10		1		1					
	形成再建外科学論文演習	2通	2		1		1					
	麻酔・神経科学特論	1通	2		1		1		2			
	精神医学特論	1通	2		1		1		0			
	精神医学診断学特論	1通	2		1		1		0			
	精神科治療学特論	1通	2		1		2		1			
	精神医学特別研究	3通	10		1		2		4			
	精神医学論文演習	2通	2		1		2		2			
	眼生化学特論	1通	2						2			
	眼科学特別研究	3通	10		1		1		1			
	眼科学論文演習	2通	2		1				1			
	分子遺伝学特論	1通	2		2		1		2			
	神経耳科学特論	1通	2						0			
	聴覚医学特論	1通	2						1			
	耳鼻咽喉科学特別研究	3通	10		1		1		1			
	耳鼻咽喉科学論文演習	2通	2		1		1		1			
	神経可塑性学特論	1通	2		1		1		1			
	シナプス学特論	1通	2		1		1		1			
	シナプス病学特論	1通	2		1		1		1			
	神経可塑性学特別研究	3通	10		1		1		1			
	神経可塑性学論文演習	2通	2		1		1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	腫瘍学ユニット	泌尿器科腫瘍学特論	1通	2		1						
		泌尿器科手術学特論	1通	2		1						
		診断病理学特論	1通	2		1		1		0		
		臨床腫瘍学特論	1通	2		1		1		0		
		放射線腫瘍学特論	1通	2		1		1		0		
		緩和医療学特論	1通	2		2						
		臨床腫瘍学特別研究	3通	10		2		1		0		1
		臨床腫瘍学論文演習	2通	2		2		2		1		0
		腫瘍病理学特論	1通	2		2		1		1		1
		がんゲノム医療	1-2-3通	1		1		1		1		1
		小児・AYA・希少がん	1-2-3通	1		1		1		1		1
		ライフステージに応じたがん医療	1-2-3通	1		1		1				
		分子生物学基礎特論	1通	2		1		1				1
		分子生物学応用特論	1通	2		1		1				1
		分子生物学動物実験特論	1通	2		1		1				1
		分子医化学特別研究	3通	10		1		1				1
		分子医化学論文演習	2通	2		1		1				1
		再生・再建学ユニット	再生医学特論	1通	2		1					2
		発生学特論	1通	2		1						2
細胞生物学特論	1通	2		1						2		
組織発生学特別研究	3通	10		1						2		
組織発生学論文演習	2通	2		1						2		
消化器外科学特別研究	3通	10		1		1		1		1		
消化器外科学論文演習	2通	2		1		1		1		1		
泌尿器科学特別研究	3通	10		1								
泌尿器科学論文演習	2通	2		1								
形成再建外科学特論	1通	4		1		0				1		
熱傷学特論	1通	2		1		0				1		
眼病理学特論	1通	2						2		0		
発生工学特論	1通	3		1		1				1		
脳・感覚機能学ユニット	神経解剖学特論	1通	3		1		0					
	神経発生・再生学特論	1通	3		1		0					
	人体構造学特別研究	3通	10		2		1		1			
	人体構造学論文演習	2通	2		1		1		0			
	一般生理学特論	1通	2		1		0				2	
	神経生理学特論	1通	2		1		0				2	
	病態生理学特論	1通	2		1		0				2	
	分子細胞生理学特別研究	3通	10		1		0				2	
	分子細胞生理学論文演習	2通	2		1		0				2	
	神経内科診断学特論	1通	2				1		1		0	
	神経内科治療学特論	1通	2				1		1		0	
	形成再建外科学特別研究	3通	10		1		0				1	
	形成再建外科学論文演習	2通	2		1		0				1	
	麻酔・神経科学特論	1通	2		1		1		2		0	
	精神医学特論	1通	2		2		0		0			
	精神医学診断学特論	1通	2		2		0		0			
	精神科治療学特論	1通	2		2		1		1			
	精神医学特別研究	3通	10		1		2		4			
	精神医学論文演習	2通	2		2		2		1			
	眼生化学特論	1通	2						2		0	
眼科学特別研究	3通	10		1		1		1		0		
眼科学論文演習	2通	2		1				1		0		
分子遺伝学特論	1通	2		2		1		2		1		
神経耳科学特論	1通	2						0		1		
聴覚医学特論	1通	2						1				
耳鼻咽喉科学特別研究	3通	10		1		1		1				
耳鼻咽喉科学論文演習	2通	2		1		1		1				
神経可塑性学特論	1通	2		1		1		1				
シナプス学特論	1通	2		1		1		1				
シナプス病学特論	1通	2		1		1		1				
神経可塑性学特別研究	3通	10		1		1		1				
神経可塑性学論文演習	2通	2		1		1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任								
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手									
医学分野 専門科目 健康・社会医学ユニット	臨床薬理学特論	1通	2			1	1		1										
	分子薬物動態学特論	1通	2			1													
	分子薬理学特別研究	3通	10				1												
	分子薬理学論文演習	2通	2			1	1	1											
	内科学特論	1通	2			1	1	1	1										
	眼科診断治療学	1通	2			1				1									
	予防医学特論	1通	2			1	1	1	1										
	遺伝医学特論	1通	4				1	1	1										
	遺伝医学・予防医学特別研究	3通	10				1	1	1										
	遺伝医学・予防医学論文演習	2通	2				1	1	1										
	衛生学特論	1通	2				2												
	疫学特論	1通	2				2												
	公衆衛生学特論	1通	2				2												
	衛生学公衆衛生学特別研究	3通	10				2												
	衛生学公衆衛生学論文演習	2通	2				2												
	地域医療情報学特論	1通	2					1											
	医学情報教育学特論	1通	2					1											
	医学教育学特論	1通	2						1	1									
	医学教育学特別研究	3通	10						1	1									
	医学教育学論文演習	2通	2						1	1									
	臨床法医学特論	1通	2				1												
	死因究明診断学特論	1通	2				1			1									
	法医学遺伝子学特論	1通	2							1									
	法医学特別研究	3通	10				1			1									
	法医学論文演習	2通	2				1			1									
	災害医学特論	1通	2				1		1	1									
	スポーツ医学特論	1通	3				1		1	1									
	運動生理学特論	1通	3				1		1	1									
	スポーツ医学特別研究	3通	10					1		1									
	スポーツ医学論文演習	2通	2					1		1									
	健康心理学特論	1通	2					1											
	健康運動学特論	1通	2					1											
	予防老年学特論	1通	2					1											
	発達精神病理学特論	1通	2															1	
	健康促進学特別研究	3通	10						3										
健康促進学論文演習	2通	2						3											
小計(187科目)			468	244	0	30	28	23	51	0							9		
保健学分野 科目分野 保健・医療・福祉連携特論	保健・医療・福祉連携特論	1前	2			5	1											1	
	母子保健学 ユニット	母子保健学特論	1前	2			4	1											
		母子保健学演習	1後	2			2	1											
		母子保健学特別研究	1~3通	6			2	1											
	成人保健学 ユニット	成人保健学特論	1前	2			6	1											3
		成人保健学演習	1後	2			5	1											2
		成人保健学特別研究	1~3通	6			5	2											
	老年保健学 ユニット	老年保健学特論	1前	2			3	2	1										
		老年保健学演習	1後	2			3	2	1										
		老年保健学特別研究	1~3通	6			3	2											
	医療生命科学 ユニット	医療生命科学特論	1前	2			5	1	1										
		医療生命科学演習	1後	2			5	1	1										
		医療生命科学特別研究	1~3通	6			5	1											
小計(13科目)			34	8	0	18	7	2	0	0							4		
合計(206科目)			506	260	0	48	34	25	51	0							35		

卒業要件及び履修方法

○医学分野を修了するために必要な修得単位数は、32単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目8単位(必修2単位、選択必修6単位)、分野専門科目18単位(必修12単位、選択必修6単位)。
○保健学分野を修了するために必要な修得単位数は、18単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目2単位(必修)、指導教員が指定する専門科目10単位(必修8単位、選択必修2単位)。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任								
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手									
医学分野 専門科目 健康・社会医学ユニット	臨床薬理学特論	1通	2			1	1		1										
	分子薬物動態学特論	1通	2			1	0												
	分子薬理学特別研究	3通	10				1	0											
	分子薬理学論文演習	2通	2			1	1				1								
	内科学特論	1通	2			1	2												
	眼科診断治療学	1通	2			1	1				1	0							
	予防医学特論	1通	2			1	1	1	1										
	遺伝医学特論	1通	4				1	1	1										
	遺伝医学・予防医学特別研究	3通	10					2	2										
	遺伝医学・予防医学論文演習	2通	2					1	2										
	衛生学特論	1通	2				2												
	疫学特論	1通	2				2												
	公衆衛生学特論	1通	2				2												
	衛生学公衆衛生学特別研究	3通	10					2											
	衛生学公衆衛生学論文演習	2通	2					2											
	地域医療情報学特論	1通	2						1										
	医学情報教育学特論	1通	2						1										
	医学教育学特論	1通	2								1	1							
	医学教育学特別研究	3通	10								1	1							
	医学教育学論文演習	2通	2								1	1							
	臨床法医学特論	1通	2				1												
	死因究明診断学特論	1通	2				1			1									
	法医学遺伝子学特論	1通	2							1									
	法医学特別研究	3通	10				1			1									
	法医学論文演習	2通	2				1			1									
	災害医学特論	1通	2				2	1				0							
	スポーツ医学特論	1通	3				1	0					1						
	運動生理学特論	1通	3				1	0					1						
	スポーツ医学特別研究	3通	10					1	0										
	スポーツ医学論文演習	2通	2					1	0										
	健康心理学特論	1通	2					1											
	健康運動学特論	1通	2					1											
	予防老年学特論	1通	2					1											
	発達精神病理学特論	1通	2																
	健康促進学特別研究	3通	10						3										
健康促進学論文演習	2通	2						3											
小計(195科目)			480	253	0	42	28	23	31	0							11		
保健学分野 科目分野 保健・医療・福祉連携特論	保健・医療・福祉連携特論	1前	2			5	1											2	
	母子保健学 ユニット	母子保健学特論	1前	2			5	1											
		母子保健学演習	1後	2			2	1											
		母子保健学特別研究	1~3通	6			2	1											
	成人保健学 ユニット	成人保健学特論	1前	2			6	2											2
		成人保健学演習	1後	2			6	2											2
		成人保健学特別研究	1~3通	6			6	2											
	老年保健学 ユニット	老年保健学特論	1前	2			3	3	0										
		老年保健学演習	1後	2			3	3	0										
		老年保健学特別研究	1~3通	6			3	3	0										
	医療生命科学 ユニット	医療生命科学特論	1前	2			7	1	1										1
		医療生命科学演習	1後	2			7	1	2										
		医療生命科学特別研究	1~3通	6			8	1	2										
小計(13科目)			34	8	0	22	7	2	0										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	1~3通	2			0						6
	特別招へい教授グローバル研究特講	1~3通	2									5
	知財管理特講	1・2・3前	2									1
	小計(3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	10
専攻共通科目	生命倫理・研究倫理特論	1前	2			1						1
	医学統計・疫学特論	1前	2			2	1					
	生涯保健学研究法特論	1前	2			4	3					1
	小計(3科目)	—	2	4	0	5	3	0	0	0	0	2
医学分野 分野共通科目	医科学研究遂行特論	1前	2			4	0					4
	形態学研究方法特論	1前	2	2		1	2		1			
	免疫学研究方法特論	1前	2			1	1		2			
	生化学・分子生物学研究方法特論	1前	2			4			3			1
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2			2	0	1	1			1
	器官・組織・細胞機能研究方法特論	1前	2			2	1		1			1
	神経科学研究方法特論	1前	2			1						
	腫瘍学研究方法特論	1前	2			3		2				
	生体解剖・組織学特論	1通	2			1	1		0			
	免疫病理学特論	1通	2			1	1		0			
病理組織学特別研究	3通	10			1	1		0				
病理組織学論文演習	2通	2			1	1		0				
移植感染症学特論	1通	4			1	1		1				
移植病態学特論	1通	2			1	1		1				
感染防御学特別研究	3通	10			1	1		1				
感染防御学論文演習	2通	2			1	1		1				
循環細胞生命科学特論	1通	3			1			1				
循環分子生命科学特論	1通	3			1			1				
生理学特別研究	3通	10			1			1				
生理学論文演習	2通	2			1			1				
実験薬理学特論	1通	2			1	1						
分子薬理学特別研究	3通	10			1	1		2				
細菌学特論	1通	3			1	1		2				
ウイルス学特論	1通	3			1	1		2				
免疫・微生物学特別研究	3通	10			1	1		2				
免疫・微生物学論文演習	2通	2			1	1		2				
分子生体防御学特論	1通	4			1	1		1				
移植免疫学特論	1通	2			1	1		1				
免疫制御学特別研究	3通	10			1	1		1				
免疫制御学論文演習	2通	2			1	1		1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科診断学特論	1通	2			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科治療学特論	1通	2			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科学特別研究	3通	10			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科学論文演習	2通	2			1	1	2	1				
消化器・腎臓・血液内科学特論	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	2通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液学特別研究	3通	10			3	1	1					
消化器・腎臓・血液学論文演習	2通	2			3	1	1					
神経・リウマチ膠原病内科学特論	1通	2						1				
神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	3通	10			1	1						
神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	2通	2			1							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	1~3通	2			0						6
	特別招へい教授グローバル研究特講	1~3通	2									5
	知財管理特講	1・2・3前	2									1
	小計(3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	10
専攻共通科目	生命倫理・研究倫理特論	1前	2				1					2
	医学統計・疫学特論	1前	2			2	1					
	生涯保健学研究法特論	1前	2			6	2					1
	小計(3科目)	—	2	4	0	7	3	0	0	0	0	3
医学分野 分野共通科目	医科学研究遂行特論	1前	2			4	0					5
	形態学研究方法特論	1前	2	2		3	1	1	0			
	免疫学研究方法特論	1前	2			1	0		2			
	生化学・分子生物学研究方法特論	1前	2			4				3		1
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2			2	0	2	0			1
	器官・組織・細胞機能研究方法特論	1前	2			3	0			1		1
	神経科学研究方法特論	1前	2			1						
	腫瘍学研究方法特論	1前	2			4		1	0			
	生体解剖・組織学特論	1通	2			1	1		0			
	免疫病理学特論	1通	2			1	1		0			
病理組織学特別研究	3通	10			1	1		0				
病理組織学論文演習	2通	2			1	1		0				
移植感染症学特論	1通	4			1	0		1				
移植病態学特論	1通	2			1	0		0				
感染防御学特別研究	3通	10			1	0		0				
感染防御学論文演習	2通	2			1	0		0				
循環細胞生命科学特論	1通	3			1				1			
循環分子生命科学特論	1通	3			1				1			
生理学特別研究	3通	10			1				1			
生理学論文演習	2通	2			1				1			
実験薬理学特論	1通	2			1			0	1			
分子薬理学特別研究	3通	10			1	1		0	1			
細菌学特論	1通	3			1	1		1	2			
ウイルス学特論	1通	3			1	1		1	2			
免疫・微生物学特別研究	3通	10			1	1		1	2			
免疫・微生物学論文演習	2通	2			1	1		1	2			
分子生体防御学特論	1通	4			1	1		1				
移植免疫学特論	1通	2			1	1		1				
免疫制御学特別研究	3通	10			1	1		1				
免疫制御学論文演習	2通	2			1	1		1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科診断学特論	1通	2			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科治療学特論	1通	2			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科学特別研究	3通	10			1	1	2	1				
呼吸器・感染症・アレルギー・内科学論文演習	2通	2			1	1	2	1				
消化器・腎臓・血液内科学特論	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	2通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液内科学論文演習	1通	2			3	1	1					
消化器・腎臓・血液学特別研究	3通	10			3	1	1					
消化器・腎臓・血液学論文演習	2通	2			3	1	1					
神経・リウマチ膠原病内科学特論	1通	2								1		
神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	3通	10			1	1						
神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	2通	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	生体制御学ユニット	加齢代謝内分泌学特論	1	2		1	1					
		代謝内分泌制御論	1	2		1	1					
		代謝内分泌実践学特論	1	2		1	1					
		加齢代謝内分泌学特別研究	3	10		1	1	1				
		加齢代謝内分泌学論文演習	2	2		1	1					
		臓器・細胞再生工学特論	1	4		1	1	1			1	
		臓器微小循環学特論	1	2		1	1	0				
		循環器内科学特別研究	3	10		1	1					
		循環器内科学論文演習	2	2		1	1					
		皮膚免疫アレルギー学特論	1	3		1	3	1				
		産科学特論	1	2			1	1				
		内分泌学特論	1	2		1	1	1				
		産科婦人科特別研究	3	10		1	1	0				
		産科婦人科論文演習	2	2		1	1	0				
		泌尿器科学特論	1	2		1	1					
		麻酔科学特論	1	2		1	1	2				
		麻酔・循環学特論	1	2		1	1	2				
		麻酔科学特別研究	3	10		1	1	2				
		麻酔科学論文演習	2	2		1	1	2				
		臨床血液学特論	1	2		1	1					
		遺伝子診断学特論	1	2		2	1	1				
		病態解析診断学特別研究	3	10		1	1					
		病態解析診断学論文演習	2	2			1	1				
		救急医学特論	1	2		1	1	1				
		集中治療医学特論	1	2		1	1	1				
		救急集中治療医学特別研究	3	10		1	1	1				
		救急集中治療医学論文演習	2	2		1	1	1				
		分子病理学特論	1	2		1	1	3				
		糖鎖生物学特論	1	2		1	1	3				
		分子病理学特別研究	3	10		1	1	3				
		分子病理学論文演習	2	2		1	1	3				
		循環病態学特論	1	3		1	1	1				
		循環病態学特別研究	3	10		1	1	1				
		循環病態学論文演習	2	2		1	1	1				
		脂質生化学特論	1	2		1	1	1				
		消化器病医学特論	1	2		1	1	1				
		代謝性疾患医学特論	1	2		1	1	1				
		代謝制御学特別研究	3	10		1	1	1				
		代謝制御学論文演習	2	2		1	1	1				
		微生物感染症学特論	1	4		1	1	1				
		感染病態学特論	1	2		1	1	1				
感染病態解析学特別研究	3	10		1	1	1						
感染病態解析学論文演習	2	2		1	1	1						
腫瘍学ユニット	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	0					
	皮膚腫瘍学特論	1	3		1	2	1					
	皮膚科学特別研究	3	10		1	3	1					
	皮膚科学論文演習	2	2		1	3	1					
	放射線診断学特論	1	2		1	1	3					
	放射線治療学特論	1	2		1	1						
	放射線基礎医学特論	1	2		1	2	2					
	画像医学特別研究	3	10		1	2	1					
	画像医学論文演習	2	2		1							
	消化器外科腫瘍学特論	1	2		1	1	1					
	消化器移植・再生医学特論	1	4		1	1	1					
	婦人科学特論	1	2		1	1	1					
	泌尿器科腫瘍学特論	1	2		1	1						
	泌尿器科手術学特論	1	2		1							
	診断病理学特論	1	2		1	1						
	臨床腫瘍学特論	1	2		1	1	0					
	放射線腫瘍学特論	1	2		1	1						
	緩和医療学特論	1	2		2	2						
	臨床腫瘍学特別研究	3	10		2	1	1					
	臨床腫瘍学論文演習	2	2		2	1	0					
	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	生体制御学ユニット	加齢代謝内分泌学特論	1	2		1	1					
		代謝内分泌制御論	1	2		1	1					
		代謝内分泌実践学特論	1	2		1	1					
		加齢代謝内分泌学特別研究	3	10		1	1	1				
		加齢代謝内分泌学論文演習	2	2		1	1					
		臓器・細胞再生工学特論	1	4		1	1	1			1	
		臓器微小循環学特論	1	2		1	1	0				
		循環器内科学特別研究	3	10		1	1					
		循環器内科学論文演習	2	2		1	1					
		皮膚免疫アレルギー学特論	1	3		1	1	2	1			
		産科学特論	1	2			1	1				
		内分泌学特論	1	2		1	1	0	1			
		産科婦人科特別研究	3	10		1	1	0				
		産科婦人科論文演習	2	2		1	1	0				
		泌尿器科学特論	1	2		1	1					
		麻酔科学特論	1	2		1	1	2				
		麻酔・循環学特論	1	2		1	1	2				
		麻酔科学特別研究	3	10		1	1	2				
		麻酔科学論文演習	2	2		1	1	2				
		臨床血液学特論	1	2		1	1					
		遺伝子診断学特論	1	2		2	1	1				
		病態解析診断学特別研究	3	10		1	1					
		病態解析診断学論文演習	2	2			1	1				
		救急医学特論	1	2		1	1	1				
		集中治療医学特論	1	2		1	1	1				
		救急集中治療医学特別研究	3	10		1	1	1				
		救急集中治療医学論文演習	2	2		1	1	1				
		分子病理学特論	1	2		1	1	1	1			
		糖鎖生物学特論	1	2		1	1	1	1			
		分子病理学特別研究	3	10		1	1	1	1			
		分子病理学論文演習	2	2		1	1	1	1			
		循環病態学特論	1	3		1	1	1				
		循環病態学特別研究	3	10		1	1	1				
		循環病態学論文演習	2	2		1	1	1				
		脂質生化学特論	1	2		1	1	1				
		消化器病医学特論	1	2		1	1	1				
		代謝性疾患医学特論	1	2		1	1	1				
		代謝制御学特別研究	3	10		1	1	1				
		代謝制御学論文演習	2	2		1	1	1				
		微生物感染症学特論	1	4		1	1	1				
		感染病態学特論	1	2		1	1	1				
感染病態解析学特別研究	3	10		1	1	1						
感染病態解析学論文演習	2	2		1	1	1						
腫瘍学ユニット	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	0					
	皮膚腫瘍学特論	1	3		1	2	1					
	皮膚科学特別研究	3	10		1	3	1					
	皮膚科学論文演習	2	2		1	3	1					
	放射線診断学特論	1	2		1	1	3					
	放射線治療学特論	1	2		1	1						
	放射線基礎医学特論	1	2		1	2	2					
	画像医学特別研究	3	10		1	2	1					
	画像医学論文演習	2	2		1							
	消化器外科腫瘍学特論	1	2		1	1	1					
	消化器移植・再生医学特論	1	4		1	1	1					
	婦人科学特論	1	2		1	1	0	1				
	泌尿器科腫瘍学特論	1	2		1	1						
	泌尿器科手術学特論	1	2		1							
	診断病理学特論	1	2		1	1						
	臨床腫瘍学特論	1	2		1	1	0					
	放射線腫瘍学特論	1	2		1	1						
	緩和医療学特論	1	2		2	2						
	臨床腫瘍学特別研究	3	10		2	1	1					
	臨床腫瘍学論文演習	2	2		2	1	0					
	腫瘍病理学特論	1	2		1	1	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	腫瘍学ユニット	がんゲノム医療	1-2-3通	1		1							
		小児・AYA・希少がん	1-2-3通	1		1							
		ライフステージに応じたがん医療	1-2-3通	1		1							
		再生医学特論	1通	2			1		2				
		発生学特論	1通	2			1		2				
		細胞生物学特論	1通	2			1		2				
		組織発生学特別研究	3通	10			1		2				
		組織発生学論文演習	2通	2			1		2				
		消化器外科学特別研究	3通	10			1		1	1			
		消化器外科学論文演習	2通	2			1		1	1			
再生・再建学ユニット	泌尿器科学特別研究	3通	10			1							
	泌尿器科学論文演習	2通	2			1							
	形成再建外科学特論	1通	4			1	0	1					
	熱傷学特論	1通	2			1	0	1					
	眼病理学特論	1通	2					1	1				
	発生工学特論	1通	3			1	1	1					
	脳・感覚機能学ユニット	神経解剖学特論	1通	3			1						
	神経発生・再生学特論	1通	3			1							
	人体構造学特別研究	3通	10			2							
	人体構造学論文演習	2通	2			1							
健康・社会医学ユニット	一般生理学特論	1通	2			1	0	2					
	神経生理学特論	1通	2			1	0	2					
	病態生理学特論	1通	2			1	0	2					
	分子細胞生理学特別研究	3通	10			1	0	2					
	分子細胞生理学論文演習	2通	2			1	0	2					
	神経内科診断学特論	1通	2					1					
	神経内科治療学特論	1通	2					1					
	形成再建外科学特別研究	3通	10			1	0	1					
	形成再建外科学論文演習	2通	2			1	0	1					
	麻酔・神経科学特論	1通	2			1	1	2	0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	腫瘍学ユニット	がんゲノム医療	1-2-3通	1		1							
		小児・AYA・希少がん	1-2-3通	1		1							
		ライフステージに応じたがん医療	1-2-3通	1		1							
		分子生物学基礎特論	1通	2			1	1		1			
		分子生物学応用特論	1通	2			1	1		1			
		分子生物学動物実験特論	1通	2			1	1		1			
		分子医化学特別研究	3通	10			1	1		1			
		分子医化学論文演習	2通	2			1	1		1			
		再生医学特論	1通	2					1	2			
		発生学特論	1通	2					1	2			
再生・再建学ユニット	細胞生物学特論	1通	2					1	2				
	組織発生学特別研究	3通	10					1	2				
	組織発生学論文演習	2通	2					1	2				
	消化器外科学特別研究	3通	10					1	1	1	1		
	消化器外科学論文演習	2通	2					1	1	1	1		
	泌尿器科学特別研究	3通	10					1					
	泌尿器科学論文演習	2通	2					1					
	形成再建外科学特論	1通	4				1	0		1			
	熱傷学特論	1通	2				1	0		1			
	眼病理学特論	1通	2						1	1			
発生工学特論	1通	3				1	1		1				
脳・感覚機能学ユニット	神経解剖学特論	1通	3				1	0					
	神経発生・再生学特論	1通	3				1	0					
	人体構造学特別研究	3通	10				1	1					
	人体構造学論文演習	2通	2				1	0					
	一般生理学特論	1通	2				1	0			3		
	神経生理学特論	1通	2				1	0			3		
	病態生理学特論	1通	2				1	0			3		
	分子細胞生理学特別研究	3通	10				1	0			3		
	分子細胞生理学論文演習	2通	2				1	0			3		
	神経内科診断学特論	1通	2						1	0			
神経内科治療学特論	1通	2						1					
形成再建外科学特別研究	3通	10				1	0		1				
形成再建外科学論文演習	2通	2				1	0		1				
麻酔・神経科学特論	1通	2				1	1	2	0				
精神医学特論	1通	2				2	0	0					
精神医学診断学特論	1通	2				2	0						
精神科治療学特論	1通	2				2	1						
精神医学特別研究	3通	10				4	1						
精神医学論文演習	2通	2				2	1						
眼生化学特論	1通	2						1	1				
眼科学特別研究	3通	10				1		1	0				
眼科学論文演習	2通	2				1		1	0				
分子遺伝学特論	1通	2						1	0				
神経耳科学特論	1通	2						1	1				
聴覚医学特論	1通	2						1	1				
耳鼻咽喉科学特別研究	3通	10						1	1				
耳鼻咽喉科学論文演習	2通	2						1	1				
神経可塑性学特論	1通	2				1	0		1				
シナプス学特論	1通	2				1	0		1				
シナプス病学特論	1通	2				1	0		1				
神経可塑性学特別研究	3通	10				1	0		1				
神経可塑性学論文演習	2通	2				1	0		1				
健康・社会医学ユニット	臨床薬理学特論	1通	2			1	1		1				
	分子薬物動態学特論	1通	2					1					
	分子薬理学特別研究	3通	10					1					
	分子薬理学論文演習	2通	2					1	1	0	1		
	内科学特論	1通	2					1	1	1	1		
	眼科診断治療学	1通	2					1		1			
	予防医学特論	1通	2				1	0	2	0			
	遺伝医学特論	1通	4				1	0	2	0			
	遺伝医学・予防医学特別研究	3通	10				2	0	2	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	健康・社会医学ユニット 専門科目	遺伝医学・予防医学論文演習	2	2		1	0	1	1				
		衛生学特論	1	2		2							
		疫学特論	1	2		2							
		公衆衛生学特論	1	2		2							
		衛生学公衆衛生学特別研究	3	10		2							
		衛生学公衆衛生学論文演習	2	2		2							
		地域医療情報学特論	1	2			1						
		医学情報教育学特論	1	2			1						
		医学教育学特論	1	2				1	1				
		医学教育学特別研究	3	10				1	1				
		医学教育学論文演習	2	2				1	1				
		臨床法医学特論	1	2			1						
		死因究明断断学特論	1	2					1				
		法医遺伝子学特論	1	2					1				
		法医学特別研究	3	10			1		1				
		法医学論文演習	2	2			1						
		災害医学特論	1	2			1		1				
		スポーツ医学特論	1	3			1		1				
		運動生理学特論	1	3			1		1				
		スポーツ医学特別研究	3	10			1		1				
		スポーツ医学論文演習	2	2			1		1				
		健康心理学特論	1	2			1						
		健康運動学特論	1	2			1						
		予防老年学特論	1	2			1						
発達精神病理学特論	1	2			1								
健康促進学特別研究	3	10			3								
健康促進学論文演習	2	2			3								
小計(190科目)			468	247	0	33	27	27	45	0	9		
保健学分野	科目分野 共通 専門科目	保健・医療・福祉連携特論	1	前	2			6	1			1	
		ト母子保健学ユニット	母子保健学特論	1	前	2			4	1			
		母子保健学演習	1	後	2			2	1				
		母子保健学特別研究	1~3	通	6			2	1				
		ト成人保健学ユニット	成人保健学特論	1	前	2			6	0			3
		成人保健学演習	1	後	2			5	0				2
		成人保健学特別研究	1~3	通	6			5	1				
		ト老年保健学ユニット	老年保健学特論	1	前	2			3	2	1		
		老年保健学演習	1	後	2			3	2	1			
		老年保健学特別研究	1~3	通	6			3	2				
		ニ医療生命科学ユニット	医療生命科学特論	1	前	2			7	1	1		
		医療生命科学演習	1	後	2			7	1	1			
		医療生命科学特別研究	1~3	通	6			7	1				
小計(13科目)			-	34	8	0	20	6	2	0	0	4	
合計(209科目)			-	506	263	0	51	32	29	45	0	23	

卒業要件及び履修方法

○医学分野を修了するために必要な修得単位数は、32単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目8単位(必修2単位、選択必修6単位)、分野専門科目18単位(必修12単位、選択必修6単位)。
○保健学分野を修了するために必要な修得単位数は、18単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目2単位(必修)、指導教員が指定する専門科目10単位(必修8単位、選択必修2単位)。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	健康・社会医学ユニット 専門科目	遺伝医学・予防医学論文演習	2	2		1			2				
		衛生学特論	1	2		2							
		疫学特論	1	2		2							
		公衆衛生学特論	1	2		2							
		衛生学公衆衛生学特別研究	3	10		2							
		衛生学公衆衛生学論文演習	2	2		2							
		地域医療情報学特論	1	2				1					
		医学情報教育学特論	1	2				1					
		医学教育学特論	1	2					1	1			
		医学教育学特別研究	3	10					1	1			
		医学教育学論文演習	2	2					1	1			
		臨床法医学特論	1	2			1						
		死因究明断断学特論	1	2					1				
		法医遺伝子学特論	1	2					1				
		法医学特別研究	3	10			1		1				
		法医学論文演習	2	2			1						
		災害医学特論	1	2			1		1				
		スポーツ医学特論	1	3			1		1				
		運動生理学特論	1	3			1		1				
		スポーツ医学特別研究	3	10			1		1				
		スポーツ医学論文演習	2	2			1		1				
		健康心理学特論	1	2			1						
		健康運動学特論	1	2			1						
		予防老年学特論	1	2			1						
発達精神病理学特論	1	2			1								
健康促進学特別研究	3	10			3								
健康促進学論文演習	2	2			3								
小計(195科目)			480	253	0	40	23	25	37	0	10		
保健学分野	科目分野 共通 専門科目	保健・医療・福祉連携特論	1	前	2				7			1	
		ト母子保健学ユニット	母子保健学特論	1	前	2			5	1			
		母子保健学演習	1	後	2			2	1				
		母子保健学特別研究	1~3	通	6			2	1				
		ト成人保健学ユニット	成人保健学特論	1	前	2			6	1			2
		成人保健学演習	1	後	2			6	1			2	
		成人保健学特別研究	1~3	通	6			6	2				
		ト老年保健学ユニット	老年保健学特論	1	前	2			3	2	1		
		老年保健学演習	1	後	2			3	2	1			
		老年保健学特別研究	1~3	通	6			3	2				
		ニ医療生命科学ユニット	医療生命科学特論	1	前	2			8	1	1		
		医療生命科学演習	1	後	2			8	1	1			
		医療生命科学特別研究	1~3	通	6			8	1				
小計(13科目)			-	34	8	0	23	6	2	0	0	3	
合計(214科目)			-	518	269	0	61	29	27	37	0	23	

卒業要件及び履修方法

○医学分野を修了するために必要な修得単位数は、32単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目8単位(必修2単位、選択必修6単位)、分野専門科目18単位(必修12単位、選択必修6単位)。
○保健学分野を修了するために必要な修得単位数は、18単位以上。
研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目2単位(必修)、指導教員が指定する専門科目10単位(必修8単位、選択必修2単位)。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	1~3通	2			0						6		
	特別招へい教授グローバル研究特講	1~3通		2								5		
	知財管理特講	1・2・3前		2								1		
	小計(3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	10		
専攻共通科目	生命倫理・研究倫理特論	1前	2				1					2		
	医学統計・疫学特論	1前		2		2	1							
	生涯保健学研究方法特論	1前		2		6	2					1		
	小計(3科目)	—	2	4	0	7	3	0	0	0	0	3		
医学分野	分野共通科目	医科学研究遂行特論	1前	2			4	0					6	
		形態学研究方法特論	1前		2		3	1	1	0				
		免疫学研究方法特論	1前		2		1	0		2				
		生化学・分子生物学研究方法特論	1前		2		4			3			1	
		人類遺伝学研究方法特論	1前		2		2	0	2	0			1	
		器官・組織・細胞機能研究方法特論	1前		2		3	1		1			1	
		神経科学研究方法特論	1前		2		1							
		腫瘍学研究方法特論	1前		2		4		2	0				
		専門科目	生体制御学ユニット	病理解剖・組織学特論	1通		2		1		1	0		
				免疫病理学特論	1通		2		1		1	0		
病理組織学特別研究	3通			10			1		1	0				
病理組織学論文演習	2通			2			1		1	0				
移植感染症学特論	1通				4		1	0		1				
移植病態学特論	1通				2		1	0		1				
感染防御学特別研究	3通			10			1	0		1				
感染防御学論文演習	2通			2			1	0		1				
循環細胞生命科学特論	1通				3		1			1				
循環分子生命科学特論	1通				3		1			1				
生理学特別研究	3通			10			1			1				
生理学論文演習	2通			2			1			1				
実験薬理学特論	1通				2		1	1	0	1				
分子薬理学特別研究	3通			10			1	1	0	1				
細菌学特論	1通				3		1		1	1				
ウイルス学特論	1通				3		1		1	1				
免疫・微生物学特別研究	3通			10			1		1	1				
免疫・微生物学論文演習	2通			2			1		1	1				
分子生体防御学特論	1通				4		1	1						
移植免疫学特論	1通				2		1	1						
免疫制御学特別研究	3通			10			1	1						
免疫制御学論文演習	2通			2			1	1						
呼吸器・感染症・アレルギー-内科診断学特論	1通				2		1	2	1	1				
呼吸器・感染症・アレルギー-内科治療学特論	1通				2		1	2	1	1				
呼吸器・感染症・アレルギー-内科学特別研究	3通			10			1	2	1	1				
呼吸器・感染症・アレルギー-内科学論文演習	2通			2			1	2	1	1				
消化器・腎臓・血液内科学特論	1通				2			2	3	0				
消化器・腎臓・血液内科診断学特論	1通				2			2	3	0				
消化器・腎臓・血液内科治療学特論	1通				2			2	3	0				
消化器・腎臓・血液学特別研究	3通			10				2	3	0				
消化器・腎臓・血液学論文演習	2通			2				2	3	0				
神経・リウマチ膠原病内科学特論	1通				2					1				
神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	3通			10			1	1						
神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	2通			2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	生体制御学ユニット	加齢代謝内分科学特論	1	2		1		1					
		代謝内分泌制御論理学特論	1	2		1	1						
		代謝内分泌実践学特論	1	2		1	1						
		加齢代謝内分科学特別研究	3	10		1	1	1					
		加齢代謝内分科学論文演習	2	2		1		1					
		臓器・細胞再生工学特論	1	4		1	1	1	1			1	
		臓器微小循環学特論	1	2			1	1	0				
		循環器内科学特別研究	3	10		1	1						
		循環器内科学論文演習	2	2		1	1						
		皮膚免疫アレルギー学特論	1	3		1	1	2	1				
		産科学特論	1	2				1	1				
		内分科学特論	1	2		1	1	0	1				
		産科婦人科特別研究	3	10		1	1	0					
		産科婦人科論文演習	2	2		1	1	0					
		泌尿器科学特論	1	2			1						
		麻酔科学特論	1	2		1	1	2					
		麻酔・循環学特論	1	2		1	1	2					
		麻酔科学特別研究	3	10		1	1	2					
		麻酔科学論文演習	2	2		1	1	2					
		臨床血液学特論	1	2			1			1			
		遺伝子診断学特論	1	2			1				1		
		病態解析診断学特別研究	3	10			1				1		
		病態解析診断学論文演習	2	2			1				1		
		救急医学特論	1	2			1		0		1		
		集中治療医学特論	1	2			1		0		1		
		救急集中治療医学特別研究	3	10			1		0		1		
		救急集中治療医学論文演習	2	2			1		0		1		
		分子病理学特論	1	2			1		1	1			
		糖鎖生物学特論	1	2			1		1	1			
		分子病理学特別研究	3	10			1		1	1			
		分子病理学論文演習	2	2			1		1	1			
		循環病態学特論	1	3			1	1			1		
		循環病態学特別研究	3	10			1	1			1		
		循環病態学論文演習	2	2			1	1			1		
		脂質生化学特論	1	2			1				1		
		消化器病医学特論	1	2			1				1		
		代謝性疾患医学特論	1	2			1				1		
		代謝制御学特別研究	3	10			1				1		
		代謝制御学論文演習	2	2			1				1		
		微生物感染症学特論	1	4			1				1		
		感染病態学特論	1	2			1				1		
		感染病態解析学特別研究	3	10			1				1		
		感染病態解析学論文演習	2	2			1				1		
		腫瘍学ユニット	腫瘍病理学特論	1	2		1		1				
			皮膚腫瘍学特論	1	3		1		2	1			
			皮膚科学特別研究	3	10		1	1	2	1			
			皮膚科学論文演習	2	2		1	1	2	1			
			放射線診断学特論	1	2		1	0			3		
			放射線治療学特論	1	2				1				
			放射線基礎医学特論	1	2						2		
			画像医学特別研究	3	10		1			2	1		
			画像医学論文演習	2	2		1						
消化器外科腫瘍学特論	1		2		1	0	2	1					
消化器移植・再生医学特論	1		4		1	0	2	1					
婦人科学特論	1		2		1	1	0	1					
泌尿器科腫瘍学特論	1		2			1							
泌尿器科手術学特論	1		2		1								
診断病理学特論	1		2			1				1			
臨床腫瘍学特論	1		2		1		1	0					
放射線腫瘍学特論	1		2		1		1						
緩和医療学特論	1		2		2								
臨床腫瘍学特別研究	3		10		2		1	1					
臨床腫瘍学論文演習	2		2		2		1	0					
腫瘍病理学特論	1		2		1		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学分野	腫瘍学ユニット 専門科目	がんゲノム医療	1-2-3通	1		1						
		小児・AYA・希少がん	1-2-3通	1		1						
		ライフステージに応じたがん医療	1-2-3通	1		1						
		分子生物学基礎特論	1通	2		1	1		1			
		分子生物学応用特論	1通	2		1	1		1			
		分子生物学動物実験特論	1通	2		1	1		1			
		分子医化学特別研究	3通	10		1	1		1			
		分子医化学論文演習	2通	2		1	1		1			
	再生・再建学ユニット	再生医学特論	1通	2			1			2		
		発生学特論	1通	2			1			2		
		細胞生物学特論	1通	2			1			2		
		組織発生学特別研究	3通	10			1			2		
		組織発生学論文演習	2通	2			1			2		
		消化器外科学特別研究	3通	10			1	0	2	1		
		消化器外科学論文演習	2通	2			1	0	2	1		
		泌尿器科学特別研究	3通	10			1					
		泌尿器科学論文演習	2通	2			1					
		形成再建外科学特論	1通	4			1	0		1		
		熱傷学特論	1通	2			1	0		1		
		眼病理学特論	1通	2					1	1		
	発生工学特論	1通	3			1	1		1			
	脳・感覚機能学ユニット	神経解剖学特論	1通	3			1	0				
		神経発生・再生学特論	1通	3			1	0				
		人体構造学特別研究	3通	10			1	1				
		人体構造学論文演習	2通	2			1	0				
		一般生理学特論	1通	2			1	0		2		
		神経生理学特論	1通	2			1	0		2		
		病態生理学特論	1通	2			1	0		2		
		分子細胞生理学特別研究	3通	10			1	0		2		
		分子細胞生理学論文演習	2通	2			1	0		2		
		神経内科診断学特論	1通	2					1	0		
		神経内科治療学特論	1通	2					1			
		形成再建外科学特別研究	3通	10			1	0		1		
形成再建外科学論文演習		2通	2			1	0		1			
麻酔・神経科学特論		1通	2			1	1	2	0			
精神医学特論		1通	2			2	0	0				
精神医学診断学特論		1通	2			2	0					
精神科治療学特論		1通	2			2	1					
精神医学特別研究		3通	10			4	1					
精神医学論文演習		2通	2			2	1					
眼生化学特論		1通	2					1	1			
眼科学特別研究		3通	10			1		1	0			
眼科学論文演習		2通	2			1		1	0			
分子遺伝学特論		1通	2					0	1			
神経耳科学特論		1通	2						1			
聴覚医学特論		1通	2					1	0			
耳鼻咽喉科学特別研究		3通	10					1	1			
耳鼻咽喉科学論文演習		2通	2					1	1	0		
神経可塑性学特論	1通	2			1	0		1				
シナプス学特論	1通	2			1	0		1				
シナプス病学特論	1通	2			1	0		1				
神経可塑性学特別研究	3通	10			1	0		1				
神経可塑性学論文演習	2通	2			1	0		1				
健康・社会医学ユニット	臨床薬理学特論	1通	2			1	2		1			
	分子薬物動態学特論	1通	2				1					
	分子薬理学特別研究	3通	10				1					
	分子薬理学論文演習	2通	2				1	2	0	1		
	内科学特論	1通	2			1	2	0	1			
	眼科診断治療学	1通	2			1			1			
	予防医学特論	1通	2			1	0	2				
	遺伝医学特論	1通	4			1	0	2				
	遺伝医学・予防医学特別研究	3通	10			2	0	2				
	遺伝医学・予防医学論文演習	2通	2			1	0	2				
	衛生学特論	1通	2			2						
	疫学特論	1通	2			2						
	公衆衛生学特論	1通	2			2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医学分野	健康・社会医学ユニット	衛生学公衆衛生学特別研究	3通	10			2						
		衛生学公衆衛生学論文演習	2通	2			2						
		地域医療情報学特論	1通		2			1					
		医学情報教育学特論	1通		2			1					
		医学教育学特論	1通		2				1	1			
		医学教育学特別研究	3通	10					1	1			
		医学教育学論文演習	2通	2					1	1			
		臨床法医学特論	1通		2		1						
		死因究明診断学特論	1通		2		1				1		
		法医遺伝子学特論	1通		2						1		
		法医学特別研究	3通	10			1				1		
		法医学論文演習	2通	2			1						
		災害医学特論	1通		2		1			0	1		
		スポーツ医科学特論	1通		3		1	0			1		
		運動生理学特論	1通		3		1	0			1		
		スポーツ医科学特別研究	3通	10			1	0			1		
		スポーツ医科学論文演習	2通	2			1	0			1		
		健康心理学特論	1通		2		1						
		健康運動学特論	1通		2		1						
		予防老年学特論	1通		2		1						
		発達精神病理学特論	1通		2								1
健康促進学特別研究	3通	10							3				
健康促進学論文演習	2通	2							3				
小計(195科目)			—	480	253	0	42	23	21	33	0	11	
保健学分野	科目分野 ニッポン保健学ユニット ニッポン成人保健学ユニット ニッポン老年保健学ユニット ニッポン医療生命科学ユニット	保健・医療・福祉連携特論	1前	2			6	1					1
		母子保健学特論	1前	2			5	1					
		母子保健学演習	1後		2		2	1					
		母子保健学特別研究	1～3通	6			2	1					
		成人保健学特論	1前	2			6	3					2
		成人保健学演習	1後		2		6	1					2
		成人保健学特別研究	1～3通	6			6	3					
		老年保健学特論	1前	2			3	2	1				
		老年保健学演習	1後		2		3	2	1				
		老年保健学特別研究	1～3通	6			3	2	1				
		医療生命科学特論	1前	2			8	1	1				
		医療生命科学演習	1後		2		8	1	2				
		医療生命科学特別研究	1～3通	6			8	1	2				
小計(13科目)			—	34	8	0	23	6	2	0	0	3	
合計(214科目)			—	518	269	0	63	30	24	33	0	24	

卒業要件及び履修方法

○医学分野を修了するために必要な修得単位数は、32単位以上。
 研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目8単位(必修2単位、選択必修6単位)、分野専門科目18単位(必修12単位、選択必修6単位)。
 ○保健学分野を修了するために必要な修得単位数は、18単位以上。
 研究科共通科目2単位(必修)、専攻共通科目4単位(必修2単位、選択必修2単位)、分野共通科目2単位(必修)、指導教員が指定する専門科目10単位(必修8単位、選択必修2単位)。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください)。
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・時間割の見直しにより「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」,「特別招へい教授グローバル研究特講」の配当年次を変更。
- ・教員退職等による教員配置の見直しにより「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」ほか56科目の専任教員等の配置を変更。
- ・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェSSIONAL)」養成プランにおける教育プログラム「ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース」を開設したため、3科目を追加。

【令和元年度】

- ・教員退職等による教員配置の見直しにより「生命倫理・研究倫理特論」ほか74科目の専任教員等の配置を変更。
- ・改組前に退職により不在となっていた複数教室の再編が終わり、学生を受け入れるための体制を整えるため5科目を追加。

【令和2年度】

- ・教員退職等による教員配置の見直しにより「器官・組織・細胞機能研究方法特論」ほか44科目の専任教員等の配置を変更。

【令和3年度】

- ・教員退職等による教員配置の見直しにより「生涯保健学研究法特論」ほか58科目の専任教員等の配置を変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
89 科目	117 科目	0 科目	206 科目	91 科目 [2]	123 科目 [6]	0 科目 [0]	214 科目 [8]	
				89 科目 [0]	120 科目 [3]		209 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{206} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	オープンベンチャーイノベーションセンター（その他（職員宿舍敷地）から校舎敷地へ計上）・松本キャンパスガラス室の取り壊し（元）					
	校舎敷地	539,738㎡	0㎡	0㎡	539,738㎡						
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡						
	小 計	748,593㎡	0㎡	0㎡	748,593㎡						
	そ の 他	5,692,777㎡	0㎡	0㎡	5,692,777㎡						
	合 計	6,441,370㎡	0㎡	0㎡	6,441,370㎡						
(2) 校 舎	専 用	436,193㎡	0㎡	0㎡	436,193㎡						
	(436,193㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(436,193㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学部全体。情報処理学習施設及び語学学習施設は別途大学全体として整備。 ・演習室：専任教員研究室に変更（元） ・演習室：研究室に変更（3） 					
	18 室	11 15 室	2 室	0 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和元年専任講師1名の研究室を新設した(2) 令和2年専任講師7名の研究室を新設し、2名の研究室を廃止(3)					
	総合医理工学研究科 医学系専攻		123 118 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]					点	点	点
	総合医理工学研究科医学系専攻	1,228,649 [358,047] +233,325 [359,778] (1,228,649 [358,047]) (-1,233,325 [359,778])	41,341 [22,422] 40,792 [21,672] 41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536] 14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329 (4,391) (-4,329)	67,827 66,079 (67,827) (-66,079)	147,477 (147,477)	学部等単位での特定不能のため、大学全体の数			
計	1,228,649 [358,047] +233,325 [359,778] (1,228,649 [358,047]) (-1,233,325 [359,778])	41,341 [22,422] 40,792 [21,672] 41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536] 14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329 (4,391) (-4,329)	67,827 66,079 (67,827) (-66,079)	147,477 (147,477)					
	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体					
	13,304㎡	1,636席 1,639席		977,782冊							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体				
	8,085㎡	プール、武道場・弓道場、テニスコート									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円			
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円				
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円			
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学						学生募集停止学科数	21	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部											
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	同上	平成25年学生募集停止
人文学科	4	155	3年次5	630	学士(文学)	1.01	1.01	—	平成25	同上	
教育学部											
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	平成11	長野県長野市大字西長野6の口	平成28年学生募集停止
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.02	1.03	—	平成11	同上	
経済学部											
経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	昭和53	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年学生募集停止
経済システム法学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	平成7	同上	平成28年学生募集停止
経法学部											
応用経済学科	4	100	2年次10	430	学士(経済学)	1.05	1.04	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次10	350	学士(法学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
理学部											
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
地質科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
生物科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
数学科	4	54	3年次1	218	学士(理学)	1.02	1.01	—	平成27	同上	
理学科	4	151	3年次3	610	学士(理学)	1.01	1.00	—	平成27	同上	
医学部											
医学科	6	120	—	720	学士(理学)	1.00	1.00	—	昭和26	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次17	606	学士(理学)	1.01	1.01	—	平成15	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	
検査技術学専攻	4	37	3年次3	154	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	

理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
工学部											
機械システム工 学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成28年学生募 集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
土木工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
環境機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
物質化学科	4	95	3年次 4	388	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
電子情報システ ム工学科	4	170	3年次 7	694	学士 (工学)	1.01	1.00	—	平成28	同上	
水環境・土木工 学科	4	60	3年次 3	246	学士 (工学)	1.01	1.03	—	平成28	同上	
機械システム工 学科	4	100	3年次 4	408	学士 (工学)	1.02	1.02	—	平成28	同上	
建築学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
農学部											
農学生命科学科	4	170	3年次 6	692	学士 (農学)	1.02	1.03	—	平成27	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
繊維学部											
先進繊維工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成28年学生募 集停止
機能機械学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
バイオエンジニ アリング課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
材料化学工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
機能高分子学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
先進繊維・感性 工学科	4	65	3年次 2	264	学士 (工学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
機械・ロボット 学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.07	1.01	—	平成28	同上	
化学・材料学科	4	105	3年次 4	428	学士 (工学)	1.06	1.04	—	平成28	同上	
応用生物科学科	4	50	3年次 2	204	学士 (農学)	1.06	1.08	—	平成28	同上	
大学全体	4	1,978	3年次 124 2年次 60	8,336	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	信州大学大学院						学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
総合人文社会科学研究所	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合人文社会科学専攻	2	36	—	72	修士(文学) 修士(心理学) 修士(経済学) 修士(法学)	0.83	0.86	—	令和2	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市大字西長野6の口	
人文科学研究科											
言語文化専攻	2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	昭和57	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
教育学研究科											
学校教育専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	平成3	長野県長野市大字西長野6の口	令和2年学生募集停止
高度教職実践専攻	2	30	—	60	教職修士(専門職)	1.03	1.03	—	令和2	同上	
経済・社会政策科学研究科											
経済・社会政策科学専攻	2	—	—	—	修士(経済学)	—	—	—	平成元	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
イノベーション・マネジメント専攻	2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成15	長野県長野市若里4丁目17番1号	令和2年学生募集停止
総合理工学研究科											
理学専攻	2	75	—	150	修士(理学)	0.90	0.80	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240	—	480	修士(工学)	1.19	1.22	—	平成28	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160	—	320	修士(工学) 修士(農学)	1.09	1.10	—	平成28	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65	—	130	修士(農学)	1.10	1.06	—	平成28	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35	—	70	修士(医工学)	1.27	1.37	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
医学系研究科											
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成15	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成24年学生募集停止
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止
疾患予防医科学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止

保健学専攻（博士 後期課程）	3	—	—	—	博士 (保健学)	—	—	—	平成21	同上	平成30年学生募 集停止
医科学専攻	2	12	—	24	修士 (医科学)	0.78	0.91	—	平成14	同上	
保健学専攻	2	14	—	28	修士 (看護学) 修士 (保健学)	1.28	1.28	—	平成19	同上	
総合工学系研究科											
生命機能・ファイ バー工学専攻	3	—	—	—	博士 (学術)	—	—	—	平成17	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成30年学生募 集停止
システム開発工学 専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	—	—	平成17	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成30年学生募 集停止
物質創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成17	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成30年学生募 集停止
山岳地域環境科学 専攻	3	—	—	—	博士 (農学)	—	—	—	平成17	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	平成30年学生募 集停止
生物・食料科学専 攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年学生募 集停止
総合医理工学研究科											
医学系専攻	4, 3	48	—	186	博士 (医学) 博士 (保健学)	0.95	0.91	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号	
総合理工学専攻	3	38	—	114	博士 (学術) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (農学)	1.00	0.73	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号 長野県長野市若 里4丁目17番1号 長野県上田市常 田3丁目15番1号 長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
生命医工学専攻	4, 3	15	—	55	博士 (医学) 博士 (医工学)	1.15	1.26	—	平成30	同上	
大学院全体	2, 3, 4	768	—	1,689	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合医理工学研究所 医学系専攻(博士課程)>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	菅野 祐幸	<平成30年4月> 博士(医学)	菅野 祐幸	<平成30年4月> 博士(医学)	菅野 祐幸	<平成30年4月> 博士(医学)	菅野 祐幸	<平成30年4月> 博士(医学)
		腫瘍学研究方法特論 病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習		腫瘍学研究方法特論 病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習		腫瘍学研究方法特論 病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習		腫瘍学研究方法特論 病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習	
専	教授	沢村 達也	<平成30年4月> 博士(医学)	沢村 達也	<平成30年4月> 博士(医学)	沢村 達也	<平成30年4月> 博士(医学)	沢村 達也	<平成30年4月> 博士(医学)
		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 循環細胞生命科学研究特論 循環分子生命科学研究特論 生理学特別研究 生理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 循環細胞生命科学研究特論 循環分子生命科学研究特論 生理学特別研究 生理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 循環細胞生命科学研究特論 循環分子生命科学研究特論 生理学特別研究 生理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 循環細胞生命科学研究特論 循環分子生命科学研究特論 生理学特別研究 生理学論文演習	
専	教授	田淵 克彦	<平成30年4月> 博士(医学)	田淵 克彦	<平成30年4月> 博士(医学)	田淵 克彦	<平成30年4月> 博士(医学)	田淵 克彦	<平成30年4月> 博士(医学)
		医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論 一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習		医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論 一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習		医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論 一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習		医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論 一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	
専	教授	山田 充彦	<平成30年4月> 博士(医学)	山田 充彦	<平成30年4月> 博士(医学)	山田 充彦	<平成30年4月> 博士(医学)	山田 充彦	<平成30年4月> 博士(医学)
		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 免疫病理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 免疫病理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 免疫病理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習		器官・組織・細胞機能研究 方法特論 免疫病理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	
専	教授	竹下 敏一	<平成30年4月> 医学博士	竹下 敏一	<平成30年4月> 医学博士	竹下 敏一	<平成30年4月> 医学博士	竹下 敏一	<平成30年4月> 医学博士
		生化学・分子生物学研究 方法特論 細胞学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習		生化学・分子生物学研究 方法特論 細胞学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習		生化学・分子生物学研究 方法特論 細胞学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習		生化学・分子生物学研究 方法特論 細胞学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	
専	教授	瀬 伸介	<平成30年4月> 博士(医学)	瀬 伸介	<平成30年4月> 博士(医学)	瀬 伸介	<平成30年4月> 博士(医学)	瀬 伸介	<平成30年4月> 博士(医学)
		人類遺伝学研究方法特論 分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習		人類遺伝学研究方法特論 分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習		人類遺伝学研究方法特論 分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習		人類遺伝学研究方法特論 分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習	
専	教授	花岡 正幸	<平成30年4月> 博士(医学)	花岡 正幸	<平成30年4月> 博士(医学)	花岡 正幸	<平成30年4月> 博士(医学)	花岡 正幸	<平成30年4月> 博士(医学)
		呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習		呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習		呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習		呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	
専	教授	駒津 光久	<平成30年4月> 医学博士	駒津 光久	<平成30年4月> 医学博士	駒津 光久	<平成30年4月> 医学博士	駒津 光久	<平成30年4月> 医学博士
		医科学研究遂行特論 加齢代謝内分必学特論 代謝内分必御論理学特論 代謝内分必免疫学特論 加齢代謝内分必学特別研究 加齢代謝内分必学論文演習		医科学研究遂行特論 加齢代謝内分必学特論 代謝内分必御論理学特論 代謝内分必免疫学特論 加齢代謝内分必学特別研究 加齢代謝内分必学論文演習		医科学研究遂行特論 加齢代謝内分必学特論 代謝内分必御論理学特論 代謝内分必免疫学特論 加齢代謝内分必学特別研究 加齢代謝内分必学論文演習		医科学研究遂行特論 加齢代謝内分必学特論 代謝内分必御論理学特論 代謝内分必免疫学特論 加齢代謝内分必学特別研究 加齢代謝内分必学論文演習	
専	教授	桑原 宏一郎	<平成30年4月> 博士(医学)	桑原 宏一郎	<平成30年4月> 博士(医学)	桑原 宏一郎	<平成30年4月> 博士(医学)	桑原 宏一郎	<平成30年4月> 博士(医学)
		臓器・細胞再生工学特論 循環器内科学特別研究 循環器内科学論文演習		臓器・細胞再生工学特論 循環器内科学特別研究 循環器内科学論文演習		臓器・細胞再生工学特論 循環器内科学特別研究 循環器内科学論文演習		臓器・細胞再生工学特論 循環器内科学特別研究 循環器内科学論文演習	
専	教授	奥山 隆平	<平成30年4月> 博士(医学)	奥山 隆平	<平成30年4月> 博士(医学)	奥山 隆平	<平成30年4月> 博士(医学)	奥山 隆平	<平成30年4月> 博士(医学)
		皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習		皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習		皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習		皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊澤 淳 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 成人保健学特論 成人保健学演習 成人保健学特別研究	専	教授	伊澤 淳 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 成人保健学特論 成人保健学演習 成人保健学特別研究	専	教授	伊澤 淳 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 成人保健学特論 成人保健学演習 成人保健学特別研究	専	教授	伊澤 淳 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 成人保健学特論 成人保健学演習 成人保健学特別研究
専	教授	杉山 幡宏 <平成30年4月> 博士(医学)	老年保健学特論 老年保健学演習 老年保健学特別研究	専	教授	杉山 幡宏 <平成30年4月> 博士(医学)	老年保健学特論 老年保健学演習 老年保健学特別研究	専	教授	杉山 幡宏 <平成30年4月> 博士(医学)	老年保健学特論 老年保健学演習 老年保健学特別研究	専	教授	杉山 幡宏 <平成30年4月> 博士(医学)	老年保健学特論 老年保健学演習 老年保健学特別研究
				専	教授	藤本 圭作 <平成30年4月> 医学博士	医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究	専	教授	藤本 圭作 <平成30年4月> 医学博士	医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究	専	教授	藤本 圭作 <平成30年4月> 医学博士	医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究
				専	教授	奥村 紳生 <平成30年4月> 博士(医学)	保健・医療・福祉連携特論 医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究	専	教授	奥村 紳生 <平成30年4月> 博士(医学)	保健・医療・福祉連携特論 医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究	兼任	特任教授	奥村 紳生 <平成30年4月> 博士(医学)	保健・医療・福祉連携特論 医療生命科学特論
								専	教授	松田 和之 <平成30年10月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究	専	教授	松田 和之 <平成30年10月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特論 医療生命科学特論 医療生命科学演習 医療生命科学特別研究
								専	教授	中込 さと子 <平成31年1月> 博士(看護学)	生涯保健学研究法特論 母子保健学特論	専	教授	中込 さと子 <平成31年1月> 博士(看護学)	生涯保健学研究法特論 母子保健学特論
												専	教授	山内 一由 <令和3年4月> 博士(工学)	医療生命科学特別研究
専	准教授	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専	准教授	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専	准教授	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専	准教授	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習
専	准教授	福島 葉奈恵 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 神経解剖学特論 神経発生・再生学特論 人体構造学特別研究 人体構造学論文演習	専	准教授	福島 葉奈恵 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 神経解剖学特論 神経発生・再生学特論 人体構造学特別研究 人体構造学論文演習	専	教授	福島 葉奈恵 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 神経解剖学特論 神経発生・再生学特論 人体構造学特別研究 人体構造学論文演習	専	教授	福島 葉奈恵 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 神経解剖学特論 神経発生・再生学特論 人体構造学特別研究 人体構造学論文演習
専	准教授	上松 一永 <平成30年4月> 博士(医学)	移植感染症学特論 移植病理学特論 免疫学研究方法特論 微生物感染症学特論 感染病理学特論 感染制御学特別研究 感染制御学論文演習	専	准教授	上松 一永 <平成30年4月> 博士(医学)	移植感染症学特論 移植病理学特論 免疫学研究方法特論 微生物感染症学特論 感染病理学特論 感染制御学特別研究 感染制御学論文演習								
専	准教授	榎村 健 <平成30年4月> 博士(医学)	一般生理学特論 神経生理学特論 病理生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	兼任	准教授	生化学・分子生物学研究方法特論	生化学・分子生物学研究方法特論	兼任	准教授	生化学・分子生物学研究方法特論	生化学・分子生物学研究方法特論	兼任	准教授	生化学・分子生物学研究方法特論	生化学・分子生物学研究方法特論
専	准教授	山折 大 <平成30年4月> 博士(薬学)	臨床薬理学特論 分子薬物動態学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	専	准教授	山折 大 <平成30年4月> 博士(薬学)	臨床薬理学特論 分子薬物動態学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	専	准教授	山折 大 <平成30年4月> 博士(薬学)	臨床薬理学特論 分子薬物動態学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	専	准教授	山折 大 <平成30年4月> 博士(薬学)	臨床薬理学特論 分子薬物動態学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習
専	准教授	山桑 秀樹 <平成30年4月> 博士(医学)	分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習	専	准教授	山桑 秀樹 <平成30年4月> 博士(医学)	分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習	専	准教授	山桑 秀樹 <平成30年4月> 博士(医学)	分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習	専	准教授	山桑 秀樹 <平成30年4月> 博士(医学)	分子生体防御学特論 移植免疫学特論 免疫制御学特別研究 免疫制御学論文演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中田 勉 <平成30年4月> 博士(理学)	実験薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	専	講師	中田 勉 <平成30年4月> 博士(理学)	実験薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	専	講師	中田 勉 <平成30年4月> 博士(理学)	実験薬理学特論 分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習
専	講師	小嶋 克彦 <平成30年4月> 博士(理学)	細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	専	講師	小嶋 克彦 <平成30年4月> 博士(理学)	細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	専	講師	小嶋 克彦 <平成30年4月> 博士(理学)	細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習
専	講師	安尾 将法 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専	講師	安尾 将法 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専	講師	安尾 将法 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習
専	講師	牛木 淳人 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専	講師	牛木 淳人 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専	准教授	牛木 淳人 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習 保健・医療・福祉連携特論
専	講師	中澤 英之 <平成30年4月> 博士(医学)	消化器・腎臓・血液内科学特論 消化器・腎臓・血液内科学論文演習	専	講師	中澤 英之 <平成30年4月> 博士(医学)	消化器・腎臓・血液内科学特論 消化器・腎臓・血液内科学論文演習	専	講師	中澤 英之 <平成30年4月> 博士(医学)	消化器・腎臓・血液内科学特論 消化器・腎臓・血液内科学論文演習
専	講師	加藤 修明 <平成30年4月> 博士(医学)	神経内科学特論 神経内科学論文演習	専	講師	加藤 修明 <平成30年4月> 博士(医学)	神経内科学特論 神経内科学論文演習	専	准教授	加藤 修明 <平成30年4月> 博士(医学)	神経内科学特論 神経内科学論文演習
専	講師	西尾 真一 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢代謝内科学特論 加齢代謝内科学論文演習	専	講師	西尾 真一 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢代謝内科学特論 加齢代謝内科学論文演習	専	講師	西尾 真一 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢代謝内科学特論 加齢代謝内科学論文演習
専	講師	岡田 綾子 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専	准教授	岡田 綾子 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専	准教授	岡田 綾子 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論
専	講師	海老澤 聡一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専	講師	海老澤 聡一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専	講師	海老澤 聡一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	臓器・細胞再生工学特論
専	講師	木庭 幸子 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	専	講師	木庭 幸子 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	専	准教授	木庭 幸子 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習
専	講師	林 宏一 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習								
専	講師	古賀 弘志 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	専	講師	古賀 弘志 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	専	講師	古賀 弘志 <平成30年4月> 博士(医学)	皮膚免疫アレルギー学特論 皮膚腫瘍学特論 皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習
専	講師	山田 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	画像医学特別研究	専	講師	山田 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	画像医学特別研究	専	准教授	山田 哲 <平成30年4月> 博士(医学)	画像医学特別研究
専	講師	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 放射線治療学特論 画像医学特別研究 放射線腫瘍学特論	専	講師	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 放射線治療学特論 画像医学特別研究 放射線腫瘍学特論	専	准教授	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 放射線治療学特論 画像医学特別研究 放射線腫瘍学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 助教		岳 鳳鳴 <平成30年4月> 博士(医学)	再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専 助教		岳 鳳鳴 <平成30年4月> 博士(医学)	再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専 助教		岳 鳳鳴 <平成30年4月> 博士(医学)	再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習
専 助教		友常 大八郎 <平成30年4月> 博士(理学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専 助教		友常 大八郎 <平成30年4月> 博士(理学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習	専 助教		友常 大八郎 <平成30年4月> 博士(理学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 再生医学特論 発生学特論 細胞生物学特論 組織発生学特別研究 組織発生学論文演習
専 助教		小林 実喜子 <平成30年4月> 博士(医学)	病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習	専 講師		小林 実喜子 <平成30年4月> 博士(医学)	病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習	専 講師		小林 実喜子 <平成30年4月> 博士(医学)	病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論 病理組織学特別研究 病理組織学論文演習
専 助教		長瀬 尚志 <平成30年4月> 博士(保健学)	免疫学研究方法特論 移植免疫学特論 移植免疫学特論 感染防御学特別研究 感染防御学論文演習 微生物感染症学特論 感染免疫学特論 感染免疫学特別研究 感染免疫学論文演習	専 助教		長瀬 尚志 <平成30年4月> 博士(保健学)	免疫学研究方法特論 移植免疫学特論 移植免疫学特論 感染防御学特別研究 感染防御学論文演習 微生物感染症学特論 感染免疫学特論 感染免疫学特別研究 感染免疫学論文演習	専 助教		長瀬 尚志 <平成30年4月> 博士(保健学)	免疫学研究方法特論 移植免疫学特論 移植免疫学特論 感染防御学特別研究 感染防御学論文演習 微生物感染症学特論 感染免疫学特論 感染免疫学特別研究 感染免疫学論文演習
専 助教		藤田 佳子 <平成30年4月> 博士(医学)	循環細胞生命科学特論 循環分子生命科学特論 生理学特別研究 生理学論文演習								
専 助教		垣野 明美 <平成30年4月> 博士(薬学)	循環細胞生命科学特論 循環分子生命科学特論 生理学特別研究 生理学論文演習	専 助教		垣野 明美 <平成30年4月> 博士(薬学)	循環細胞生命科学特論 循環分子生命科学特論 生理学特別研究 生理学論文演習	専 助教		垣野 明美 <平成30年4月> 博士(薬学)	循環細胞生命科学特論 循環分子生命科学特論 生理学特別研究 生理学論文演習
専 助教		森 琢磨 <平成30年4月> 博士(理学)	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	専 助教		森 琢磨 <平成30年4月> 博士(理学)	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	専 助教		森 琢磨 <平成30年4月> 博士(理学)	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習
専 助教		柏原 俊美 <平成30年4月> 博士(医学)	薬害・組織・細胞機能研究方 法特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究	専 助教		柏原 俊美 <平成30年4月> 博士(医学)	薬害・組織・細胞機能研究方 法特論 臨床薬理学特論 分子薬理学特別研究				
専 助教		吉野 和寿 <平成30年4月> 博士(理学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	専 助教		吉野 和寿 <平成30年4月> 博士(理学)	細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習				
専 助教		天野 勇治 <平成30年4月> 博士(医学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	専 助教		天野 勇治 <平成30年4月> 博士(医学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	専 助教		天野 勇治 <平成30年4月> 博士(医学)	生化学・分子生物学研究方法 特論 細菌学特論 ウイルス学特論 免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習
専 助教		立石 一成 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専 助教		立石 一成 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習	専 助教		立石 一成 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器・感染症・アレルギー 内科診断学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科治療学特論 内科学特論 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学特別研究 呼吸器・感染症・アレルギー 内科学論文演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 助教		鹿島 大靖 <平成30年4月> 博士(医学)	内分泌学特論 婦人科学特論
専 助教		安永 能周 <平成30年4月> 博士(医学)	形成再建外科学特論 熱傷学特論 形成再建外科学特別研究 形成再建外科学論文演習
専 助教		杉山 由紀 <平成30年4月> 博士(医学)	麻酔科学特論 麻酔・循環学特論 麻酔・神経科学特論 麻酔科学特別研究 麻酔科学論文演習
専 助教		鳥山 佑一 <平成30年4月> 博士(医学)	眼病理学特論 眼生化学特論 眼科診断治療学
専 助教		家里 康弘 <平成30年4月> 博士(医学)	眼病理学特論 眼生化学特論 眼科学特別研究 眼科学論文演習
専 助教		宮川 麻衣子 <平成30年4月> 博士(医学)	分子遺伝学特論
専 助教		西尾 信哉 <平成30年4月> 博士(理学)	分子遺伝学特論
専 助教		塚田 景大 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 助教		鈴木 宏明 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 助教		鬼頭 良輔 <平成30年4月> 博士(医学)	聴覚医学特論 耳鼻咽喉科学論文演習
専 助教		岩佐 陽一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	聴覚医学特論
専 助教		高野 亨子 <平成30年4月> 博士(医学)	予防医学特論 人類遺伝学研究方法特論 遺伝医学特論 遺伝医学・予防医学特別研究 遺伝医学・予防医学論文演習
専 助教		清水 郁夫 <平成30年4月> 博士(医学)	医学教育学特論 医学教育学特別研究 医学教育学論文演習
専 助教		浅香 志穂 <平成30年4月> 博士(医学)	臨床血液学特論 遺伝学特論 診断病理学特論 病態解析診断学特別研究 病態解析診断学論文演習
専 助教		塩崎 哲也 <平成30年4月> なし	死因究明診断学特論 法医学遺伝学特論 法医学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 講師		鹿島 大靖 <平成30年4月> 博士(医学)	内分泌学特論 婦人科学特論
専 助教		杉山 由紀 <平成30年4月> 博士(医学)	麻酔科学特論 麻酔・循環学特論 麻酔・神経科学特論 麻酔科学特別研究 麻酔科学論文演習
専 助教		鳥山 佑一 <平成30年4月> 博士(医学)	眼病理学特論 眼生化学特論 眼科診断治療学
専 助教		宮川 麻衣子 <平成30年4月> 博士(医学)	分子遺伝学特論
専 助教		西尾 信哉 <平成30年4月> 博士(理学)	分子遺伝学特論
専 助教		塚田 景大 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 助教		鬼頭 良輔 <平成30年4月> 博士(医学)	聴覚医学特論 耳鼻咽喉科学論文演習
専 助教		岩佐 陽一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	聴覚医学特論
専 助教		高野 亨子 <平成30年4月> 博士(医学)	予防医学特論 人類遺伝学研究方法特論 遺伝医学特論 遺伝医学・予防医学特別研究 遺伝医学・予防医学論文演習
専 助教		清水 郁夫 <平成30年4月> 博士(医学)	医学教育学特論 医学教育学特別研究 医学教育学論文演習
専 助教		塩崎 哲也 <平成30年4月> なし	死因究明診断学特論 法医学遺伝学特論 法医学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 講師		杉山 由紀 <平成30年4月> 博士(医学)	麻酔科学特論 麻酔・循環学特論 麻酔・神経科学特論 麻酔科学特別研究 麻酔科学論文演習
専 助教		鳥山 佑一 <平成30年4月> 博士(医学)	眼病理学特論 眼生化学特論 眼科診断治療学
専 助教		塚田 景大 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 助教		高野 亨子 <平成30年4月> 博士(医学)	予防医学特論 人類遺伝学研究方法特論 遺伝医学特論 遺伝医学・予防医学特別研究 遺伝医学・予防医学論文演習
専 助教		清水 郁夫 <平成30年4月> 博士(医学)	医学教育学特論 医学教育学特別研究 医学教育学論文演習
専 助教		塩崎 哲也 <平成30年4月> なし	死因究明診断学特論 法医学遺伝学特論 法医学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 講師		杉山 由紀 <平成30年4月> 博士(医学)	麻酔科学特論 麻酔・循環学特論 麻酔・神経科学特論 麻酔科学特別研究 麻酔科学論文演習
専 助教		塚田 景大 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 講師		高野 亨子 <平成30年4月> 博士(医学)	予防医学特論 人類遺伝学研究方法特論 遺伝医学特論 遺伝医学・予防医学特別研究 遺伝医学・予防医学論文演習
専 助教		清水 郁夫 <平成30年4月> 博士(医学)	医学教育学特論 医学教育学特別研究 医学教育学論文演習
専 助教		塩崎 哲也 <平成30年4月> なし	死因究明診断学特論 法医学遺伝学特論 法医学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 講師		杉山 由紀 <平成30年4月> 博士(医学)	麻酔科学特論 麻酔・循環学特論 麻酔・神経科学特論 麻酔科学特別研究 麻酔科学論文演習
専 助教		塚田 景大 <平成30年4月> 博士(医学)	神経耳科学特論
専 講師		高野 亨子 <平成30年4月> 博士(医学)	予防医学特論 人類遺伝学研究方法特論 遺伝医学特論 遺伝医学・予防医学特別研究 遺伝医学・予防医学論文演習
専 助教		清水 郁夫 <平成30年4月> 博士(医学)	医学教育学特論 医学教育学特別研究 医学教育学論文演習
専 助教		塩崎 哲也 <平成30年4月> なし	死因究明診断学特論 法医学遺伝学特論 法医学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 助教		高山 浩史 <平成30年4月> 学士(医学)	救急医学特論 集中治療医学特論 災害医学特論 救急集中治療医学特別研究 救急集中治療医学論文演習	専 助教		高山 浩史 <平成30年4月> 学士(医学)	救急医学特論 集中治療医学特論 災害医学特論 救急集中治療医学特別研究 救急集中治療医学論文演習	専 助教		高山 浩史 <平成30年4月> 学士(医学)	救急医学特論 集中治療医学特論 災害医学特論 救急集中治療医学特別研究 救急集中治療医学論文演習	専 助教		高山 浩史 <平成30年4月> 学士(医学)	救急医学特論 集中治療医学特論 災害医学特論 救急集中治療医学特別研究 救急集中治療医学論文演習
専 助教		関口 和 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 臨床腫瘍学特論 臨床腫瘍学特別研究 臨床腫瘍学論文演習	専 講師		関口 和 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 臨床腫瘍学特論 臨床腫瘍学特別研究 臨床腫瘍学論文演習	専 講師		関口 和 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 臨床腫瘍学特論 臨床腫瘍学特別研究 臨床腫瘍学論文演習	専 講師		関口 和 <平成30年4月> 博士(医学)	腫瘍学研究方法特論 臨床腫瘍学特論 臨床腫瘍学特別研究 臨床腫瘍学論文演習
専 助教		白井 良憲 <平成30年4月> 博士(理学)	神経可塑性学特論 シナプス学特論 シナプス病学特論 神経可塑性学特別研究 神経可塑性学論文演習	専 助教		白井 良憲 <平成30年4月> 博士(理学)	神経可塑性学特論 シナプス学特論 シナプス病学特論 神経可塑性学特別研究 神経可塑性学論文演習	専 助教		白井 良憲 <平成30年4月> 博士(理学)	神経可塑性学特論 シナプス学特論 シナプス病学特論 神経可塑性学特別研究 神経可塑性学論文演習	専 助教		白井 良憲 <平成30年4月> 博士(理学)	神経可塑性学特論 シナプス学特論 シナプス病学特論 神経可塑性学特別研究 神経可塑性学論文演習
専 助教		川久保 雅友 <平成30年4月> 博士(医学)	分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習	専 助教		川久保 雅友 <平成30年4月> 博士(医学)	分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習	専 講師		川久保 雅友 <平成30年4月> 博士(医学)	分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 形態学研究方法特論	専 講師		川久保 雅友 <平成30年4月> 博士(医学)	分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 形態学研究方法特論
専 助教		藤井 千文 <平成30年4月> 博士(理学)	分子病理学特論 腫瘍生物学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 腫瘍病理学特論	専 助教		藤井 千文 <平成30年4月> 博士(理学)	免疫学研究方法特論 分子病理学特論 腫瘍生物学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 腫瘍病理学特論	専 助教		藤井 千文 <平成30年4月> 博士(理学)	免疫学研究方法特論 分子病理学特論 腫瘍生物学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 腫瘍病理学特論	専 助教		藤井 千文 <平成30年4月> 博士(理学)	免疫学研究方法特論 分子病理学特論 腫瘍生物学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習 腫瘍病理学特論
専 助教		山ノ井 一裕 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習	専 助教		山ノ井 一裕 <平成30年4月> 博士(医学)	形態学研究方法特論 分子病理学特論 腫瘍生物学特論 腫瘍病理学特論 分子病理学特別研究 分子病理学論文演習								
専 助教		神吉 昭子 <平成30年4月> 博士(医学)	循環病態学特論 発生工学特論 循環病態学特別研究 循環病態学論文演習	専 助教		神吉 昭子 <平成30年4月> 博士(医学)	循環病態学特論 発生工学特論 循環病態学特別研究 循環病態学論文演習	専 助教		神吉 昭子 <平成30年4月> 博士(医学)	循環病態学特論 発生工学特論 循環病態学特別研究 循環病態学論文演習	専 助教		神吉 昭子 <平成30年4月> 博士(医学)	循環病態学特論 発生工学特論 循環病態学特別研究 循環病態学論文演習
専 助教		中萬 岳郎 <平成30年4月> 博士(医学)	脂質生化学特論 消化器病態化学特論 代謝性疾患医学化学特論 代謝制御学特別研究 代謝制御学論文演習	専 助教		中萬 岳郎 <平成30年4月> 博士(医学)	脂質生化学特論 消化器病態化学特論 代謝性疾患医学化学特論 代謝制御学特別研究 代謝制御学論文演習	専 助教		中萬 岳郎 <平成30年4月> 博士(医学)	脂質生化学特論 消化器病態化学特論 代謝性疾患医学化学特論 代謝制御学特別研究 代謝制御学論文演習	専 助教		中萬 岳郎 <平成30年4月> 博士(医学)	脂質生化学特論 消化器病態化学特論 代謝性疾患医学化学特論 代謝制御学特別研究 代謝制御学論文演習
専 助教		森川 真悠子 <平成30年4月> 博士(医学)	スポーツ医学特論 運動生理学特論 スポーツ医学特別研究 スポーツ医学論文演習	専 助教		森川 真悠子 <平成30年4月> 博士(医学)	スポーツ医学特論 運動生理学特論 スポーツ医学特別研究 スポーツ医学論文演習	専 助教		森川 真悠子 <平成30年4月> 博士(医学)	スポーツ医学特論 運動生理学特論 スポーツ医学特別研究 スポーツ医学論文演習	専 助教		森川 真悠子 <平成30年4月> 博士(医学)	スポーツ医学特論 運動生理学特論 スポーツ医学特別研究 スポーツ医学論文演習
				専 助教		付 星 <平成30年4月> Ph.D.	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	専 助教		付 星 <平成30年4月> Ph.D.	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論 分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習				
				専 助教		川岸 裕幸 <平成30年4月> 博士(医学)	分子薬理学特別研究 実験薬理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学論文演習 薬理・組織・細胞機能研究 方法特論	専 助教		川岸 裕幸 <平成30年4月> 博士(医学)	分子薬理学特別研究 実験薬理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学論文演習 薬理・組織・細胞機能研究 方法特論	専 助教		川岸 裕幸 <平成30年4月> 博士(医学)	分子薬理学特別研究 実験薬理学特論 臨床薬理学特論 分子薬理学論文演習 薬理・組織・細胞機能研究 方法特論
				専 助教		加藤 太門 <平成30年4月> 学士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専 助教		加藤 太門 <平成30年4月> 学士(医学)	臓器・細胞再生工学特論	専 助教		加藤 太門 <平成30年4月> 学士(医学)	臓器・細胞再生工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	林 卓哉 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	新井 進 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	高寺 政行 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	大越 豊 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	加藤 正人 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	大川 浩作 <平成30年4月> 博士(理学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	石澤 広明 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	乾 滋 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	後藤 康夫 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講
兼任	特任教授	福嶋 義光 <平成30年4月> 博士(医学)	生命倫理・研究倫理特講
兼任	教授	中沢 洋三 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特講
兼任	教授	伊藤 研一 <平成30年4月> 博士(医学)	医科学研究遂行特講
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学)	医科学研究遂行特講
兼任	准教授	KIM IK SOO <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	准教授	森 正悟 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	高寺 政行 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講
兼任	特任教授	福嶋 義光 <平成30年4月> 博士(医学)	生命倫理・研究倫理特講
兼任	教授	中沢 洋三 <平成30年4月> 博士(医学)	生涯保健学研究法特講
兼任	教授	伊藤 研一 <平成30年4月> 博士(医学)	医科学研究遂行特講
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学)	医科学研究遂行特講
兼任	准教授	KIM IK SOO <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	高寺 政行 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講
兼任	特任教授	福嶋 義光 <平成30年4月> 博士(医学)	生命倫理・研究倫理特講 医科学研究遂行特講
兼任	教授	伊藤 研一 <平成30年4月> 博士(医学)	医科学研究遂行特講
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学)	医科学研究遂行特講
兼任	准教授	KIM IK SOO <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	高寺 政行 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講
兼任	特任教授	福嶋 義光 <平成30年4月> 博士(医学)	生命倫理・研究倫理特講 医科学研究遂行特講
兼任	教授	伊藤 研一 <平成30年4月> 博士(医学)	医科学研究遂行特講
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学)	医科学研究遂行特講
兼任	准教授	KIM IK SOO <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	高寺 政行 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講
兼任	特任教授	福嶋 義光 <平成30年4月> 博士(医学)	生命倫理・研究倫理特講 医科学研究遂行特講
兼任	教授	伊藤 研一 <平成30年4月> 博士(医学)	医科学研究遂行特講
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学)	医科学研究遂行特講
兼任	准教授	KIM IK SOO <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	安江 恒 <平成30年4月> 博士(農学) 先鋭領域融合研究群最先端研究特講									
兼任	准教授	PATAKY TODD COLIN <平成30年4月> 博士(理学) 先鋭領域融合研究群最先端研究特講									
兼任	准教授	鈴木 俊太郎 <平成30年4月> 博士(情報科学) 成人保健学特論	兼任	准教授	鈴木 俊太郎 <平成30年4月> 博士(情報科学) 成人保健学特論						
兼任	准教授	速水 達也 <平成30年4月> 博士(体育科学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	准教授	速水 達也 <平成30年4月> 博士(体育科学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	准教授	速水 達也 <平成30年4月> 博士(体育科学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	准教授	速水 達也 <平成30年4月> 博士(体育科学) 成人保健学特論 成人保健学演習
兼任	准教授	森 政之 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	准教授	森 政之 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	准教授	森 政之 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	准教授	森 政之 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論
兼任	准教授	高橋 史 <平成30年4月> 博士(理学) 発達精神病理学特論	兼任	准教授	高橋 史 <平成30年4月> 博士(理学) 発達精神病理学特論	兼任	准教授	高橋 史 <平成30年4月> 博士(理学) 発達精神病理学特論	兼任	准教授	高橋 史 <平成30年4月> 博士(理学) 発達精神病理学特論
						兼任	准教授	中山 佳子 <平成31年4月> 博士(医学) 生重保健学研究方法特論	兼任	准教授	中山 佳子 <平成31年4月> 博士(医学) 生重保健学研究方法特論
兼任	講師	廣野 準一 <平成30年4月> 修士(体育学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	講師	廣野 準一 <平成30年4月> 修士(体育学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	講師	廣野 準一 <平成30年4月> 修士(体育学) 成人保健学特論 成人保健学演習	兼任	講師	廣野 準一 <平成30年4月> 修士(体育学) 成人保健学特論 成人保健学演習
兼任	助教	KIM KYOUNGOK <平成30年4月> 博士(工学) 先鋭領域融合研究群最先端研究特講									
兼任	助教	澤下 仁子 <平成30年4月> 博士(薬学) 人類遺伝学研究方法特論									
兼任	助教	吉沢 隆浩 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論	兼任	助教	吉沢 隆浩 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論	兼任	助教	吉沢 隆浩 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論	専任	助教	吉沢 隆浩 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 予防医学特論 遺伝医学特論
						兼任	助教	野内 玲 <平成31年4月> 博士(文学) 生命倫理・研究倫理特論	兼任	助教	野内 玲 <平成31年4月> 博士(文学) 生命倫理・研究倫理特論
兼任	教授	弘瀬 雅教 <平成30年4月> 博士(医学) 器官・組織・細胞機能研究方法特論	兼任	教授	弘瀬 雅教 <平成30年4月> 博士(医学) 器官・組織・細胞機能研究方法特論	兼任	教授	弘瀬 雅教 <平成30年4月> 博士(医学) 器官・組織・細胞機能研究方法特論	兼任	教授	弘瀬 雅教 <平成30年4月> 博士(医学) 器官・組織・細胞機能研究方法特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

教員退職等による教員配置の見直しにより「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」ほか56科目の専任教員等の配置を変更。

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プランにおける教育プログラム「ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース」を開設したため、3科目を追加。

【令和元年度】

・教員退職等による教員配置の見直しにより「生命倫理・研究倫理特論」ほか74科目の専任教員等の配置を変更。

・改組前に退職により不在となっていた複数教室の再編が終わり、学生を受け入れるための体制を整えるため5科目を追加。

【令和2年度】

・教員退職等による教員配置の見直しにより「器官・組織・細胞機能研究方法特論」ほか44科目の専任教員等の配置を変更。

【令和3年度】

・教員退職等による教員配置の見直しにより「生涯保健学研究法特論論」ほか58科目の専任教員等の配置を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
36 (うち30名は生命医工学専攻を含めた医学関係博士課程全体の人数)	4	36 (うち30名は生命医工学専攻を含めた医学関係博士課程全体の人数)
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
48	34	25	51	158	0	64	35	25	30	154	0
(52)	(33)	(27)	(47)	(159)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/		
102	56	0				120	35	0			
(107)	(52)	(0)									
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
64	35	25	30	154	0	65	36	25	30	156	0
[16]	[1]	[0]	[Δ21]	[Δ4]	[0]	[17]	[2]	[0]	[Δ21]	[Δ2]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/		
120	35	0				120	35	0			
[18]	[Δ21]	[0]				[18]	[Δ21]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{154}{158} = \boxed{97.46} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{154} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	植村 健	H29.10	必修	分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	①	所属変更のため就任辞退（30）						
				選択	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論	①							
2	講師	下条 久志	H30.3	必修	病理組織学特別研究 病理組織学論文演習	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	病理解剖・組織学特論 免疫病理学特論 腫瘍病理学特論	①							
3	講師	林 宏一	H30.3	必修	皮膚科学特別研究 皮膚科学論文演習	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	皮膚腫瘍学特論	①							
4	助教	藤田 佳子	H30.3	必修	生理学特別研究 生理学論文演習	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	循環細胞生命科学特論 循環分子生命科学特論	①							
5	助教	山崎 佐枝子	H30.3	選択	臓器・細胞再生工学特論	①	退職のため就任辞退（30）						
6	助教	安永 能周	H30.3	必修	形成再建外科学特別研究 形成再建外科学論文演習	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	形成再建外科学特論 熱傷学特論	①							
7	助教	家里 康弘	H30.3	必修	眼科学特別研究 眼科学論文演習	①	研究休職のため就任辞退（30）						
				選択	眼病理学特論 眼生化学特論	①							
8	助教	鈴木 宏明	H30.3	選択	神経耳科学特論	①	退職のため就任辞退（30）						
9	助教	浅香 志穂	H29.5	必修	病態解析診断学特別研究 病態解析診断学論文演習	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	臨床血液学特論 遺伝子診断学特論 診断病理学特論	①							
10	准教授	ゴウ アー チェン	H30.3	必修	成人保健学特論 成人保健学特別研究	①	退職のため就任辞退（30）						
				選択	成人保健学演習	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
10	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	19	科目	選択	19	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	35	科目	計	35	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	上松 一永	H31.3	必修	感染防御学特別研究 感染防御学論文演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	移植感染症学特論 移植病態学特論 免疫学研究方法特論 微生物感染症学特論 感染病態学特論	①	
2	准教授	佐藤 吉彦	H31.3	必修	加齢代謝内分泌学特別研究	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	代謝内分泌実践学特論 代謝内分泌制御論理学特論	①	
3	准教授	棚橋 浩	H30.7	必修	神経可塑性学特別研究 神経可塑性学論文演習	①	H30.7.31付け退職のため辞任(元)
				選択	神経可塑性学特論 シナプス学特論 シナプス病学特論	①	
4	講師	中田 勉	H31.3	必修	分子薬理学特別研究 分子薬理学論文演習	①	H30.10.1付け所属先変更のため辞任(元)
				選択	実験薬理学特論	①	
5	講師	大平 哲史	H31.3	選択	産科学特論	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
6	講師	高橋 徹	H31.3	選択	精神医学特論	①	R1.5.1付け所属変更予定のため辞任(元)
7	講師	鹿島 大靖	H31.3	選択	内分泌学特論 婦人科学特論	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
8	講師	関口 和	H31.3	必修	臨床腫瘍学特別研究 臨床腫瘍学論文演習	①	R1.7.31付け退職予定のため辞任(元)
				選択	腫瘍学研究方法特論 臨床腫瘍学特論	①	
9	助教	柏原 俊英	H30.8	必修	分子薬理学特別研究	①	H30.8.31付け退職のため辞任(元)
				選択	器官・組織・細胞機能研究方法特論 臨床薬理学特論	①	
10	助教	宮川 麻衣子	H30.6	選択	分子遺伝学特論	①	H30.6.30付け退職のため辞任(元)
11	助教	西尾 信哉	H30.7	選択	分子遺伝学特論	①	H30.7.31付け退職のため辞任(元)
12	助教	岩佐 陽一郎	H30.7	選択	聴覚医学特論	①	H30.7.1付け研究休職のため辞任(元)
13	助教	山ノ井 一裕	H31.3	必修	分子病理学特別研究 分子病理学論文演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	形態学研究方法特論 分子病理学特論 糖鎖生物学特論 腫瘍病理学特論	①	
14	助教	大月 聡明	H31.3	必修	病態解析診断学特別研究 病態解析診断学論文演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	臨床血液学特論 遺伝子診断学特論 診断病理学特論	①	

15	准教授	菅 智明	R2. 3	必修	消化器・腎臓・血液学特別研究 消化器・腎臓・血液学論文演習	①	R2. 3. 31付け退職のため辞任 (2)
				選択	消化器・腎臓・血液内科学特論 消化器・腎臓・血液内科診断学特論 消化器・腎臓・血液内科治療学特論		
16	准教授	小林 聡	R2. 3	必修	消化器外科学特別研究 消化器外科学論文演習	①	R2. 3. 31付け退職のため辞任 (2)
				選択	消化器外科腫瘍学特論 消化器移植・再生医学特論		
17	准教授	濱野 英明	R2. 3	必修	保健・医療・福祉連携特論	①	R2. 3. 31付け退職のため辞任 (2)
				選択	地域医療情報学特論 医学情報教育学特論		
18	講師	西尾 真一	R1. 11	必修	加齢代謝内分泌学特別研究 加齢代謝内分泌学論文演習	①	R1. 11. 30付け退職のため辞任 (2)
				選択	加齢代謝内分泌学特論		
19	講師	茂木 英明	R1. 7	必修	耳鼻咽喉科学特別研究	①	R1. 7. 18付け退職のため辞任 (2)
				選択	分子遺伝学特論		
20	講師	望月 勝徳	R1. 9	必修	救急集中治療医学特別研究 救急集中治療医学論文演習	①	R1. 9. 1付け研究休職のため辞任 (2)
				選択	救急医学特論 集中治療医学特論 災害医学特論		
21	助教	吉野 和寿	R1. 12	必修	免疫・微生物学特別研究 免疫・微生物学論文演習	①	R2. 12. 31付け退職のため辞任 (2)
				選択	細菌学特論 ウイルス学特論		
22	助教	鳥山 佑一	R2. 3	選択	眼病理学特論 眼生化学特論 眼科診断治療学	①	R2. 3. 31付け退職のため辞任 (2)
23	助教	付 昱	R1. 10	必修	分子細胞生理学特別研究 分子細胞生理学論文演習	①	R1. 10. 31付け退職のため辞任 (2)
				選択	一般生理学特論 神経生理学特論 病態生理学特論		
24	教授	小野 歩	R2. 8	必修	循環器内科学特別研究	①	R2. 8. 31付け退職のため辞任 (3)
25	准教授	山折 大	R3. 3	必修	分子薬理学特別研究	①	R3. 3. 31付け退職のため辞任 (3)
				必修	分子薬理学論文演習		
				選択	臨床薬理学特論 分子薬物動態学特論		

26	准教授	山崎 浩司	R3.3	必修	成人保健学特論 成人保健学特別研究	①	R3.3.31付け退職のため辞任 (3)		
				選択	生涯保健学研究法 特論 成人保健学演習				
27	助教	永井 史緒	R3.3	必修	形成再建外科学特 別研究 形成再建外科学論 文演習	①	R3.4.1付け担当変更のため辞任 (3)		
				選択	形成再建外科学特 論 熱傷学特論				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
27	人	必修	30 科目	必修	30 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	52 科目	選択	52 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	82 科目	計	82 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
37	人	必修	46 科目	必修	46 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	71 科目	選択	71 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	117 科目	計	117 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{158} = \boxed{23.41} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	藤本 圭作	必修	医療生命科学特論 医療生命科学特別研究	①	R3.3.31付け定年退職のため辞任 (3)	
			選択	医療生命科学演習			
2	教授	奥村 伸生	必修	保健・医療・福祉 連携特論 医療生命科学特論 医療生命科学特別研究	①	R3.3.31付け定年退職のため辞任 (3)	
			選択	医療生命科学演習			
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	4 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については、他の専任教員もしくは本人が兼担として担当することで問題はない。また、学生に対しては、令和3(2021)年度シラバスを作成し、周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合医理工学研究科 医学系専攻（博士課程）>

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	令和2年度に実施された、大学機関別認証評価訪問調査において、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に学習成果の評価の方針が明確かつ具体的に明示されていないとの指摘を受け、評価方法を追記した。（別紙資料参照）

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 総合医理工学研究科正副研究科長会議</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回開催，構成員：研究科長，専攻長，副専攻長 8名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>研究科全体における教員の資質の維持向上方策の実施については，総合医理工学研究科正副研究課長会議において方針を決定する。 その他の教員の資質の維持向上方策（FD活動含む）については，教員が兼務する学部・修士課程研究科において実施している。</p>
--

信州大学大学院総合医理工学研究科委員会規程

(略)

(会議)

第8条 研究科委員会に、研究科の円滑な運営を図るため、次の会議を置く。

- (1) 分野会議
- (2) ユニット会議
- (3) コース会議
- (4) 正副研究科長会議

2 会議に関し、必要な事項は、別に定める。

(略)

信州大学大学院総合医理工学研究科長等に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、信州大学大学院学則（平成16年信州大学学則第2号）第9条及び信州大学大学院総合医理工学研究科規程（平成30年信州大学規程第289号）第4条第4項の規定に基づき、信州大学大学院総合医理工学研究科（以下「研究科」という。）に置く研究科長、副研究科長、専攻長、副専攻長、分野長、ユニット長及びコース長（以下「研究科長等」という。）に関し必要な事項を定める。

(研究科長)

第2条 研究科長は、理学系長、医学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長の輪番とし、別表1のとおり兼ねるものとする。

(副研究科長)

第3条 副研究科長は、研究科長とならない専攻長及び副専攻長が兼ねるものとする。

(専攻長)

第4条 専攻長は、次のとおりとする。

医学系専攻長 医学系長
総合理工学専攻長 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長の輪番
生命医工学専攻長 生命工学分野長及び生体医工学分野長から選出

2 第2条第1項により研究科長となった場合は、前項の規定に関わらず所属専攻の専攻長を兼ねるものとする。ただし、生命医工学専攻長についてはこの限りではない。

(副専攻長)

第5条 副専攻長は、次のとおりとする。

医学系専攻副専攻長 保健学系長
総合理工学専攻副専攻長 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長のうち、専攻長とならない学系長
生命医工学専攻副専攻長 生命工学分野長及び生体医工学分野長のうち、専攻長とならない分野長

(分野長)

第6条 分野長は、次のとおりとする。

医学系専攻 医学分野 医学系長
保健学分野 保健学系長
総合理工学専攻 各分野のユニット長の輪番（順番は原則として第7条の表のユニットの掲載順）とする。
生命医工学専攻 各分野のコース長から選出

(ユニット長)

第7条 総合理工学専攻のユニット長は、研究科において主たる授業又は指導を担当するものとして配置された専任の教員（以下「専任教員」という。）のうち、当該ユニットの研究指導教授から選出するものとする。

(コース長)

第8条 生命医工学専攻の各分野にコース長を置き、各コースの専任教員のうち、研究指導教授から選出するものとする。

(任期)

第9条 研究科長等の任期は別表2のとおりとする。

2 研究科長等が、任期途中で辞任を申し出たとき又は欠員となったときは、次のとおりとし、任期は前任者の残任期間とする。

一 研究科長、副研究科長、専攻長（生命医工学専攻長は除く。）、副専攻長（生命医工学専攻副専攻長は除く。）及び医学系専攻の各分野長の場合は、当該者の後任の学系長をもって充てる。

二 生命医工学専攻長の場合は、副専攻長が兼ねるものとする。

三 分野長（医学系専攻は除く。）

総合理工学専攻の場合は、分野長以外のユニット長が兼ねるものとする。

生命医工学専攻の場合は、分野長以外のコース長が兼ねるものとする。

四 ユニット長

当該ユニットの専任教員のうち、研究指導教授から選出する。

五 コース長

当該コースの専任教員のうち、研究指導教授から選出する。

(生命医工学専攻の専任教員が学系長となった場合)

第10条 生命医工学専攻の専任教員が、理学系、医学系、保健学系、工学系、農学系及び繊維学系の何れかの学系長又は副学系長に任命された場合は、第4条から第5条に関わらず、次のとおりとする。

一 医学系長となった場合

イ 医学系専攻長

医学系専攻医学分野の専任教員のうち、研究指導教授の中から、医学系長が指名した者とし、研究科長とならない場合は、副研究科長を兼ねるものとする。

ロ 医学分野長

イが兼ねるものとする。

二 保健学系長となった場合

イ 医学系副専攻長

副学系長のうち、保健学系長が指名した者とする。

ロ 保健学分野長

イが兼ねるものとする。

三 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長となった場合

当該学系において、専任教員のうち研究指導教授の中から当該学系長が指名した者とし、専攻長或いは副専攻長とする。なお、研究科長とならない場合は、副研究科長を兼ねるものとする。

四 学系長及び副学系長（2名置いている場合は2名とも）となった場合

当該学系において、専任教員のうち研究指導教授の中から当該学系長が指名した者とし、該当する第一号から第三号の役職に充てる。

(正副研究科長会議)

第11条 信州大学大学院総合医理工学研究科委員会規程（平成30年信州大学規程第290号）第8条第1項第4号に定める、総合医理工学研究科正副研究科長会議（以下「正副研究科長会議」という。）は、研究科長及び副研究科長をもって組織する。

2 正副研究科長会議は、研究科の運営に関する連絡調整を行う。

3 研究科長は、正副研究科長会議を招集し、その議長となる。

4 研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長が指名した副研究科長が、その職務を代行する。

5 正副研究科長会議の庶務は、学務部学務課において処理する。

6 正副研究科長会議に関し必要な事項は、正副研究科長会議において定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から実施する。

② 実施状況

a 実施内容

ア. 研究倫理教育（APRIN eラーニングプログラム）の受講

イ. 研究倫理教育・コンプライアンス教育

ウ. 剽窃チェックツール「iThenticate」利用説明会

- ・医学分野：学生指導者を対象とした医学教育FD、新規採用・昇進者を対象とした医学教育FD、オンラインFD
- ・保健学分野：FD研修会の開催、教員の相互授業見学、オンラインFDの受講

b 実施方法

ア. e-Learningにより、教員各自が受講

イ. 教育研究評議会及び教員が兼務する学部において他大学等の事例を照会するなどの教育を実施

ウ. 全教員を対象に、剽窃チェックツールの販売代理店の方を講師に迎え、剽窃チェックツールについて、利用方法等を説明

- ・医学分野：アクティブ・ラーニング形式、オンライン上での受講
- ・保健学分野：研修会への参加、見学の実施、オンライン上での受講

c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. 3年に1回を義務化

イ. 月1回

ウ. 教職員95名が参加

- ・医学分野：アクティブ・ラーニング形式（年3回）、オンライン上でのFD（1回）
- ・保健学分野：研修会（年1回）、オンライン上でのFD（1回）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

指導する側の教員の研究倫理の向上が図られることにより、学生への波及効果が期待できる。

- ・医学分野：実際に授業で使用するパワーポイント資料・シラバス等のブラッシュアップを行い、直ぐに授業に反映している。
- ・保健学分野：見学感想文をフィードバックし、授業方法向上に資する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・1年次修了時と修了年度に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には公表し、学生には公表していない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

本専攻では、応用的・学際的な「医学」、「理学」、「工学」及び「農学」分野における諸課題に対し、広い視野で問題を捉え、解決の方策を探究する総合的な洞察力・俯瞰力を育成することを目的として、「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」等の研究科共通科目を開設し、また、専門領域にとられない医工学に関連する広範囲な知識と技術を学ぶため、各分野の専門科目に加えて、「生命倫理・研究倫理」等の専攻共通科目を開設した。

研究指導は、主指導教員と2名以上の副指導教員（少なくとも1名を専攻内の他分野又は他ユニットの教員が担当）の合計3名以上の教員により構成される複数指導体制により実施する。

学位論文審査は、審査委員長と3名以上の審査委員による学位審査委員会により審査する。審査委員には本学以外の大学等教育研究機関の外部審査委員を少なくとも1名加えることにより、厳格な学位審査を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年12月 公表予定

b 公表方法

- ・大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和2年度に（独）大学改革支援・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準に適合していることが認定された。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【信州大学大学院】教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)改正案

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。
2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、**学位授与の方針に基づき**各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。
【評価方法】
 - ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

【総合医理工学研究科】教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）改正案

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、医学系、理工学系及び生命医工学分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本研究科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるための体系的な教育課程を編成する
3. 専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力を修得させるための研究科共通科目、専門性を高めながら、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を修得させるための専攻共通科目等を開講する
4. 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点する

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定する
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定する
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定する。
5. 博士学位論文審査体制を充実させ、厳格で透明な論文審査を行い修了判定を実施します。

（医学系専攻）

医学系専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学・保健学における高度専門職業人、研究者に必要とされる世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する。
3. 専門分野に偏ることなく洞察力や応用力を修得させるための専攻共通科目及び分野共通科目を開講する。

(総合理工学専攻)

総合理工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、理工農学系各分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、コースワークから学位論文作成へ有機的につながる体系的な教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する
3. 高い専門性と総合性のバランスを確保し、洞察力、応用力を修得させるため、本専攻が幅広い学問分野により構成されているという利点を生かして、ユニット・分野を越えた専攻共通科目を開講する

(生命医工学専攻)

生命医工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学系と理工学系融合である生命医工学分野における高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるため、理工学系「3年制コース」と医学系「4年制コース」においてそれぞれの専門科目を開講する
3. 生命医工学の特徴である境界領域の広範囲な知識の修得と洞察力、応用力を修得させるための専攻共通科目を開講する

大学番号 国041

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 総合医理工学研究科 生命医工学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人信州大学

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 マル ヤマ マサ ヨ代

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合医理工学研究科

＜生命医工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部） 〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (H27.10)		
研究科長	(タナカ エイジ) 田中 榮司 (H30.4)	(ナカヤマ ジュン) 中山 淳 (H31.4)	任期満了に伴う交代 平成31年4月1日変更 (元)
		(シモサカ マコト) 下坂 誠 (R02.4)	任期満了に伴う交代 令和2年4月1日変更 (2)
		(モリカワ ヒデアキ) 森川 英明 (R03.4)	任期満了に伴う交代 令和3年4月1日変更 (3)
学科長等	(サイトウ ナオト) 齋藤 直人 (H30.4)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合医理工学研究科 生命工医学専攻 博士（医学） 博士（工工学）	医学関係 工学関係	4（医学関係） 3（工学関係）	15		55		基礎となる学部等 医学部 理学部 工学部 農学部 繊維学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	—	15 (—) [若干人]	—	15 (—) [若干人]	—	15 (—) [若干人]	—	15 (—) [若干人]	—	1.26 1.40倍	—	—
志願者数	— (—) [—]	—	21 (—) [2]	3 (—) [2]	18 (—) [3]	0 (—) [—]	15 (—) [1]	0 (—) [—]	19 (—) [1]	—			
受験者数	— (—) [—]	—	21 (—) [2]	3 (—) [2]	18 (—) [3]	0 (—) [—]	15 (—) [1]	0 (—) [—]	19 (—) [1]	—			
合格者数	— (—) [—]	—	21 (—) [2]	3 (—) [2]	18 (—) [3]	0 (—) [—]	15 (—) [1]	0 (—) [—]	19 (—) [1]	—			
B 入学者数	— (—) [—]	—	21 (—) [2]	3 (—) [2]	18 (—) [3]	0 (—) [—]	15 (—) [1]	0 (—) [—]	19 (—) [1]	—			
入学定員超過率 B/A	—		1.60 1.40		1.20		1.00		1.27				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	21 [2] (—)	3 [2] (—)	18 [3] (—)	0 [—] (—)	15 [1] (—)	0 [—] (—)	19 [1] (—)	0 [—] (—)			
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	19 [2] (—)	3 [2] (—)	18 [4] (1)	0 [—] (—)	15 [1] (1)	0 [—] (—)			
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	18 [2] (—)	3 [2] (—)	21 [4] (—)	3 [2] (—)			
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	13 [2] (—)	0 [—] (—)			
計	— [—] (—)	— [—] (—)	24 [4] (—)	— [—] (—)	40 [7] (—)	— [—] (—)	54 [9] (1)	— [—] (—)	71 [10] (1)	— [—] (—)			

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	21 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	40 人	2 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	2 人	0 人	家庭の事情(1人), 転専攻(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	54 人	3 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	2 人	0 人	一身上の都合(2人)
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和3年度	71 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		5 人		5 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{40} = \boxed{5} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{54} = \boxed{5.55} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合医理工学研究科 生命工学専攻（博士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	1・2・3通	2			2	1				18
	特別招へい教授グローバル研究特講	1・2・3通	2			1					4
	知財管理特講	1・2・3・4前	2								1
	小計(3科目)	-	2	4	0	2	1	0	0	0	19
専攻共通科目	社会工学特論イノベーション+	1・2通	2			2	1				1
	企業/行政/病院インターンシップ	1・2前	2			2	1				1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
生命工学分野 4年制コース 専門科目	生命工学特別演習Ⅰ	1通	2			6	8	5	1		
	生命工学特別演習Ⅱ	2通	2			6	8	5	1		
	生命工学特別演習Ⅲ	3通	4			4	2	5			
	生命倫理・研究倫理特論	1前	2								2
	医学研究遂行特論	1前	2			1					7
	医学統計・疫学特論	1前	2								3
	生涯保健学研究方法特論	1前	2			1					7
	形態学研究方法特論	1前	2								4
	免疫学研究方法特論	1前	2								3
	生化学・分子生物学研究方法特論	1前	2								6
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2				1		1		4
	器官・組織・細胞機能研究方法特論	1前	2								5
	神経科学研究方法特論	1前	2								1
	腫瘍学研究方法特論	1前	2								5
	加齢生物学特論	1・2・3・4通	2				1			1	
	抗老化学特論	1・2・3・4通	2				1			1	
	疾患動物遺伝学特論	1・2・3・4通	2				1			1	
	心臓血管外科学特論	1・2・3・4通	2				1	1	2	2	
	補助循環特論	1・2・3・4通	2				1	1	2	2	
	低侵襲血管外科学特論	1・2・3・4通	2				1	1	2	2	
	乳腺外科学特論	1・2・3・4通	2				1			2	
	甲状腺外科学特論	1・2・3・4通	2				1			2	
	呼吸器外科学特論	1・2・3・4通	2				1	1	1		
	幹細胞生物学特論	1・2・3・4通	4				1				
	循環器再生医療学特論	1・2・3・4通	2				1				
	成長・発達医学特論	1・2・3・4通	2				1		1		2
	臨床免疫・感染症学特論	1・2・3・4通	2				1		2	1	1
	遺伝子・細胞治療学特論	1・2・3・4通	2				1		1	1	
	(研究指導)	2~4通	-	-	-	4	2	5			
	3年制 コース	酵素工学特論	1・2・3通	2			1	1			
		分子生命科学特論	1・2・3通	2				3			
		生命機能学特論	1・2・3通	2			1			1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	1~4通	2			2	0				4
	特別招へい教授グローバル研究特講	1~4通	2			2					3
	知財管理特講	1・2・3・4前	2								1
	小計(3科目)	-	2	4	0	3	0	0	0	0	7
専攻共通科目	社会工学特論イノベーション+	1・2通	2			1	1				1
	企業/行政/病院インターンシップ	1・2後	2			1					1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
生命工学分野 4年制コース 専門科目	生命工学特別演習Ⅰ	1通	2			10	9	4	0		
	生命工学特別演習Ⅱ	2通	2			10	9	4	0		
	生命工学特別演習Ⅲ	3通	4			5	4	4			
	生命倫理・研究倫理特論	1前	2								3
	医学研究遂行特論	1前	2			1					9
	医学統計・疫学特論	1前	2								3
	生涯保健学研究方法特論	1前	2			0	1				7
	形態学研究方法特論	1前	2								5
	免疫学研究方法特論	1前	2								3
	生化学・分子生物学研究方法特論	1前	2					1			7
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2					1		0	4
	器官・組織・細胞機能研究方法特論	1前	2								6
	神経科学研究方法特論	1前	2								1
	腫瘍学研究方法特論	1前	2								6
	加齢生物学特論	1・2・3通	2				1		1		
	抗老化学特論	1・2・3通	2				1		1		
	疾患動物遺伝学特論	1・2・3通	2				1		1		
	心臓血管外科学特論	1・2・3通	2				1	0	1	1	
	補助循環特論	1・2・3通	2				1	0	1	1	
	低侵襲血管外科学特論	1・2・3通	2				1	0	1	1	
	乳腺外科学特論	1・2・3通	2				1	1	0	1	
	甲状腺外科学特論	1・2・3通	2				1	1	0	1	
	呼吸器外科学特論	1・2・3通	2				1	1	1	0	
	幹細胞生物学特論	1・2・3通	4				1				
	循環器再生医療学特論	1・2・3通	2				1				
	成長・発達医学特論	1・2・3通	2				1	1	0		2
	臨床免疫・感染症学特論	1・2・3通	2				1	1	2	0	0
	遺伝子・細胞治療学特論	1・2・3通	2				1		2	0	
	がんゲノム医療	1・2・3通	1								1
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1								1
	ライフステージに応じたがん医療	1・2・3通	1								1
	(研究指導)	2~4通	-	-	-	5	4	4			
	3年制 コース	酵素工学特論	1・2・3通	2			1	1			
		分子生命科学特論	1・2・3通	2				2			
		生命機能学特論	1・2・3通	2			1			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
門科目 生命工学分野 専	3年制コース 応用分子生物学特論	1・2・3通	2			1		1			
	分子生理学特論	1・2・3通	2			1					
	分子資源環境学特論 (研究指導)	1～3通	—	—	—	2	6	1			
	小計(34科目)	—	12	60	0	6	8	5	10	0	43
生体医工学分野 専門科目	目分野共通科 I 生体医工学特別演習	1通	2			5	9	4	1		
	II 生体医工学特別演習	2通	2			5	9	4	1		
	4年制コース 生体医工学特別演習 III	3通	4			2	5	4			
	生命倫理・研究倫理特論	1前	2							2	
	医学研究遂行特論	1前	2			1				7	
	医学統計・疫学特論	1前	2							3	
	生涯保健学研究法特論	1前	2			1				7	
	形態学研究方法特論	1前	2							4	
	免疫学研究方法特論	1前	2							3	
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2							6	
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2				1		1	4	
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2							5	
	神経科学研究方法特論	1前	2							1	
	腫瘍学研究方法特論	1前	2							5	
	運動器生体医工学特論	1・2・3・4 通	2			1	1				
	ナノ生体材料学特論	1・2・3・4 通	2			1	1				
	境界生命科学特論	1・2・3・4 前	2			1	1				
	脊椎脊髄病学特論	1・2・3・4 通	2				2	2	3		
	骨軟骨学特論	1・2・3・4 通	2				2	2	3		
	腱靭帯末梢神経学特論	1・2・3・4 通	2				2	2	3		
	脳神経外科特論	1・2・3・4 通	2			1	2	2			
	脳卒中外科学特論	1・2・3・4 通	2			1	2	2			
	脳腫瘍学特論	1・2・3・4 通	2			1	2	2			
	歯科口腔外科特論	1・2・3・4 通	2			1	1		2		
	歯科人工/生体材料 学特論	1・2・3・4 通	2			1	1		2		
	咬合学特論	1・2・3・4 通	2			1	1		2		
	(研究指導)	2～4通	—	—	—	2	5	4			
	3年制コース 計算生物学特論	1・2・3通	2			1				1	
	生物流体力学特論	1・2・3通	2			1					
	スポーツバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2			1					
	ソリッドバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2				1			0	
	ヒト力学の統計解析 特論	1・2・3通	2				1			1	
	先端生体材料学特論	1・2・3通	2						1		
	コンピュータ外科学特論	1・2・3通	2			1				1	
	バイオMEMS特論	1・2・3通	2				1			0	
	比較認知科学特論	1・2・3通	2				1			1	
生体ロボット制御学 特論	1・2・3通	2						1			
(研究指導)	1～3通	—	—	—	3	4	1				
小計(36科目)	—	—	12	62	0	6	9	4	9	0	40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
門科目 生命工学分野 専	3年制コース 応用分子生物学特論	1・2・3通	2			1		1			
	分子生理学特論	1・2・3通	2			1		1			
	分子資源環境学特論 (研究指導)	1～3通	—	—	—	5	5		0		
	小計(37科目)	—	12	63	0	6	9	4	11	0	47
生体医工学分野 専門科目	目分野共通科 I 生体医工学特別演習	1通	2			8	8	5	1		
	II 生体医工学特別演習	2通	2			8	8	5	1		
	4年制コース 生体医工学特別演習 III	3通	4			4	5	5			
	生命倫理・研究倫理特論	1前	2							3	
	医学研究遂行特論	1前	2			1				9	
	医学統計・疫学特論	1前	2							3	
	生涯保健学研究法特論	1前	2					1		7	
	形態学研究方法特論	1前	2							5	
	免疫学研究方法特論	1前	2							3	
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2					1		7	
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2					1	0	4	
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2							6	
	神経科学研究方法特論	1前	2							1	
	腫瘍学研究方法特論	1前	2							6	
	運動器生体医工学特論	1・2・3通	2			1	2				
	ナノ生体材料学特論	1・2・3通	2			1	2				
	境界生命科学特論	1・2・3通	2			1	2				
	脊椎脊髄病学特論	1・2・3通	2			1	1	3	1		
	骨軟骨学特論	1・2・3通	2			1	1	3	1		
	腱靭帯末梢神経学特論	1・2・3通	2			1	1	3	1		
	脳神経外科特論	1・2・3通	2			1	0	3	0		
	脳卒中外科学特論	1・2・3通	2			1	0	3	0		
	脳腫瘍学特論	1・2・3通	2			1	0	3	0		
	歯科口腔外科特論	1・2・3通	2			1	1		2		
	歯科人工/生体材料 学特論	1・2・3通	2			1	1		2		
	咬合学特論	1・2・3通	2			1	1		2		
	がんゲノム医療	1・2・3通	1							1	
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1							1	
	ライフステージに応じ たがん医療	1・2・3通	1							1	
	(研究指導)	2～4通	—	—	—	4	5	5			
	3年制コース 計算生物学特論	1・2・3通	2			1			1		
	生物流体力学特論	1・2・3通	2			1	1				
	スポーツバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2			1					
	ソリッドバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2				1	0			
	ヒト力学の統計解析 特論	1・2・3通	2				1				
	先端生体材料学特論	1・2・3通	2						1		
コンピュータ外科学特論	1・2・3通	2					0		1		
バイオMEMS特論	1・2・3通	2				1	0				
比較認知科学特論	1・2・3通	2				1					
生体ロボット制御学 特論	1・2・3通	2						1			
(研究指導)	1～3通	—	—	—	4	3		1			
小計(39科目)	—	—	12	65	0	6	7	5	8	0	45

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
ファイバーネットワークを先導するグローバルリーダーの養成プログラム	必修科目	特別実験	1通	2		3	4				66	
	特別演習	1通	2		3	4					66	
	海外特別実習	1通	2								1	
	専修実験Ⅰ	2通	2		3	4					66	
	専修演習Ⅰ	2通	2		3	4					66	
	インターンシップ	1-2通	2								1	
	専修実験Ⅱ	3通	2		3	4					66	
	専修演習Ⅱ	3通	2		3	4					66	
	共通分野	サブライチエーン	1-2-3通	2								1
	プロダクトデザイン	1-2-3後	2									1
マーケティング	1-2-3後	2									1	
知的財産	1-2-3通	2									1	
工業経済学	1-2-3通	2									1	
科学哲学	1-2-3後	2									1	
日本文化論	1-2-3前	2									1	
比較文化論	1-2-3前	2									1	
技術者倫理	1-2-3前	2									1	
バイオ分野	ナノファイバー工学特論	1-2-3後	2								1	
ヤーンテクノロジー	1-2-3後	2									1	
高機能繊維設計特論	1-2-3後	2									1	
高性能繊維設計特論	1-2-3前	2									1	
ナノマテリアル工学特論	1-2-3後	2									1	
機能高分子工学特論	1-2-3前	2									1	
分野	シルク利用工学	1-2-3後	2								1	
バイオファイバー科学	1-2-3前	2									2	
医用材料特論	1-2-3後	2									1	
繊維生物資源学	1-2-3前	2									1	
生体分子機能科学	1-2-3前	2									1	
バイオマス利用工学	1-2-3前	2									1	
バイオミメティック科学	1-2-3通	2			1						1	
分野	複合材料設計学特論	1-2-3後	2								1	
e-Textile設計特論	1-2-3後	2									1	
プロテクトティブテキストイル特論	1-2-3後	2									7	
テキスタイルデザイン特論	1-2-3後	2									1	
先進繊維計測学特論	1-2-3前	2									1	
繊維集合体特論	1-2-3後	2									1	
工学分野	ファッションデザイン論	1-2-3前	2								1	
衣服設計論	1-2-3後	2									2	
感性情報工学特論	1-2-3前	2									1	
感性製品計測・評価法特論	1-2-3後	2									2	
製品生理学特論	1-2-3前	2									1	
繊維製品生産論	1-2-3後	2									1	
	小計(42科目)	-	16	68	0	3	4	0	0	0	80	
	合計(118科目)	-	46	195	0	12	17	9	19	0	132	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
ファイバーネットワークを先導するグローバルリーダーの養成プログラム	必修科目	特別実験	1通	2		4	3					74
	特別演習	1通	2		4	3						74
	海外特別実習	1通	2									1
	専修実験Ⅰ	2通	2		4	3						74
	専修演習Ⅰ	2通	2		4	3						74
	インターンシップ	1-2通	2									1
	専修実験Ⅱ	3通	2		4	3						74
	専修演習Ⅱ	3通	2		4	3						74
	共通分野	サブライチエーン	1-2-3通	2								1
	プロダクトデザイン	1-2-3前	2									1
マーケティング	1-2-3後	2									1	
知的財産	1-2-3前	2									1	
工業経済学	1-2-3通	2									1	
科学哲学	1-2-3前	2									1	
日本文化論	1-2-3前	2									1	
比較文化論	1-2-3前	2									1	
技術者倫理	1-2-3前	2									1	
バイオ分野	ナノファイバー工学特論	1-2-3後	2								1	
ヤーンテクノロジー	1-2-3後	2									1	
高機能繊維設計特論	1-2-3後	2									1	
高性能繊維設計特論	1-2-3前	2									1	
ナノマテリアル工学特論	1-2-3後	2									1	
機能高分子工学特論	1-2-3前	2									1	
分野	シルク利用工学	1-2-3後	2								1	
バイオファイバー科学	1-2-3前	2									1	
医用材料特論	1-2-3後	2									1	
繊維生物資源学	1-2-3前	2									1	
生体分子機能科学	1-2-3後	2									1	
バイオマス利用工学	1-2-3前	2									1	
バイオミメティック科学	1-2-3後	2			1						1	
分野	複合材料設計学特論	1-2-3後	2								1	
e-Textile設計特論	1-2-3後	2									1	
プロテクトティブテキストイル特論	1-2-3後	2									4	
テキスタイルデザイン特論	1-2-3後	2									2	
先進繊維計測学特論	1-2-3前	2									1	
繊維集合体特論	1-2-3後	2									2	
工学分野	ファッションデザイン論	1-2-3通	2								1	
衣服設計論	1-2-3後	2									2	
感性情報工学特論	1-2-3前	2									1	
感性製品計測・評価法特論	1-2-3後	2									2	
製品生理学特論	1-2-3後	2									1	
繊維製品生産論	1-2-3後	2									1	
	小計(42科目)	-	16	68	0	4	3	0	0	0	75	
	合計(124科目)	-	46	201	0	18	17	9	8	0	132	

卒業要件及び履修方法

【4年制コース】

《修了要件》

博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
 専攻共通科目(必修科目) 4単位
 分野共通科目(必修科目) 4単位
 専門科目(必修科目) 8単位
 専門科目(選択必修科目) 14単位
 を満たし、取得単位数の合計が32単位以上とする。

【3年制コース】

《修了要件》

博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
 専攻共通科目(必修科目) 4単位
 分野共通科目(必修科目) 4単位
 専門科目(選択必修科目) 6単位
 を満たし、取得単位数の合計が16単位以上とする。

【サステナブルソサイエティグローバル人材養成プログラム】

《履修方法》

研究科共通科目の必修科目2単位、専攻共通科目6単位、専門科目の必修科目2単位を含む計10単位を修得し、合計18単位以上修得すること。

【ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成プログラム】

《履修方法》

専攻の修了要件を満たした上で、本プログラムの定める授業科目のうち、必修科目16単位、選択科目としてプログラム共通分野、フロンティアファイバー分野、バイオ・メディカル分野、スマートテキスタイル分野、及び感性・ファッション工学分野から各分野2単位以上を含む10単位以上、計26単位以上を修得する。

卒業要件及び履修方法

【4年制コース】

《修了要件》

博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
 専攻共通科目(必修科目) 4単位
 分野共通科目(必修科目) 4単位
 専門科目(必修科目) 8単位
 専門科目(選択必修科目) 14単位
 を満たし、取得単位数の合計が32単位以上とする。

【3年制コース】

《修了要件》

博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
 専攻共通科目(必修科目) 4単位
 分野共通科目(必修科目) 4単位
 専門科目(選択必修科目) 6単位
 を満たし、取得単位数の合計が16単位以上とする。

【サステナブルソサイエティグローバル人材養成プログラム】

《履修方法》

研究科共通科目の必修科目2単位、専攻共通科目6単位、専門科目の必修科目2単位を含む計10単位を修得し、合計18単位以上修得すること。

【ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成プログラム】

《履修方法》

専攻の修了要件を満たした上で、本プログラムの定める授業科目のうち、必修科目16単位、選択科目としてプログラム共通分野、フロンティアファイバー分野、バイオ・メディカル分野、スマートテキスタイル分野、及び感性・ファッション工学分野から各分野2単位以上を含む10単位以上、計26単位以上を修得する。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修 単 位	選択 単 位	自由 単 位	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
研究科 共通科目	先鋭領域融合研究群 最先端研究特講	1~4通	2			2	0				4
	特別招へい教授グ ローバル研究特講	1~4通	2			1					4
	知財管理特講	1・2・3・4 前	2								1
	小計(3科目)	-	2	4	0	2	0	0	0	0	7
専攻 共通科目	社会工医学特論 イノベーションセ ミナー	1・2通 1・2後	2			2	1				1
	企業/行政/病院イン ターンシップ	1・2通	1			2	1				1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
	生命科学分野 専門科目	生命科学特別演習 I	1通	2		6	8	5	1		
	生命科学特別演習 II	2通	2		6	8	5	1			
	生命科学特別演習 III	3通	4		4	2	5				
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2							2	
	医学研究遂行特論	1前	2		1					7	
	医学統計・疫学特論	1前	2							3	
	生涯保健学研究方法特 論	1前	2		1					7	
	形態学研究方法特論	1前	2							4	
	免疫学研究方法特論	1前	2							4	
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2							8	
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2			1		0		4	
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2							5	
	神経科学研究方法特 論	1前	2							1	
	腫瘍学研究方法特論	1前	2							5	
	加齢生物学特論	1・2・3通	2		1		1				
	抗老化学特論	1・2・3通	2		1		1				
	疾患動物遺伝学特論	1・2・3通	2		1		1				
	心臓血管外科学特論	1・2・3通	2		1	1	1	3			
	補助循環特論	1・2・3通	2		1	1	1	3			
	低侵襲血管外科学特 論	1・2・3通	2		1	1	1	3			
	乳腺外科学特論	1・2・3通	2		1		1	1			
	甲状腺外科学特論	1・2・3通	2		1		1	1			
	呼吸器外科学特論	1・2・3通	2		1		1	1			
	幹細胞生物学特論	1・2・3通	4		1						
	循環器再生医療学特 論	1・2・3通	2		1						
	成長・発達医学特論	1・2・3通	2		1		1			2	
	臨床免疫・感染症学 特論	1・2・3通	2		1		2	1		1	
	遺伝子・細胞治療学 特論	1・2・3通	2		1		1	1			
	がんゲノム医療	1・2・3通	1							1	
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1							1	
	ライフステージに応じ たがん医療	1・2・3通	1							1	
	(研究指導)	2~4通	-	-	-	4	2	5			
	3年制コ ース	酵素工学特論	1・2・3通	2		2	1	1			
		分子生命科学特論	1・2・3通	2		2		3			
		生命機能学特論	1・2・3通	2		1			1		
		応用分子微生物学特 論	1・2・3通	2			1		1		
		分子生理学特論	1・2・3通	2			1				
		分子資源環境学特論	1・2・3通	2					1		
		(研究指導)	1~3通	-	-	-	2	6	1		
	小計(37科目)	-	12	63	0	6	8	5	10	0	46
生体医 工学分 野 専門 科目	生体医工学特別演習 I	1通	2			5	7	4	1		
	生体医工学特別演習 II	2通	2			5	7	4	1		
	生体医工学特別演習 III	3通	4			2	4	4			
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2							2	
	医学研究遂行特論	1前	2		1					7	
	医学統計・疫学特論	1前	2		2					3	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修 単 位	選択 単 位	自由 単 位	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
研究科 共通科目	先鋭領域融合研究群 最先端研究特講	1~4通	2			2	0				4
	特別招へい教授グ ローバル研究特講	1~4通	2			1					4
	知財管理特講	1・2・3・4 前	2								1
	小計(3科目)	-	2	4	0	2	0	0	0	0	7
専攻 共通科目	社会工医学特論 イノベーションセ ミナー	1・2通 1・2後	2			2	1				1
	企業/行政/病院イン ターンシップ	1・2通	1			2	1				1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
	生命科学分野 専門科目	生命科学特別演習 I	1通	2			5	10	4	4	
	生命科学特別演習 II	2通	2			5	10	4	4		
	生命科学特別演習 III	3通	4			3	3	4			
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2								3
	医学研究遂行特論	1前	2		1					8	
	医学統計・疫学特論	1前	2							3	
	生涯保健学研究方法特 論	1前	2			0	1			8	
	形態学研究方法特論	1前	2							5	
	免疫学研究方法特論	1前	2							3	
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2							8	
	人類遺伝学研究方法 特論	1前	2				1		0	4	
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2							5	
	神経科学研究方法特 論	1前	2							1	
	腫瘍学研究方法特論	1前	2							5	
	加齢生物学特論	1・2・3通	2			1		1			
	抗老化学特論	1・2・3通	2			1		1			
	疾患動物遺伝学特論	1・2・3通	2			1		1			
	心臓血管外科学特論	1・2・3通	2			0	1	1	3		
	補助循環特論	1・2・3通	2			0	1	1	3		
	低侵襲血管外科学特 論	1・2・3通	2			0	1	1	3		
	乳腺外科学特論	1・2・3通	2			1		1	1		
	甲状腺外科学特論	1・2・3通	2			1		1	1		
	呼吸器外科学特論	1・2・3通	2			1		1	1		
	幹細胞生物学特論	1・2・3通	4			1					
	循環器再生医療学特 論	1・2・3通	2			1					
	成長・発達医学特論	1・2・3通	2			1	1	0		2	
	臨床免疫・感染症学 特論	1・2・3通	2			1	1	1	1	0	
	遺伝子・細胞治療学 特論	1・2・3通	2			1		1	1		
	がんゲノム医療	1・2・3通	1							1	
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1							1	
	ライフステージに応じ たがん医療	1・2・3通	1							1	
	(研究指導)	2~4通	-	-	-	3	3	4			
	3年制コ ース	酵素工学特論	1・2・3通	2		1	1				
		分子生命科学特論	1・2・3通	2			3				
		生命機能学特論	1・2・3通	2		1			1		
		応用分子微生物学特 論	1・2・3通	2			1		1		
		分子生理学特論	1・2・3通	2			1		2		
		分子資源環境学特論	1・2・3通	2			1		0		
		(研究指導)	1~3通	-	-	-	2	7	4		
	小計(37科目)	-	12	63	0	5	10	4	11	0	47
生体医 工学分 野 専門 科目	生体医工学特別演習 I	1通	2			5	7	5	1		
	生体医工学特別演習 II	2通	2			5	7	5	1		
	生体医工学特別演習 III	3通	4			2	4	5			
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2								3
	医学研究遂行特論	1前	2		1					8	
	医学統計・疫学特論	1前	2		2					3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生体医工学分野 専門科目	4年制コース	生涯保健学研究方法特論	1前	2		1					7	
	形態学研究方法特論	1前	2							4		
	免疫学研究方法特論	1前	2							4		
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2							8		
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2			1		0		4		
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2							5		
	神経科学研究方法特論	1前	2							1		
	腫瘍学研究方法特論	1前	2							5		
	運動器生体医工学特論	1・2・3通	2			1	1					
	ナノ生体材料学特論	1・2・3通	2			1	1					
	境界生命科学特論	1・2・3通	2			1	1					
	脊椎脊髄病学特論	1・2・3通	2			1	2	3				
	骨軟骨学特論	1・2・3通	2			1	2	3				
	腱靭帯末梢神経学特論	1・2・3通	2			1	2	3				
	脳神経外科特論	1・2・3通	2			1	2	2				
	脳卒中外科学特論	1・2・3通	2			1	2	2				
	脳腫瘍学特論	1・2・3通	2			1	2	2				
	歯科口腔外科特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	歯科人工/生体材料学特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	咬合学特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	がんゲノム医療	1・2・3通	1							1		
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1							1		
	ライフステージに応じたがん医療	1・2・3通	1							1		
	(研究指導)	2~4通	—	—	—	2	4	4				
	3年制コース	計算生物学特論	1・2・3通	2		1						
	生物流体力学特論	1・2・3通	2		1							
	スポーツバイオメカニクス特論	1・2・3通	2		1							
	ソリッドバイオメカニクス特論	1・2・3通	2		1							
	ヒト力学の統計解析特論	1・2・3通	2		1							
	先端生体材料学特論	1・2・3通	2					1				
	コンピュータ外科学特論	1・2・3通	2		1							
バイオMEMS特論	1・2・3通	2		1								
比較認知科学特論	1・2・3通	2		1								
生体ロボット制御学特論	1・2・3通	2					1					
(研究指導)	1~3通	—	—	—	3	3	1					
小計(39科目)	—	—	12	65	0	5	7	4	9	0	43	
ファイバー ネット サンスを先 導するグ ローバ ルリー ダーの 養成 プ ロ グ ラ ム	必修科目	特別実験	1通	2		3	3				66	
	特別演習	1通	2		3	3					66	
	海外特別実習	1通	2								1	
	専修実験 I	2通	2		3	3					66	
	専修演習 I	2通	2		3	3					66	
	インターンシップ	1・2通	2								1	
	専修実験 II	3通	2		3	3					66	
	専修演習 II	3通	2		3	3					66	
	共通分野	サブライチエーン	1・2・3通	2								1
		プロダクトデザイン	1・2・3前	2								1
		マーケティング	1・2・3後	2								1
		知的財産	1・2・3通	2								1
		工業経済学	1・2・3通	2								1
		科学哲学	1・2・3前	2								1
		日本文化論	1・2・3前	2								1
比較文化論	1・2・3前	2								1		
技術者倫理	1・2・3前	2								1		
フ ァ ィ ン テ ィ ア フ ァ ィ 	ナノファイバー工学特論	1・2・3後	2								1	
	ヤーンテクノロジー	1・2・3前	2								1	
	高機能繊維設計特論	1・2・3後	2								1	
	高性能繊維設計特論	1・2・3前	2								1	
	ナノマテリアル工学特論	1・2・3後	2								1	
機能高分子工学特論	1・2・3前	2								1		
フ ァ ィ ン テ ィ ア フ ァ ィ 	シルク利用工学	1・2・3後	2								1	
	バイオファイバー科学	1・2・3前	2								2	
	医用材料特論	1・2・3前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生体医工学分野 専門科目	4年制コース	生涯保健学研究方法特論	1前	2		0	1				8	
	形態学研究方法特論	1前	2								5	
	免疫学研究方法特論	1前	2								3	
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2								8	
	人類遺伝学研究方法特論	1前	2			1		0			4	
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2								5	
	神経科学研究方法特論	1前	2								1	
	腫瘍学研究方法特論	1前	2								5	
	運動器生体医工学特論	1・2・3通	2			1	1					
	ナノ生体材料学特論	1・2・3通	2			1	1					
	境界生命科学特論	1・2・3通	2			1	1					
	脊椎脊髄病学特論	1・2・3通	2			1	1	3	2			
	骨軟骨学特論	1・2・3通	2			1	1	3	2			
	腱靭帯末梢神経学特論	1・2・3通	2			1	1	3	2			
	脳神経外科特論	1・2・3通	2			1	1	2	1			
	脳卒中外科学特論	1・2・3通	2			1	1	2	1			
	脳腫瘍学特論	1・2・3通	2			1	1	2	1			
	歯科口腔外科特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	歯科人工/生体材料学特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	咬合学特論	1・2・3通	2			1	1		2			
	がんゲノム医療	1・2・3通	1								1	
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1								1	
	ライフステージに応じたがん医療	1・2・3通	1								1	
	(研究指導)	2~4通	—	—	—	2	4	5				
	3年制コース	計算生物学特論	1・2・3通	2		1						
	生物流体力学特論	1・2・3通	2		1							
	スポーツバイオメカニクス特論	1・2・3通	2		1							
	ソリッドバイオメカニクス特論	1・2・3通	2		1	0						
	ヒト力学の統計解析特論	1・2・3通	2		1							
	先端生体材料学特論	1・2・3通	2						1			
	コンピュータ外科学特論	1・2・3通	2		0				1			
バイオMEMS特論	1・2・3通	2		1								
比較認知科学特論	1・2・3通	2		1								
生体ロボット制御学特論	1・2・3通	2						1				
(研究指導)	1~3通	—	—	—	3	3	1					
小計(39科目)	—	—	12	65	0	6	7	5	8	0	45	
ファイバー ネット サンスを先 導するグ ローバ ルリー ダーの 養成 プ ロ グ ラ ム	必修科目	特別実験	1通	2		3	2				70	
	特別演習	1通	2		3	2					70	
	海外特別実習	1通	2								1	
	専修実験 I	2通	2		3	2					70	
	専修演習 I	2通	2		3	2					70	
	インターンシップ	1・2通	2								1	
	専修実験 II	3通	2		3	2					70	
	専修演習 II	3通	2		3	2					70	
	共通分野	サブライチエーン	1・2・3通	2								1
		プロダクトデザイン	1・2・3前	2								1
		マーケティング	1・2・3後	2								1
		知的財産	1・2・3通	2								1
		工業経済学	1・2・3通	2								1
		科学哲学	1・2・3前	2								1
		日本文化論	1・2・3前	2								1
比較文化論	1・2・3前	2								1		
技術者倫理	1・2・3前	2								1		
フ ァ ィ ン テ ィ ア フ ァ ィ 	ナノファイバー工学特論	1・2・3後	2								1	
	ヤーンテクノロジー	1・2・3前	2								1	
	高機能繊維設計特論	1・2・3後	2								1	
	高性能繊維設計特論	1・2・3前	2								1	
	ナノマテリアル工学特論	1・2・3後	2								1	
機能高分子工学特論	1・2・3前	2								1		
フ ァ ィ ン テ ィ ア フ ァ ィ 	シルク利用工学	1・2・3後	2								1	
	バイオファイバー科学	1・2・3前	2								2	
	医用材料特論	1・2・3前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
成フレイバー グローバル ネット ス ン ス を 先 導 す る グ ロ ー バ ル リ ー ダ ー の 養 育	繊維生物資源学	1・2・3前	2								1	
	生体分子機能科学	1・2・3後	2								1	
	バイオマス利用工学	1・2・3前	2								1	
	バイオメテック科学	1・2・3後	2			1						
	複合材料設計学特論	1・2・3後	2								1	
	e-Textile設計特論	1・2・3後	2								1	
	プロテクティブテキスタイル特論	1・2・3後	2								4	
	テキスタイルデザイン特論	1・2・3後	2								2	
	先進繊維計測学特論	1・2・3前	2								1	
	繊維集合体特論	1・2・3後	2								2	
工学分野 ファッション デザイン の 養 育	ファッションデザイン論	1・2・3前	2								1	
	衣服設計論	1・2・3後	2								2	
	感性情報工学特論	1・2・3前	2								1	
	感性製品計測・評価法特論	1・2・3後	2								2	
	製品生理学特論	1・2・3前	2								1	
	繊維製品生産論	1・2・3後	2								1	
	小計(42科目)	-	16	68	0	3	3	0	0	0	0	75
合計(124科目)			-	46	201	0	12	15	9	19	0	129

卒業要件及び履修方法

<p>【4年制コース】</p> <p>《修了要件》 博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目(必修科目) 2単位 専攻共通科目(必修科目) 4単位 分野共通科目(必修科目) 4単位 専門科目(必修科目) 8単位 専門科目(選択必修科目) 14単位 を満了し、取得単位数の合計が32単位以上とする。</p> <p>【3年制コース】</p> <p>《修了要件》 博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目(必修科目) 2単位 専攻共通科目(必修科目) 4単位 分野共通科目(必修科目) 4単位 専門科目(選択必修科目) 6単位 を満了し、取得単位数の合計が16単位以上とする。</p> <p>【サステナブルソサイエティグローバル人材養成プログラム】</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目の必修科目2単位、専攻共通科目6単位、専門科目の必修科目2単位を含む計10単位を修得し、合計18単位以上修得すること。</p> <p>【ファイバーネットを先導するグローバルリーダーの養成プログラム】</p> <p>《履修方法》 専攻の修了要件を満たした上で、本プログラムの定める授業科目のうち、必修科目16単位、選択科目としてプログラム共通分野、フロンティアファイバー分野、バイオ・メディカル分野、スマートテキスタイル分野、及び感性・ファッション工学分野から各分野2単位以上を含む10単位以上、計26単位以上を修得すること。</p>

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
成フレイバー グローバル ネット ス ン ス を 先 導 す る グ ロ ー バ ル リ ー ダ ー の 養 育	繊維生物資源学	1・2・3前	2								1	
	生体分子機能科学	1・2・3後	2								1	
	バイオマス利用工学	1・2・3前	2								1	
	バイオメテック科学	1・2・3後	2			1						
	複合材料設計学特論	1・2・3後	2								1	
	e-Textile設計特論	1・2・3後	2								1	
	プロテクティブテキスタイル特論	1・2・3後	2								4	
	テキスタイルデザイン特論	1・2・3後	2								2	
	先進繊維計測学特論	1・2・3前	2								1	
	繊維集合体特論	1・2・3後	2								2	
工学分野 ファッション デザイン の 養 育	ファッションデザイン論	1・2・3前	2								1	
	衣服設計論	1・2・3後	2								2	
	感性情報工学特論	1・2・3前	2								1	
	感性製品計測・評価法特論	1・2・3後	2								2	
	製品生理学特論	1・2・3前	2								1	
	繊維製品生産論	1・2・3後	2								1	
	小計(42科目)	-	16	68	0	3	2	0	0	0	0	79
合計(124科目)			-	46	201	0	11	17	9	19	0	131

卒業要件及び履修方法

<p>【4年制コース】</p> <p>《修了要件》 博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目(必修科目) 2単位 専攻共通科目(必修科目) 4単位 分野共通科目(必修科目) 4単位 専門科目(必修科目) 8単位 専門科目(選択必修科目) 14単位 を満了し、取得単位数の合計が32単位以上とする。</p> <p>【3年制コース】</p> <p>《修了要件》 博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目(必修科目) 2単位 専攻共通科目(必修科目) 4単位 分野共通科目(必修科目) 4単位 専門科目(選択必修科目) 6単位 を満了し、取得単位数の合計が16単位以上とする。</p> <p>【サステナブルソサイエティグローバル人材養成プログラム】</p> <p>《履修方法》 研究科共通科目の必修科目2単位、専攻共通科目6単位、専門科目の必修科目2単位を含む計10単位を修得し、合計18単位以上修得すること。</p> <p>【ファイバーネットを先導するグローバルリーダーの養成プログラム】</p> <p>《履修方法》 専攻の修了要件を満たした上で、本プログラムの定める授業科目のうち、必修科目16単位、選択科目としてプログラム共通分野、フロンティアファイバー分野、バイオ・メディカル分野、スマートテキスタイル分野、及び感性・ファッション工学分野から各分野2単位以上を含む10単位以上、計26単位以上を修得すること。</p>

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
研究科共通科目	先鋭領域融合研究群 最先端研究特講	1~4通	2			2	0				4
	特別招へい教授グ ローバル研究特講	1~4通		2		2					3
	知財管理特講	1・2・3・4 前		2							1
	小計(3科目)	-	2	4	0	3	0	0	0	0	7
専攻共通科目	社会医工学特論 イノベーションセ ミナー	1・2通	2			1	1				1
	企業/行政/病院イン ターンシップ	1・2通		1		2	1				1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
	生命科学分野 専門科目	生命科学特別演習 I	1通	2			9	9	5	0	
4 年 制 コ ー ス	生命科学特別演習 II	2通	2			9	9	5	0		
	生命科学特別演習 III	3通	4			5	3	5			
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2								3
	医学研究遂行特論	1前	2			1					9
	医学統計・疫学特論	1前		2							3
	生涯保健学研究方法特 論	1前		2		1	1				8
	形態学研究方法特論	1前		2							5
	免疫学研究方法特論	1前		2							3
	生化学・分子生物学 研究方法特論	1前		2							8
	人類遺伝学研究方法 特論	1前		2			1		0		4
	器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前		2							6
	神経科学研究方法特 論	1前		2							1
	腫瘍学研究方法特論	1前		2							6
	加齢生物学特論	1・2・3通		2			1			1	
	抗老化学特論	1・2・3通		2			1			1	
	疾患動物遺伝学特論	1・2・3通		2			1			1	
	心血管外科学特論	1・2・3通		2		1	0	1	2		
	補助循環特論	1・2・3通		2		1	0	1	2		
	低侵襲血管外科学特 論	1・2・3通		2		1	0	1	2		
	乳腺外科学特論	1・2・3通		2		1		1	1		
	甲状腺外科学特論	1・2・3通		2		1		1	1		
	呼吸器外科学特論	1・2・3通		2		1	1	1	0		
	幹細胞生物学特論	1・2・3通		4		1					
	循環器再生医学特論	1・2・3通		2		1					
	成長・発達医学特論	1・2・3通		2		1	1	0			2
	臨床免疫・感染症学 特論	1・2・3通		2		1	1	2	0		
	遺伝子・細胞治療学 特論	1・2・3通		2		1		2	0		
	がんゲノム医療	1・2・3通		1							1
	小児・AYA・希少がん	1・2・3通		1							1
	ライフステージに応じ たがん医療	1・2・3通		1							1
	(研究指導)	2~4通	-	-	-	5	3	5			
	3 年 制 コ ー ス	酵素工学特論	1・2・3通	2			1	1			
分子生命科学特論		1・2・3通	2				3				
生命機能学特論		1・2・3通	2			1			1		
応用分子生物学特論		1・2・3通	2				1		1		
分子生理学特論		1・2・3通	2			1	1		1		
分子資源環境学特論		1・2・3通	2				1		1		
(研究指導)		1~3通	-	-	-	3	7		0		
小計(37科目)	-	12	63	0	5	10	4	11	0	47	
生体医工学分野 専門科目	生体医工学特別演習 I	1通	2			7	6	5	1		
	生体医工学特別演習 II	2通	2			7	6	5	1		
	生体医工学特別演習 III	3通	4			4	2	5			
	生命倫理・研究倫理 特論	1前	2								3
	医学研究遂行特論	1前	2			1					8
医学統計・疫学特論	1前		2							3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
生体医工学分野 専門科目	4年制コース	生涯保健学研究方法特論	1前	2		0	1					8	
		形態学研究方法特論	1前	2								5	
		免疫学研究方法特論	1前	2								3	
		生化学・分子生物学 研究方法特論	1前	2								8	
		人類遺伝学研究方法 特論	1前	2			1			0		4	
		器官・組織・細胞機能 研究方法特論	1前	2								5	
		神経科学研究方法特論	1前	2								1	
		腫瘍学研究方法特論	1前	2								5	
		運動器生体工学特論	1・2・3通	2		1	1						
		ナノ生体材料学特論	1・2・3通	2		1	1						
		境界生命科学特論	1・2・3通	2		1	1						
		脊椎髄病学特論	1・2・3通	2		1	0	3	2				
		骨軟骨学特論	1・2・3通	2		1	0	3	2				
		腱靭帯末梢神経学特論	1・2・3通	2		1	0	3	2				
		脳神経外科特論	1・2・3通	2		1	0	2	1				
		脳卒中外科学特論	1・2・3通	2		1	0	2	1				
		脳腫瘍学特論	1・2・3通	2		1	0	2	1				
		歯科口腔外科特論	1・2・3通	2		1	1					2	
		歯科人工/生体材料学 特論	1・2・3通	2		1	1					2	
		咬合学特論	1・2・3通	2		1	1					2	
		がんゲノム医療	1・2・3通	1								1	
		小児・AYA・希少がん	1・2・3通	1								1	
		ライフステージに応じた がん医療	1・2・3通	1								1	
		(研究指導)	2~4通	-	-	-	2	4	5				
		3年制コース	計算生物学特論	1・2・3通	2		1						
			生物流体力学特論	1・2・3通	2		1	1					
			スポーツバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2		1						
			ソリッドバイオメカニクス 特論	1・2・3通	2		1	0					
			ヒト力学の統計解析 特論	1・2・3通	2		1						
			先端生体材料学特論	1・2・3通	2					1			
			コンピュータ外科学特論	1・2・3通	2		0			1			
			バイオMEMS特論	1・2・3通	2		1						
			比較認知科学特論	1・2・3通	2		1						
			生体ロボット制御学 特論	1・2・3通	2					1			
			(研究指導)	1~3通	-	-	-	3	4		1		
		小計(39科目)	-	12	65	0	6	7	5	8	0	45	
	ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成プログラム	必修科目	特別実験	1通	2		3	4					76
			特別演習	1通	2		3	4					76
			海外特別実習	1通	2								1
専修実験 I			2通	2		3	4					76	
専修演習 I			2通	2		3	4					76	
インターンシップ			1・2通	2								1	
専修実験 II			3通	2		3	4					76	
専修演習 II			3通	2		3	4					76	
共通分野			サブライチエーション	1・2・3通	2								1
			プロダクトデザイン	1・2・3前	2								1
		マーケティング	1・2・3後	2								1	
		知的財産	1・2・3前	2								1	
		工業経済学	1・2・3通	2								1	
		科学哲学	1・2・3前	2								1	
		日本文化論	1・2・3前	2								1	
		比較文化論	1・2・3前	2								1	
		技術者倫理	1・2・3前	2								1	
		ハイパーテクノロジーの養成プログラム	ナノファイバー工学特論	1・2・3後	2								1
ヤーンテクノロジー			1・2・3前	2								1	
高機能繊維設計特論			1・2・3後	2								1	
高性能繊維設計特論	1・2・3前		2								1		
ナノマテリアル工学特論	1・2・3後		2								1		
機能高分子工学特論	1・2・3前		2								1		
シルク利用工学	1・2・3後		2								1		
バイオカルメ	バイオファイバー科学	1・2・3前	2								1		
	医用材料特論	1・2・3前	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
成フレ バイオ ログイ バール ラム	繊維生物資源学	1・2・3前		2								1
	生体分子機能科学	1・2・3後		2								1
	バイオマス利用工学	1・2・3前		2								1
	バイオメテック科学	1・2・3後		2		1						
分マ 野ト ネット スサ ンス を先 導す るグ ロー バル リー ダー の 養	複合材料設計学特論	1・2・3後		2								1
	e-Textile設計特論	1・2・3後		2								1
	プロテクティブテキスタイル特論	1・2・3後		2								4
	テキスタイルデザイン特論	1・2・3後		2								2
	先進繊維計測学特論	1・2・3前		2								1
	繊維集合体特論	1・2・3後		2								2
	ファッションデザイン論	1・2・3通		2								1
工感 学分 野フ ァッ シヨ ン	衣服設計論	1・2・3後		2								2
	感性情報工学特論	1・2・3前		2								1
	感性製品計測・評価法特論	1・2・3後		2								2
	製品生理学特論	1・2・3後		2								1
	繊維製品生産論	1・2・3後		2								1
	小計(42科目)	-	16	68	0	3	4	0	0	0		76
合計(124科目)			-	46	201	0	17	16	10	16	0	131

卒業要件及び履修方法

【4年制コース】

《修了要件》

博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
専攻共通科目(必修科目) 4単位
分野共通科目(必修科目) 4単位
専門科目(必修科目) 8単位
専門科目(選択必修科目) 14単位
を満し、取得単位数の合計が32単位以上とする。

【3年制コース】

《修了要件》

博士課程に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

《履修方法》

研究科共通科目(必修科目) 2単位
専攻共通科目(必修科目) 4単位
分野共通科目(必修科目) 4単位
専門科目(選択必修科目) 6単位
を満し、取得単位数の合計が16単位以上とする。

【サステナブルソサイエティグローバル人材養成プログラム】

《履修方法》

研究科共通科目の必修科目2単位、専攻共通科目6単位、専門科目の必修科目2単位を含む計10単位を修得し、合計18単位以上修得すること。

【ファイバーネットを先導するグローバルリーダーの養成プログラム】

《履修方法》

専攻の修了要件を満たした上で、本プログラムの定める授業科目のうち、必修科目16単位、選択科目としてプログラム共通分野、フロンティアファイバー分野、バイオ・メディカル分野、スマートテキスタイル分野、及び感性・ファッション工学分野から各分野2単位以上を含む10単位以上、計26単位以上を修得する。

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・時間割の見直しにより「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」ほか36科目の配当年次、配当学期を変更
 ・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」ほか26科目の専任教員等の配置を変更
 ・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プランにおける教育プログラム「ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース」を開設をしたため、6科目を追加。

【令和元年度】

・時間割の見直しにより「知的財産」ほか2科目の配当学期を変更
 ・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「生命工学特別演習Ⅰ」ほか32科目の専任教員等の配置を変更。

【令和2年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「特別招へい教授グローバル研究特講」ほか34科目の専任教員等の配置を変更。

【令和3年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「生命工学特別演習Ⅰ」ほか43科目の専任教員等の配置を変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	97 科目	0 科目	118 科目	21 科目	103 97 科目	0 科目	124 118 科目	
				[0]	[6]	[0]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{118} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	オープンベンチャーイ ノベーションセンター (その他(職員宿舍敷 地)から校舎敷地へ計 上)、松本キャンパス ガラス室の取り壊し (元)		
	校舎敷地	539,738㎡	0㎡	0㎡	539,738㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	748,593㎡	0㎡	0㎡	748,593㎡			
	そ の 他	5,692,777㎡	0㎡	0㎡	5,692,777㎡			
	合 計	6,441,370㎡	0㎡	0㎡	6,441,370㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		436,193㎡ (436,193㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	436,193㎡ (436,193㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	学部全体。情報処理学習 施設及び語学学習施設は 別途大学全体として整 備。 耐震工事のため演習室 (チュートリアルルー ム)4減(3)	
		92室	195 199室	372室	5室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成31年4月 専任助教2名を追加した ため(元) 令和2年4月 教授室1追加(2) 令和3年4月 教授室等5追加(3)		
		総合医理工学研究科 生命医工学専攻		51 46 43 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部等单位での特定不 能なため、大学全体の 数
		[うち外国書]	[うち外国書]					
		冊	種	点	点	点		
		総合医理工学研究科生命医工学専攻	1,228,649 [358,047] +233,325 [359,778] (1,228,649 [358,047]) -(1,233,325 [359,778])	41,341 [22,422] 40,792 [21,672] 41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536] 14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329 (4,391) (4,329)	67,827 66,079 (67,827) (66,079)	
計	1,228,649 [358,047] +233,325 [359,778] (1,228,649 [358,047]) -(1,233,325 [359,778])	41,341 [22,422] 40,792 [21,672] 41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536] 14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329 (4,391) (4,329)	67,827 66,079 (67,827) (66,079)	147,477 (147,477)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		13,304㎡	1,636席 1,639席	977,782冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		8,085㎡	プール、武道場・弓道場、テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	学生納付金以外の維持方法の概要	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学						学生募集停止学科数	21	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部											
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	同上	平成25年学生募集停止
人文学科	4	155	3年次5	630	学士(文学)	1.01	1.01	—	平成25	同上	
教育学部											
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	平成11	長野県長野市大字西長野6の口	平成28年学生募集停止
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.02	1.03	—	平成11	同上	
経済学部											
経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	昭和53	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年学生募集停止
経済システム法学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	平成7	同上	平成28年学生募集停止
経法学部											
応用経済学科	4	100	2年次10	430	学士(経済学)	1.05	1.04	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次10	350	学士(法学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
理学部											
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
地質科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
生物科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
数学科	4	54	3年次1	218	学士(理学)	1.02	1.01	—	平成27	同上	
理学科	4	151	3年次3	610	学士(理学)	1.01	1.00	—	平成27	同上	
医学部											
医学科	6	120	—	720	学士(理学)	1.00	1.00	—	昭和26	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次17	606	学士(理学)	1.01	1.01	—	平成15	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	
検査技術学専攻	4	37	3年次3	154	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	

理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
工学部											
機械システム工 学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成28年学生募 集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
土木工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
環境機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
物質化学科	4	95	3年次 4	388	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
電子情報システ ム工学科	4	170	3年次 7	694	学士 (工学)	1.01	1.00	—	平成28	同上	
水環境・土木工 学科	4	60	3年次 3	246	学士 (工学)	1.01	1.03	—	平成28	同上	
機械システム工 学科	4	100	3年次 4	408	学士 (工学)	1.02	1.02	—	平成28	同上	
建築学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
農学部											
農学生命科学科	4	170	3年次 6	692	学士 (農学)	1.02	1.03	—	平成27	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
繊維学部											
先進繊維工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成28年学生募 集停止
機能機械学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
バイオエンジニ アリング課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
材料化学工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
機能高分子学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
先進繊維・感性 工学科	4	65	3年次 2	264	学士 (工学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
機械・ロボット 学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.07	1.01	—	平成28	同上	
化学・材料学科	4	105	3年次 4	428	学士 (工学)	1.06	1.04	—	平成28	同上	
応用生物科学科	4	50	3年次 2	204	学士 (農学)	1.06	1.08	—	平成28	同上	
大学全体	4	1,978	3年次 124 2年次 60	8,336	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	信州大学大学院					学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
総合人文社会科学研究所	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合人文社会科学専攻	2	36	—	72	修士 (文学) 修士 (心理学) 修士 (経済学) 修士 (法学)	0.83	0.86	—	令和2	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市大字西長野6の口	
人文科学研究科											
言語文化専攻	2	—	—	—	修士 (文学)	—	—	—	昭和57	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
教育学研究科											
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	—	—	平成3	長野県長野市大字西長野6の口	令和2年学生募集停止
高度教職実践専攻	2	30	—	60	教職修士 (専門職)	1.03	1.03	—	令和2	同上	
経済・社会政策科学研究科											
経済・社会政策科学専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成元	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
イノベーション・マネジメント専攻	2	—	—	—	修士 (マネジメント)	—	—	—	平成15	長野県長野市若里4丁目17番1号	令和2年学生募集停止
総合理工学研究科											
理学専攻	2	75	—	150	修士 (理学)	0.90	0.80	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240	—	480	修士 (工学)	1.19	1.22	—	平成28	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160	—	320	修士 (工学) 修士 (農学)	1.09	1.10	—	平成28	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65	—	130	修士 (農学)	1.10	1.06	—	平成28	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35	—	70	修士 (医工学)	1.27	1.37	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
医学系研究科											
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成15	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成24年学生募集停止
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止
疾患予防医科学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止

保健学専攻（博士 後期課程）	3	—	—	—	博士 (保健学)	—	—	—	平成21	同上	平成30年学生募 集停止
医科学専攻	2	12	—	24	修士 (医科学)	0.78	0.91	—	平成14	同上	
保健学専攻	2	14	—	28	修士 (看護学) 修士 (保健学)	1.28	1.28	—	平成19	同上	
総合工学系研究科											
生命機能・ファイ バー工学専攻	3	—	—	—	博士 (学術)	—	—	—	平成17	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成30年学生募 集停止
システム開発工学 専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	—	—	平成17	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成30年学生募 集停止
物質創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成17	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成30年学生募 集停止
山岳地域環境科学 専攻	3	—	—	—	博士 (農学)	—	—	—	平成17	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	平成30年学生募 集停止
生物・食料科学専 攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年学生募 集停止
総合医理工学研究科											
医学系専攻	4, 3	48	—	186	博士 (医学) 博士 (保健学)	0.95	0.91	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号	
総合理工学専攻	3	38	—	114	博士 (学術) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (農学)	1.00	0.73	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号 長野県長野市若 里4丁目17番1号 長野県上田市常 田3丁目15番1号 長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
<u>生命医工学専攻</u>	4, 3	15	—	55	博士 (医学) 博士 (医工学)	1.15	1.26	—	平成30	同上	
大学院全体	2, 3, 4	768	—	1,689	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	伊原 正喜 <平成30年4月> 博士(工学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子資源環境学特論 (研究指導)	専	助教	伊原 正喜 <平成30年4月> 博士(工学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子資源環境学特論 (研究指導)	専	准教授	伊原 正喜 <平成30年4月> 博士(工学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子資源環境学特論 (研究指導)	専	准教授	伊原 正喜 <平成30年4月> 博士(工学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子資源環境学特論 (研究指導)
専	助教	前野 一真 <平成30年4月> 博士(医学)	乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論	専	講師	前野 一真 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論 (研究指導)	専	講師	前野 一真 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論 (研究指導)	専	准教授	前野 一真 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論 (研究指導)
専	助教	池上 章太 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論	専	助教	池上 章太 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論	専	講師	池上 章太 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論 (研究指導)	専	講師	池上 章太 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論 (研究指導)
専	助教	荻原 利浩 <平成30年4月> 博士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論	専	助教	荻原 利浩 <平成30年4月> 博士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論	専	講師	荻原 利浩 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論 (研究指導)	専	講師	荻原 利浩 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論 (研究指導)
専	助教	田中 美幸 <平成30年4月> 博士(医学)	臨床免疫・感染症学特論 遺伝子・細胞治療学特論	専	助教	田中 美幸 <平成30年4月> 博士(医学)	臨床免疫・感染症学特論 遺伝子・細胞治療学特論	専	講師	田中 美幸 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 臨床免疫・感染症学特論 遺伝子・細胞治療学特論 (研究指導)	専	講師	田中 美幸 <平成30年4月> 博士(医学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命工学特別演習Ⅲ 臨床免疫・感染症学特論 遺伝子・細胞治療学特論 (研究指導)
専	助教	花岡 吉亀 <平成30年4月> 学士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論	専	助教	花岡 吉亀 <平成30年4月> 学士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論	専	助教	花岡 吉亀 <平成30年4月> 学士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論	専	助教	花岡 吉亀 <平成30年4月> 学士(医学)	脳神経外科特論 脳卒中外科学特論 脳腫瘍学特論
専	助教	澤下 仁子 <平成30年4月> 博士(薬学)	人類遺伝学研究方法特論 加齢生物学特論 抗老化学特論 疾患動物遺伝学特論												
専	助教	大橋 伸朗 <平成30年4月> 学士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専	助教	大橋 伸朗 <平成30年4月> 学士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専	助教	大橋 伸朗 <平成30年4月> 学士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専	助教	大橋 伸朗 <平成30年4月> 学士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論
専	助教	五味淵 俊仁 <平成30年4月> 博士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専	助教	五味淵 俊仁 <平成30年4月> 博士(医学)	心血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論								
専	助教	金井 敏晴 <平成30年4月> 博士(医学)	乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論	専	助教	金井 敏晴 <平成30年4月> 博士(医学)	乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論	専	助教	金井 敏晴 <平成30年4月> 博士(医学)	乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論	専	助教	金井 敏晴 <平成30年4月> 博士(医学)	乳腺外科学特論 甲状腺外科学特論
専	助教	兵庫谷 章 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器外科学特論	専	助教	兵庫谷 章 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器外科学特論	専	助教	兵庫谷 章 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器外科学特論	専	助教	兵庫谷 章 <平成30年4月> 博士(医学)	呼吸器外科学特論
専	助教	林 正徳 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論	専	助教	林 正徳 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論	専	助教	林 正徳 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論	専	助教	林 正徳 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腿靭帯末梢神経学特論

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専 助教	倉石 修吾 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腱靭帯末梢神経学特論	専 助教	倉石 修吾 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腱靭帯末梢神経学特論	専 助教	倉石 修吾 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腱靭帯末梢神経学特論	専 助教	倉石 修吾 <平成30年4月> 博士(医学)	脊椎脊髄病学特論 骨軟骨学特論 腱靭帯末梢神経学特論
専 助教	鎌田 孝広 <平成30年4月> 学士(歯学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	鎌田 孝広 <平成30年4月> 学士(歯学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	鎌田 孝広 <平成30年4月> 学士(歯学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	鎌田 孝広 <平成30年4月> 学士(歯学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論
専 助教	近藤 英司 <平成30年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	近藤 英司 <平成30年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	近藤 英司 <平成30年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	近藤 英司 <平成30年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論
専 助教	梅澤 公二 <平成30年4月> 博士(理学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命機能学特論 (研究指導)	専 助教	梅澤 公二 <平成30年4月> 博士(理学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命機能学特論 (研究指導)	専 助教	梅澤 公二 <平成30年4月> 博士(理学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命機能学特論 (研究指導)	専 助教	梅澤 公二 <平成30年4月> 博士(理学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 生命機能学特論 (研究指導)
専 助教	荻田 佑 <平成30年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 応用分子微生物学特論 (研究指導)	専 助教	荻田 佑 <平成30年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 応用分子微生物学特論 (研究指導)	専 助教	荻田 佑 <平成30年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 応用分子微生物学特論 (研究指導)	専 助教	荻田 佑 <平成30年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 応用分子微生物学特論 (研究指導)
専 助教	竹内 あかり <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 先端生体材料学特論 (研究指導)	専 助教	竹内 あかり <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 先端生体材料学特論 (研究指導)	専 助教	竹内 あかり <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 先端生体材料学特論 (研究指導)	専 助教	竹内 あかり <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 先端生体材料学特論 (研究指導)
専 助教	塚原 淳 <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 生体ロボット制御学特論 特別実験 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ (研究指導)	専 助教	塚原 淳 <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 生体ロボット制御学特論 特別実験 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ (研究指導)	専 助教	塚原 淳 <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 生体ロボット制御学特論 特別実験 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ (研究指導)	専 助教	塚原 淳 <平成30年4月> 博士(工学)	生体医学工学特別演習Ⅰ 生体医学工学特別演習Ⅱ 生体ロボット制御学特論 特別実験 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ (研究指導)
			専 助教	宮原 大貴 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢生物学特論 抗老化学特論 疾患動物遺伝学特論	専 助教	宮原 大貴 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢生物学特論 抗老化学特論 疾患動物遺伝学特論	専 助教	宮原 大貴 <平成30年4月> 博士(医学)	加齢生物学特論 抗老化学特論 疾患動物遺伝学特論
			専 助教	山本 高麗 <平成30年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専 助教	山本 高麗 <平成30年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専 助教	山本 高麗 <平成30年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論
			専 助教	富岡 都夫 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)	専 准教授	富岡 都夫 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)	専 准教授	富岡 都夫 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)
			専 助教	田中 晴城 <平成31年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専 助教	田中 晴城 <平成31年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論	専 助教	田中 晴城 <平成31年4月> 学士(医学)	心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論
			専 助教	瀬井 洋徳 <平成31年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	瀬井 洋徳 <平成31年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論	専 助教	瀬井 洋徳 <平成31年4月> 博士(医学)	歯科口腔外科特論 歯科人工/生体材料学特論 咬合学特論
			専 助教	顔白 家菜子 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)	専 助教	顔白 家菜子 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)	専 助教	顔白 家菜子 <平成31年4月> 博士(農学)	生命工学特別演習Ⅰ 生命工学特別演習Ⅱ 分子生理学特論 (研究指導)
			専 助教	岩本 重泰 <平成30年10月> 博士(工学)	コンピュータ外科学特論	専 助教	岩本 重泰 <平成30年10月> 博士(工学)	コンピュータ外科学特論	専 助教	岩本 重泰 <平成30年10月> 博士(工学)	コンピュータ外科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
									専任・兼任	助教	入枝 泰樹 <令和元年10月> 博士(医学) 分子資源環境学特論
									専任・兼任	助教	中原 孝 <令和3年4月> 学士(医学) 心臓血管外科学特論 補助循環特論 低侵襲血管外科学特論
									専任・兼任	助教	岡本 正剛 <令和3年4月> 博士(医学) 複雑系脳科学特論 音波学特論 認知帯末梢神経学特論
									専任・兼任	助教	田原 祐助 <令和3年4月> 博士(工学) 計算生物学特論
兼任	特任教授	福岡 義光 <平成30年4月> 博士(医学) 生命倫理・研究倫理特論	兼任	特任教授	福岡 義光 <平成30年4月> 博士(医学) 生命倫理・研究倫理特論	兼任	特任教授	福岡 義光 <平成30年4月> 博士(医学) 生命倫理・研究倫理特論 医科学研究遂行特論	兼任	特任教授	福岡 義光 <平成30年4月> 博士(医学) 生命倫理・研究倫理特論 医科学研究遂行特論
兼任	教授	駒津 光久 <平成30年4月> 医学博士 医科学研究遂行特論	兼任	教授	駒津 光久 <平成30年4月> 医学博士 医科学研究遂行特論	兼任	教授	駒津 光久 <平成30年4月> 医学博士 医科学研究遂行特論	兼任	教授	駒津 光久 <平成30年4月> 医学博士 医科学研究遂行特論
兼任	教授	田淵 克彦 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論	兼任	教授	田淵 克彦 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論	兼任	教授	田淵 克彦 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論	兼任	教授	田淵 克彦 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 神経科学研究方法特論
兼任	教授	杉原 伸宏 <平成30年4月> 博士(工学) 社会医学特論 イノベーションセミナー 企業/行政/病院インターナシ ップ 医科学研究遂行特論	兼任	教授	杉原 伸宏 <平成30年4月> 博士(工学) 社会医学特論 イノベーションセミナー 企業/行政/病院インターナシ ップ 医科学研究遂行特論	兼任	教授	杉原 伸宏 <平成30年4月> 博士(工学) 社会医学特論 イノベーションセミナー 企業/行政/病院インターナシ ップ 医科学研究遂行特論	兼任	教授	杉原 伸宏 <平成30年4月> 博士(工学) 社会医学特論 イノベーションセミナー 企業/行政/病院インターナシ ップ 医科学研究遂行特論
兼任	教授	藍塚 伸介 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	藍塚 伸介 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	藍塚 伸介 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	藍塚 伸介 <平成30年4月> 博士(医学) 医科学研究遂行特論 生涯保健学研究方法特論
兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学) 医科学研究遂行特論	兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学) 医科学研究遂行特論	兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学) 医科学研究遂行特論	兼任	教授	不破 泰 <平成30年4月> 博士(工学) 医科学研究遂行特論
兼任	教授	野見山 哲生 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	野見山 哲生 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	野見山 哲生 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	野見山 哲生 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究方法特論
兼任	教授	塚原 照臣 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論	兼任	教授	塚原 照臣 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論	兼任	教授	塚原 照臣 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論	兼任	教授	塚原 照臣 <平成30年4月> 博士(医学) 医学統計・疫学特論
兼任	教授	木村 貞治 <平成30年4月> 博士(工学) 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	木村 貞治 <平成30年4月> 博士(工学) 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	木村 貞治 <平成30年4月> 博士(工学) 生涯保健学研究方法特論	兼任	教授	木村 貞治 <平成30年4月> 博士(工学) 生涯保健学研究方法特論
兼任	教授	中山 淳 <平成30年4月> 医学博士 形態学研究方法特論	兼任	教授	中山 淳 <平成30年4月> 医学博士 形態学研究方法特論	兼任	教授	中山 淳 <平成30年4月> 医学博士 形態学研究方法特論	兼任	教授	中山 淳 <平成30年4月> 医学博士 形態学研究方法特論
兼任	教授	高本 雅哉 <平成30年4月> 博士(医学) 免疫学研究方法特論 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	高本 雅哉 <平成30年4月> 博士(医学) 免疫学研究方法特論 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	高本 雅哉 <平成30年4月> 博士(医学) 免疫学研究方法特論 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	高本 雅哉 <平成30年4月> 博士(医学) 免疫学研究方法特論 生化学・分子生物学研究方法 特論
兼任	教授	竹下 敏一 <平成30年4月> 医学博士 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	竹下 敏一 <平成30年4月> 医学博士 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	竹下 敏一 <平成30年4月> 医学博士 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	竹下 敏一 <平成30年4月> 医学博士 生化学・分子生物学研究方法 特論
兼任	教授	新藤 隆行 <平成30年4月> 博士(医学) 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	新藤 隆行 <平成30年4月> 博士(医学) 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	新藤 隆行 <平成30年4月> 博士(医学) 生化学・分子生物学研究方法 特論	兼任	教授	新藤 隆行 <平成30年4月> 博士(医学) 生化学・分子生物学研究方法 特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	石澤 広明 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ e-Textile設計特論 先進繊維計測学特論	兼任	教授	石澤 広明 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ e-Textile設計特論 先進繊維計測学特論	兼任	教授	石澤 広明 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ e-Textile設計特論 先進繊維計測学特論	兼任	教授	石澤 広明 <平成30年4月> 博士(工学)	e-Textile設計特論
兼任	教授	林 卓哉 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講												
兼任	教授	橋本 佳男 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	橋本 佳男 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	橋本 佳男 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	橋本 佳男 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	新井 進 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講												
兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	手嶋 勝弥 <平成30年4月> 博士(工学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	宇佐美 久尚 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	宇佐美 久尚 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	宇佐美 久尚 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	宇佐美 久尚 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	教授	高橋 伸英 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	高橋 伸英 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	高橋 伸英 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	高橋 伸英 <平成30年4月> 博士(工学)	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	教授	村上 泰 <平成30年4月> 工学博士	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ ナノマテリアル工学特論	兼任	教授	村上 泰 <平成30年4月> 工学博士	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ ナノマテリアル工学特論	兼任	教授	村上 泰 <平成30年4月> 工学博士	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ ナノマテリアル工学特論	兼任	教授	村上 泰 <平成30年4月> 工学博士	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ ナノマテリアル工学特論
兼任	教授	加藤 正人 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講												
兼任	教授	泉山 茂之 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	泉山 茂之 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	泉山 茂之 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講 特別招へい教授グローバル研究特講	兼任	教授	泉山 茂之 <平成30年4月> 博士(農学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講
兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講	兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講	兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	知財管理特講	兼任	教授	藤田 智之 <平成30年4月> 博士(農学)	特別招へい教授グローバル研究特講
兼任	教授	矢崎 正英 <平成30年4月> 博士(医学)	先鋭領域融合研究群最先端研究特講												
兼任	教授	佐藤 明生 <平成30年4月> 学士(法学)	科学技術政策特論	兼任	教授	佐藤 明生 <平成30年4月> 学士(法学)	科学技術政策特論	兼任	教授	佐藤 明生 <平成30年4月> 学士(法学)	科学技術政策特論	兼任	教授	佐藤 明生 <平成30年4月> 学士(法学)	
兼任	教授	海老沼 宏安 <平成30年4月> 博士(農学)	バイオマス利用工学	兼任	教授	海老沼 宏安 <平成30年4月> 博士(農学)	バイオマス利用工学	兼任	教授	海老沼 宏安 <平成30年4月> 博士(農学)	バイオマス利用工学	兼任	教授	海老沼 宏安 <平成30年4月> 博士(農学)	

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	平塚 佐干枝 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生化学・分子生物学研究 方法特論	兼任	平塚 佐干枝 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生化学・分子生物学研究 方法特論	兼任	平塚 佐干枝 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生化学・分子生物学研究 方法特論	兼任	平塚 佐干枝 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生化学・分子生物学研究 方法特論
				中込 さと子 <平成31年4月> 博士(看護学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論		中込 さと子 <平成31年4月> 博士(看護学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論		中込 さと子 <平成31年4月> 博士(看護学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論
				松田 和之 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論		松田 和之 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論		松田 和之 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 生涯保健学研究法特論
				寺田 信生 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論		寺田 信生 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論		寺田 信生 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論
				川久保 雅友 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論		川久保 雅友 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論		川久保 雅友 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担 教授 形態学研究法特論
				吉武 康栄 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ		吉武 康栄 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ		吉武 康栄 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
							藤田 健一 <令和2年4月> 工学修士	兼担 教授 科学技術政策特論		藤田 健一 <令和2年4月> 工学修士	兼担 教授 科学技術政策特論
兼任	古庄 知己 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医科学研究法特論 人類遺伝学研究法特論	兼任	古庄 知己 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医科学研究法特論 人類遺伝学研究法特論	兼任	古庄 知己 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医科学研究法特論 人類遺伝学研究法特論	兼任	古庄 知己 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医科学研究法特論 人類遺伝学研究法特論
兼任	森 正悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼担 准教授 先端領域融合研究群最先端研究 特論特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	森 正悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼担 准教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	森 正悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼担 准教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	森 正悟 <平成30年4月> 博士(工学)	兼担 准教授 特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	福島 菜菜恵 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	福島 菜菜恵 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	福島 菜菜恵 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	福島 菜菜恵 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論
兼任	増木 静江 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 器官・組織・細胞機能研究 方法特論	兼任	増木 静江 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 器官・組織・細胞機能研究 方法特論	兼任	増木 静江 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 器官・組織・細胞機能研究 方法特論	兼任	増木 静江 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 器官・組織・細胞機能研究 方法特論
兼任	玉井 真理子 <平成30年4月> 博士(保健学)	兼担 准教授 生命倫理・研究倫理特論 生涯保健学研究法特論	兼任	玉井 真理子 <平成30年4月> 博士(保健学)	兼担 准教授 生命倫理・研究倫理特論 生涯保健学研究法特論	兼任	玉井 真理子 <平成30年4月> 博士(保健学)	兼担 准教授 生命倫理・研究倫理特論 生涯保健学研究法特論	兼任	玉井 真理子 <平成30年4月> 博士(保健学)	兼担 准教授 生命倫理・研究倫理特論 生涯保健学研究法特論
兼任	横川 吉晴 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究法特論	兼任	横川 吉晴 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究法特論	兼任	横川 吉晴 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究法特論	兼任	横川 吉晴 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 医学統計・疫学特論 生涯保健学研究法特論
兼任	山崎 浩司 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 准教授 生涯保健学研究法特論	兼任	山崎 浩司 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 准教授 生涯保健学研究法特論	兼任	山崎 浩司 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 准教授 生涯保健学研究法特論	兼任	山崎 浩司 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)	兼担 准教授 生涯保健学研究法特論
兼任	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論	兼任	城倉 浩平 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 形態学研究法特論
兼任	上松 一永 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 免疫学研究法特論	兼任	上松 一永 <平成30年4月> 博士(医学)	兼担 准教授 免疫学研究法特論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		長田 光正 <平成30年4月> 博士(工学)			長田 光正 <平成30年4月> 博士(工学)			長田 光正 <平成30年4月> 博士(工学)			長田 光正 <平成30年4月> 博士(工学)
兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	准教授	服部 義之 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	服部 義之 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	准教授	福長 博 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	福長 博 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	准教授	MCNAMEE CATHY ELIZABETH <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	MCNAMEE CATHY ELIZABETH <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	准教授	野村 泰志 <平成30年4月> 理学博士	兼任	准教授	野村 泰志 <平成30年4月> 理学博士	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
						兼任	准教授	高島 誠司 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
						兼任	准教授	秀島 翔 <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
						兼任	准教授	高坂 泰弘 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	准教授	安江 恒 <平成30年4月> 博士(農学) 先鋭領域融合研究群最先端研究特講									
兼任	講師	涌井 敬子 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	講師	涌井 敬子 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	講師	涌井 敬子 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論	兼任	講師	涌井 敬子 <平成30年4月> 博士(医学) 人類遺伝学研究方法特論
兼任	講師	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腫瘍学研究方法特論	兼任	講師	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腫瘍学研究方法特論	兼任	講師	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腫瘍学研究方法特論	兼任	准教授	小岩井 慶一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腫瘍学研究方法特論
						兼任	講師	嶋田 五百里 <平成30年4月> 博士(環境学)	兼任	講師	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ
兼任	助教	坂口 明男 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維集合体特論	兼任	准教授	坂口 明男 <平成30年4月> 博士(工学) テキスタイルデザイン特論 繊維集合体特論	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ	兼任	准教授	特別実験 特別演習 専修実験Ⅰ 専修実験Ⅱ 専修演習Ⅰ 専修演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	吉川 智教 <平成30年4月> 商学修士 サブライチエーン												
兼任	講師	松井 隆幸 <平成30年4月> 経済学修士 工業経済学	兼任	講師	松井 隆幸 <平成30年4月> 経済学修士 工業経済学	兼任	講師	松井 隆幸 <平成30年4月> 経済学修士 工業経済学	兼任	講師	松井 隆幸 <平成30年4月> 経済学修士 工業経済学	兼任	講師	松井 隆幸 <平成30年4月> 経済学修士 工業経済学
兼任	講師	江端 浩人 <平成30年4月> 経営学修士 科学哲学	兼任	講師	江端 浩人 <平成30年4月> 経営学修士 科学哲学									
兼任	講師	合津 美穂 <平成30年4月> 修士(文学) 日本文化論 比較文化論	兼任	講師	合津 美穂 <平成30年4月> 修士(文学) 日本文化論 比較文化論	兼任	講師	合津 美穂 <平成30年4月> 修士(文学) 日本文化論 比較文化論	兼任	講師	合津 美穂 <平成30年4月> 修士(文学) 日本文化論 比較文化論	兼任	講師	合津 美穂 <平成30年4月> 修士(文学) 日本文化論 比較文化論
兼任	講師	松本三和夫 <平成30年4月> 博士(社会学) 技術者倫理	兼任	講師	松本三和夫 <平成30年4月> 博士(社会学) 技術者倫理									
兼任	講師	松本 陽一 <平成30年4月> 博士(工学) ヤーンテクノロジー	兼任	講師	松本 陽一 <平成30年4月> 博士(工学) ヤーンテクノロジー	兼任	講師	松本 陽一 <平成30年4月> 博士(工学) ヤーンテクノロジー	兼任	講師	松本 陽一 <平成30年4月> 博士(工学) ヤーンテクノロジー	兼任	講師	松本 陽一 <平成30年4月> 博士(工学) ヤーンテクノロジー
兼任	講師	小林 尚俊 <平成30年4月> 博士(工学) 医用材料特論	兼任	講師	小林 尚俊 <平成30年4月> 博士(工学) 医用材料特論	兼任	講師	小林 尚俊 <平成30年4月> 博士(工学) 医用材料特論	兼任	講師	小林 尚俊 <平成30年4月> 博士(工学) 医用材料特論	兼任	講師	小林 尚俊 <平成30年4月> 博士(工学) 医用材料特論
兼任	講師	宮武 恵子 <平成30年4月> 博士(芸術学) ファッションデザイン論	兼任	講師	宮武 恵子 <平成30年4月> 博士(芸術学) ファッションデザイン論	兼任	講師	宮武 恵子 <平成30年4月> 博士(芸術学) ファッションデザイン論	兼任	講師	宮武 恵子 <平成30年4月> 博士(芸術学) ファッションデザイン論	兼任	講師	宮武 恵子 <平成30年4月> 博士(芸術学) ファッションデザイン論
兼任	講師	築城 寿長 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維製品生産論	兼任	講師	築城 寿長 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維製品生産論	兼任	講師	築城 寿長 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維製品生産論	兼任	講師	築城 寿長 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維製品生産論	兼任	講師	築城 寿長 <平成30年4月> 博士(工学) 繊維製品生産論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「生命工学特別演習Ⅰ」ほか32科目の専任教員等の配置を変更。

【令和元年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「生命工学特別演習Ⅰ」ほか32科目の専任教員等の配置を変更。

【令和2年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「特別招へい教授グローバル研究特講」ほか34科目の専任教員等の配置を変更。

【令和3年度】

・教員退職、昇進等による教員配置見直しにより「生命工学特別演習Ⅰ」ほか43科目の専任教員等の配置を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
34 (うち30名は生命医工学専攻を含めた医学関係博士課程全体の人数)	3	33 (うち30名は生命医工学専攻を含めた医学関係博士課程全体の人数)
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
12	17	9	19	57	0	19	18	9	14	60	0
(12)	(17)	(9)	(19)	(57)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
39	18	0				45	15	0			
39	18	0				39	18	0			
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
19	18	9	14	60	0	19	18	9	14	60	0
[7]	[1]	[0]	[Δ5]	[3]	[0]	[7]	[1]	[0]	[Δ5]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
45	15	0				45	15	0			
[6]	[Δ3]	[0]				[6]	[Δ3]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{60}{57} = \boxed{105.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	福井 大祐	H29.12	必修	生命工学特別演習 I	①	退職のため就任辞退（30）			
				必修	生命工学特別演習 II	①				
				必修	生命工学特別演習 III	①				
				選択	心臓血管外科学特論	①				
				選択	補助循環特論	①				
				選択	低侵襲血管外科学特論	①				
2	准教授	吉村 康夫	H30.3	必修	生体医工学特別演習 I	①	退職予定のため就任辞退（30）			
				必修	生体医工学特別演習 II	①				
				必修	生体医工学特別演習 III	①				
				選択	脊椎脊髄病学特論	①				
				選択	骨軟骨学特論	①				
				選択	腱靭帯末梢神経学特論	①				
3	准教授	PATAKY TODD COLIN	H30.3	必修	先鋭領域融合研究群最先端研究特講	①	退職のため就任辞退（30）			
				必修	生体医工学特別演習 I	①				
				必修	生体医工学特別演習 II	①				
				選択	ヒト力学の統計解析特論	①				
4	助教	澤下 仁子	H29.12	選択	人類遺伝学研究方法特論	①	退職のため就任辞退（30）			
				選択	加齢生物学特論	①				
				選択	抗老化学特論	①				
				選択	疾患動物遺伝学特論	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	岡田 健次	H30.9	必修	生命工学特別演習 I	①	H30.9.30付け退職のため辞任(元)
				必修	生命工学特別演習 II	①	
				必修	生命工学特別演習 III	①	
				選択	心臓血管外科学特論	①	
				選択	補助循環特論	①	
				選択	低侵襲血管外科学特論	①	
2	教授	西川 敦	H31.3	必修	生命工学特別演習 I	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				必修	生命工学特別演習 II	①	
				必修	特別実験	①	
				必修	特別演習	①	
				必修	専修実験 I	①	
				必修	専修実験 II	①	
				必修	専修演習 I	①	
				必修	専修演習 II	①	
選択	コンピュータ外科学特論	①					
3	講師	後藤 哲哉	H31.3	必修	生体医工学特別演習 I	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				必修	生体医工学特別演習 II	①	
				必修	生体医工学特別演習 III	①	
				選択	脳神経外科特論	①	
				選択	脳卒中外科学特論	①	
				選択	脳腫瘍学特論	①	
4	助教	五味淵 俊仁	H31.2	選択	心臓血管外科学特論	①	H31.2.28付け退職のため辞任(元)
				選択	補助循環特論	①	
				選択	低侵襲血管外科学特論	①	
5	助教	鎌田 孝広	H30.6	選択	歯科口腔外科特論	①	H30.6.30付け退職のため辞任(元)
				選択	歯科人工/生体材料学特論	①	
				選択	咬合学特論	①	
6	講師	重村 倫成	R2.4	必修	生命工学特別演習 I	①	R2.4.1~R4.3.31研究休職のため辞任(2)
				必修	生命工学特別演習 II	①	
				必修	生命工学特別演習 III	①	
				選択	臨床免疫・感染症学特論	①	
				選択	遺伝子・細胞治療学特論	①	
7	助教	大橋 伸朗	R2.3	選択	心臓血管外科学特論	①	R2.3.31付け退職のため辞任(2)
				選択	補助循環特論	①	
				選択	低侵襲血管外科学特論	①	
8	助教	兵庫谷 章	R1.8	選択	呼吸器外科学特論	①	R1.8.17付け退職のため辞任(2)
9	助教	倉石 修吾	R3.3	選択	脊椎脊髄病学特論	①	R3.4.1授業担当者変更のため辞任(3)
				選択	骨軟骨学特論	①	
				選択	腱靭帯末梢神経学特論	①	

10	助教	田中 晴城	R3.3	選択	心臓血管外科学特論	①	R3.4.18付け退職のため辞任(3)		
				選択	補助循環特論	①			
				選択	低侵襲血管外科学特論	①			
11	助教	山本 高照	R3.3	選択	心臓血管外科学特論	①	R3.4.1授業担当者変更のため辞任(3)		
				選択	補助循環特論	①			
				選択	低侵襲血管外科学特論	①			
12	准教授	金山 直樹	R3.3	必修	生命工学特別演習Ⅰ	①	R3.3.31付け退職のため辞任(3)		
				必修	生命工学特別演習Ⅱ	①			
				選択	分子生命科学特論	①			
合計(F)			後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
12	人	必修	19 科目	必修	19 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	29 科目	選択	29 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	48 科目	計	48 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
16	人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	40 科目	選択	40 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	68 科目	計	68 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{16}{57} = \boxed{28.07} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については、他の専任教員が担当することで問題はない。また、学生に対しては「履修案内」、掲示板等で周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合医理工学研究科 生命医工学専攻（博士課程）>

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	令和2年度に実施された、大学機関別認証評価訪問調査において、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に学習成果の評価の方針が明確かつ具体的に明示されていないとの指摘を受け、評価方法を追記した。（別紙資料参照）

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 総合医理工学研究科正副研究科長会議</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回開催，構成員：研究科長，専攻長，副専攻長 8名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>研究科全体における教員の資質の維持向上方策の実施については，総合医理工学研究科正副研究課長会議において方針を決定する。 その他の教員の資質の維持向上方策（FD活動含む）については，教員が兼務する学部・修士課程研究科において実施している。</p>
--

信州大学大学院総合医理工学研究科委員会規程

(略)

(会議)

第8条 研究科委員会に、研究科の円滑な運営を図るため、次の会議を置く。

- (1) 分野会議
- (2) ユニット会議
- (3) コース会議
- (4) 正副研究科長会議

2 会議に関し、必要な事項は、別に定める。

(略)

信州大学大学院総合医理工学研究科長等に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、信州大学大学院学則（平成16年信州大学学則第2号）第9条及び信州大学大学院総合医理工学研究科規程（平成30年信州大学規程第289号）第4条第4項の規定に基づき、信州大学大学院総合医理工学研究科（以下「研究科」という。）に置く研究科長、副研究科長、専攻長、副専攻長、分野長、ユニット長及びコース長（以下「研究科長等」という。）に関し必要な事項を定める。

(研究科長)

第2条 研究科長は、理学系長、医学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長の輪番とし、別表1のとおり兼ねるものとする。

(副研究科長)

第3条 副研究科長は、研究科長とならない専攻長及び副専攻長が兼ねるものとする。

(専攻長)

第4条 専攻長は、次のとおりとする。

医学系専攻長 医学系長
総合理工学専攻長 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長の輪番
生命医工学専攻長 生命工学分野長及び生体医工学分野長から選出

2 第2条第1項により研究科長となった場合は、前項の規定に関わらず所属専攻の専攻長を兼ねるものとする。ただし、生命医工学専攻長についてはこの限りではない。

(副専攻長)

第5条 副専攻長は、次のとおりとする。

医学系専攻副専攻長 保健学系長
総合理工学専攻副専攻長 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長のうち、専攻長とならない学系長
生命医工学専攻副専攻長 生命工学分野長及び生体医工学分野長のうち、専攻長とならない分野長

(分野長)

第6条 分野長は、次のとおりとする。

医学系専攻 医学分野 医学系長
保健学分野 保健学系長
総合理工学専攻 各分野のユニット長の輪番（順番は原則として第7条の表のユニットの掲載順）とする。
生命医工学専攻 各分野のコース長から選出

(ユニット長)

第7条 総合理工学専攻のユニット長は、研究科において主たる授業又は指導を担当するものとして配置された専任の教員（以下「専任教員」という。）のうち、当該ユニットの研究指導教授から選出するものとする。

(コース長)

第8条 生命医工学専攻の各分野にコース長を置き、各コースの専任教員のうち、研究指導教授から選出するものとする。

(任期)

第9条 研究科長等の任期は別表2のとおりとする。

2 研究科長等が、任期途中で辞任を申し出たとき又は欠員となったときは、次のとおりとし、任期は前任者の残任期間とする。

一 研究科長、副研究科長、専攻長（生命医工学専攻長は除く。）、副専攻長（生命医工学専攻副専攻長は除く。）及び医学系専攻の各分野長の場合は、当該者の後任の学系長をもって充てる。

二 生命医工学専攻長の場合は、副専攻長が兼ねるものとする。

三 分野長（医学系専攻は除く。）

総合理工学専攻の場合は、分野長以外のユニット長が兼ねるものとする。

生命医工学専攻の場合は、分野長以外のコース長が兼ねるものとする。

四 ユニット長

当該ユニットの専任教員のうち、研究指導教授から選出する。

五 コース長

当該コースの専任教員のうち、研究指導教授から選出する。

(生命医工学専攻の専任教員が学系長となった場合)

第10条 生命医工学専攻の専任教員が、理学系、医学系、保健学系、工学系、農学系及び繊維学系の何れかの学系長又は副学系長に任命された場合は、第4条から第5条に関わらず、次のとおりとする。

一 医学系長となった場合

イ 医学系専攻長

医学系専攻医学分野の専任教員のうち、研究指導教授の中から、医学系長が指名した者とし、研究科長とならない場合は、副研究科長を兼ねるものとする。

ロ 医学分野長

イが兼ねるものとする。

二 保健学系長となった場合

イ 医学系副専攻長

副学系長のうち、保健学系長が指名した者とする。

ロ 保健学分野長

イが兼ねるものとする。

三 理学系長、工学系長、農学系長及び繊維学系長となった場合

当該学系において、専任教員のうち研究指導教授の中から当該学系長が指名した者とし、専攻長或いは副専攻長とする。なお、研究科長とならない場合は、副研究科長を兼ねるものとする。

四 学系長及び副学系長（2名置いている場合は2名とも）となった場合

当該学系において、専任教員のうち研究指導教授の中から当該学系長が指名した者とし、該当する第一号から第三号の役職に充てる。

(正副研究科長会議)

第11条 信州大学大学院総合医理工学研究科委員会規程（平成30年信州大学規程第290号）第8条第1項第4号に定める、総合医理工学研究科正副研究科長会議（以下「正副研究科長会議」という。）は、研究科長及び副研究科長をもって組織する。

2 正副研究科長会議は、研究科の運営に関する連絡調整を行う。

3 研究科長は、正副研究科長会議を招集し、その議長となる。

4 研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長が指名した副研究科長が、その職務を代行する。

5 正副研究科長会議の庶務は、学務部学務課において処理する。

6 正副研究科長会議に関し必要な事項は、正副研究科長会議において定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から実施する。

② 実施状況

a 実施内容

ア. 研究倫理教育（APRIN eラーニングプログラム）の受講

イ. 研究倫理教育・コンプライアンス教育

ウ. 剽窃チェックツール「iThenticate」利用説明会

・医学分野：学生指導者を対象とした医学教育FD、新規採用・昇進者を対象とした医学教育FD、オンラインFD

・保健学分野：FD研修会の開催、教員の相互授業見学、オンラインFDの受講

b 実施方法

ア. e-Learningにより、教員各自が受講

イ. 教育研究評議会及び教員が兼務する学部において他大学等の事例を照会するなどの教育を実施

ウ. 全教員を対象に、剽窃チェックツールの販売代理店の方を講師に迎え、剽窃チェックツールについて、利用方法等を説明

・アクティブ・ラーニング形式、オンライン上での受講、研修会への参加、見学の実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. 3年に1回を義務化

イ. 月1回

ウ. アクティブ・ラーニング形式（年3回）、オンライン上でのFD（1回）、研修会（年1回）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

指導する側の教員の研究倫理の向上が図られることにより、学生への波及効果が期待できる。

- ・実際に授業で使用するパワーポイント資料・シラバス等のブラッシュアップを行い、直ぐに授業に反映している。
- ・見学感想文をフィードバックし、授業方法向上に資する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・1年次修了時と修了年度に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には公表し、学生には公表していない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

本専攻では、応用的・学際的な「医学」、「理学」、「工学」及び「農学」分野における諸課題に対し、広い視野で問題を捉え、解決の方策を探究する総合的な洞察力・俯瞰力を育成することを目的として、「先鋭領域融合研究群最先端研究特講」等の研究科共通科目を開設し、また、専門領域にとられない医工学に関連する広範囲な知識と技術を学ぶため、各分野の専門科目に加えて、「社会医工学特論」、「イノベーションセミナー」等の専攻共通科目を開設した。

研究指導は、主指導教員と2名以上の副指導教員（少なくとも1名を専攻内の他分野又は他コースの教員が担当）の合計3名以上の教員により構成される複数指導体制により実施する。

学位論文審査は、審査委員長と3名以上の審査委員による学位審査委員会により審査する。審査委員には本学以外の大学等教育研究機関の外部審査委員を少なくとも1名加えることにより、厳格な学位審査を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年12月 公表予定

b 公表方法

- ・大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和2年度に（独）大学改革支援・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準に適合していることが認定された。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 其他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【信州大学大学院】教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)改正案

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。
2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、**学位授与の方針に基づき**各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。
【評価方法】
 - ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

【総合医理工学研究科】教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）改正案

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、医学系、理工学系及び生命医工学分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本研究科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるための体系的な教育課程を編成する
3. 専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力を修得させるための研究科共通科目、専門性を高めながら、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、科学・技術を発展させるための健全な倫理観、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を修得させるための専攻共通科目等を開講する
4. 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点する

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定する
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定する
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定する。
5. 博士学位論文審査体制を充実させ、厳格で透明な論文審査を行い修了判定を実施します。

（医学系専攻）

医学系専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学・保健学における高度専門職業人、研究者に必要とされる世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する。
3. 専門分野に偏ることなく洞察力や応用力を修得させるための専攻共通科目及び分野共通科目を開講する。

(総合理工学専攻)

総合理工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、理工農学系各分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、コースワークから学位論文作成へ有機的につながる体系的な教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する
3. 高い専門性と総合性のバランスを確保し、洞察力、応用力を修得させるため、本専攻が幅広い学問分野により構成されているという利点を生かして、ユニット・分野を越えた専攻共通科目を開講する

(生命医工学専攻)

生命医工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学系と理工学系融合である生命医工学分野における高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施します。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるため、理工学系「3年制コース」と医学系「4年制コース」においてそれぞれの専門科目を開講する
3. 生命医工学の特徴である境界領域の広範囲な知識の修得と洞察力、応用力を修得させるための専攻共通科目を開講する